

第 55 回ガンカモ類の生息調査
報 告 書
(令和 5 年度)

令和 7 (2025) 年 3 月

環 境 省
自 然 環 境 局

本報告書を英語で引用する場合、以下のとおり記述ください。

Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment (2025). Annual report of Census on Anatidae Populations in FY2023. Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment, Yamanashi. Japan

はじめに

我が国は、東アジア地域を季節移動するガン、カモ、ハクチョウ類のフライウェイの一部を構成し、主要な越冬地を提供している。しかしながら、越冬地として適した湖沼や河川、遊水池、干潟などの湿地は、経済の発展とともに環境変化や人為活動、水質汚濁等によって徐々に減少、悪化し、これまでガン、カモ、ハクチョウ類は大きな影響を受けてきた。例えば、かつて東京湾には広大な干潟が広がり、多くのガン、カモ、ハクチョウ類が生息する好適な環境であったが、埋め立てが進んだ現在、目にするのできる種は一部の限られたものとなってしまった。また、ガン類はかつて九州まで広く国内全域に渡来していたが、現在では極めて局所的な越冬地に集中する状態となっている。さらに、我が国への定期的な群れの渡来が見られなくなった種も複数存在する。

昨今のこのような状況から、越冬地の適切な管理や維持を通じたガン、カモ、ハクチョウ類の保全が求められている。我が国のガン、カモ、ハクチョウ類とその生息地を保全することは、フライウェイを介して東アジア地域のガン、カモ、ハクチョウ類保全につながる非常に重要な取り組みである。また、ガン、カモ、ハクチョウ類をはじめとする水鳥は、良好に保たれた水辺環境の指標種としての役割を持っている。そのため、ガン、カモ、ハクチョウ類を含む水鳥の保全が湿地生態系の保全にもつながることは、世界的にも認識されてきている。

本調査は、我が国におけるガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護行政に必要な資料を収集することを目的として、環境庁（当時）が発足する以前の昭和45年に、鳥獣行政が林野庁所管の時代に各都道府県の協力を得てスタートした。その後昭和47年からは、野生生物行政の一環として環境庁（当時）が取りまとめを担い、令和5年度調査で第55回を迎えた。本調査の成果として、ガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況、渡来傾向、保護管理を図るべき生息地等に関する貴重な資料が得られており、各地の鳥獣保護区指定やラムサール条約湿地を選定するための候補抽出などに活用されている。

本調査の実施にあたっては、都道府県の職員や鳥獣保護管理員、公益財団法人日本野鳥の会、公益財団法人日本鳥類保護連盟、一般社団法人大日本猟友会及び全日本狩猟倶楽部の会員の方々に、ご多忙の中、多大な尽力をいただいた。ここに厚く御礼申し上げますとともに、今後とも調査を継続し、さらに充実した資料とするために、より一層のご協力をお願いする次第である。

令和7年3月

環境省自然環境局 生物多様性センター

目 次

要 約 (Abstract)

第1章 調査状況.....	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査期日	1
4. 調査規模	2
5. 調査結果の整理	7
6. 亜種の扱い	7
7. 調査成果の活用	7
第2章 令和5年度（第55回）調査結果.....	8
1. 結果概要	8
2. ハクチョウ類.....	12
2.1 観察個体数	12
2.2 分布状況	15
2.3 法指定区域別の観察状況.....	17
2.4 地況別の観察状況	21
3. ガン類.....	25
3.1 観察個体数	25
3.2 分布状況	29
3.3 法指定区域別の観察状況.....	31
3.4 地況別の観察状況	36
4. カモ類	40
4.1 観察個体数	40
4.2 分布状況	52
4.3 法指定区域別の観察状況.....	55
4.4 地況別の観察状況	65
5. 希少なガンカモ類の観察状況.....	75
5.1 選定基準.....	75
5.2 希少なガンカモ類の観察状況	76
6. 移入種の観察状況	78
6.1 コブハクチョウ.....	78
7. 飼養品種の観察状況.....	80

(参考) 第55回ガンカモ類の生息調査実施要領

要 約

環境省は、ガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護管理行政に必要な情報を把握するため、都道府県の協力を得て、ガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況の把握調査を、毎年1月中旬に全国一斉で実施している。

令和5年度の調査は、実施要領に基づき令和6年1月14日とその前後7日間（計15日間）を原則とし、全国8,684地点において、延べ12,744名の調査員により実施された。

ハクチョウ類は34都道府県の629地点において73,465羽、ガン類は31道府県の152地点において262,482羽、カモ類は47都道府県の6,402地点において1,621,200羽が観察された。観察総数は1,957,147羽であり、令和4年度の1,985,067羽と比べ27,920羽減少した。

観察個体数の多かった種を分類群別に示すと、ハクチョウ類はコハクチョウ（44,900羽）、ガン類はマガン（244,863羽）、カモ類はマガモ（411,184羽）であった。

Abstract

Ministry of the Environment has been conducting a waterfowl Anatidae population census during the winter each year in order to confirm the status of wintering swans, geese and ducks and to collect the information necessary for wildlife management. In cooperation with all prefectures, this census is carried out in January simultaneously throughout Japan.

The census of this year was carried out for 15 days in total before and after January 14th, 2024, at 8,684 observatory sites by a total of 12,744 participants.

73,465 swans were confirmed at 629 sites in 34 prefectures, 262,482 geese at 152 sites in 31 prefectures, 1,621,200 ducks at 6,402 sites in 47 prefectures. The total number of waterfowl counted this year has decreased by 27,920 to 1,957,147 compared with the number last year 1,985,067.

The most abundant waterfowl was Tundra Swan (44,900) in swans, Greater White-fronted Goose (244,863) in geese, and Mallard (411,184) in ducks.

第1章 調査状況

1. 調査目的

本調査は国や自治体における野生動物保護管理行政（鳥獣の保護管理、希少種の保全、外来種・鳥インフルエンザ対策等）に効果的に活用されるよう、我が国におけるガン類、カモ類、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握することを目的とした。

2. 調査方法

調査実施に先立ち、過去の調査結果や鳥類保護団体等からの情報に基づいてガン類、カモ類、ハクチョウ類全ての渡来地を抽出し、その位置と地況等を整理した。次いでそれらの中から調査地点を選定した。その際、ハクチョウ類、あるいはガン類の見られる渡来地は全てを選定し、カモ類のみの渡来地については各都道府県の実況（調査体制、調査人数等）に応じて、各都道府県の飛来数を概ね把握できるよう、主要な渡来地を選定した。

現地調査では、調査地点ごとに1名以上の調査員を配置し、双眼鏡や望遠鏡を用いて種ごとに観察個体数を計数した。その他、調査地点での人工給餌の有無や工事の有無、天候なども併せて記録した。

なお、現地調査は各都道府県が主体となり、巻末に示した調査実施要領に従って実施した。

3. 調査期日

現地調査の実施期日は、原則として令和6年1月14日を基準日とした前後1週間（1月7日～21日）としており、都道府県ごとに集中調査日を設定し、天候等の状況によって実施不可能な場合には、その前後に実施することとした（表1-1）。実際は1月7日～21日に8,552地点（約98.5%）で調査が実施された。令和4年度の調査期間に調査された地点数8,618地点（98.7%）と比較すると、調査実施割合は低くなった。また、調査期間より前に調査を実施した地点は83地点（1.0%）、調査期間より後に実施された地点は48地点（0.6%）、調査期日不明の地点は1地点（0.0%）であった。

表 1-1 調査期日

調査期日	令和5年度		令和4年度	
	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
調査日から一週間以前	83	1.0	94	1.1
調査日の前後一週間 (令和5年度は1/7～1/21)	8,552	98.5	8,618	98.7
調査日から一週間以降	48	0.6	17	0.2
不明	1	0.0	—	—
合計	8,684	100.0	8,729	100.0

4. 調査規模

令和5年度の調査は、47都道府県の計8,684地点、総面積358,634 haを対象として、総勢3,450名（延べ12,744名で複数地点を調査している場合がある）の調査員によって実施した。

表1-2に令和4年度からの調査継続状況別の調査地点数を示した。令和4年度から継続して実施されている地点は8,428地点、令和5年度新規に調査を行った地点及び令和4年度は調査を休止していたが令和5年度に調査を復活した地点は256地点であった。また、令和4年度は調査を実施したが、令和5年度は調査を休止した地点は532地点であった。

河川や湖沼等の地況別の調査地点数及び調査面積を表1-3に、都道府県別の調査地点数、調査面積、調査人数及び延べ調査人数を表1-4に、都道府県別の調査員の内訳を表1-5に、調査実施地点を図1-1(1)～(2)に示した。

表 1-2 令和4年度からの調査継続状況

調査継続状況		地点数	割合(%)
調査実施	前年度より調査継続	8,428	97.1
	今年度より調査開始・再開	256	2.9
	合計	8,684	100.0
今年度より調査休止		532	

表 1-3 地況別の調査地点数及び調査面積

地況	調査地点数		調査面積 (ha)	
	地点数	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
海岸	799	9.2	102,565	28.6
河口	385	4.4	21,872	6.1
河川	3,002	34.6	69,909	19.5
自然湖沼	531	6.1	102,368	28.5
ダム湖	690	7.9	31,771	8.9
その他人造湖	3,004	34.6	15,731	4.4
その他	273	3.1	14,414	4.0
合計	8,684	100.0	358,634	100.0

【備考】割合は、総観察地点数及び総調査面積に対する、地況別の構成比を示す。

※注：小数以下を四捨五入して表示しているため内訳と合計にずれがある

表 1-4 都道府県別調査規模

都道府県	調査地点数	調査面積 (ha)	調査人数	延べ調査人数
北海道	152	11, 945	78	328
青森県	235	11, 893	58	329
岩手県	326	4, 695	100	428
宮城県	517	17, 668	95	575
秋田県	296	13, 903	63	376
山形県	313	2, 541	52	313
福島県	337	8, 526	141	523
茨城県	43	21, 815	64	94
栃木県	32	1, 525	41	72
群馬県	81	1, 806	49	81
埼玉県	166	8, 424	223	343
千葉県	342	6, 945	127	432
東京都	63	3, 692	87	113
神奈川県	271	5, 183	92	440
新潟県	23	3, 192	67	69
富山県	18	1, 057	21	27
石川県	5	547	13	12
福井県	17	9, 944	43	77
山梨県	107	5, 672	76	230
長野県	317	6, 244	135	376
岐阜県	125	6, 399	83	314
静岡県	140	6, 017	109	251
愛知県	144	4, 672	71	259
三重県	294	7, 011	59	316
滋賀県	189	23, 657	287	288
京都府	152	6, 390	54	367
大阪府	459	4, 589	79	682
兵庫県	246	4, 417	103	519
奈良県	118	1, 432	44	248
和歌山県	231	2, 449	63	429
鳥取県	11	12, 260	23	23
島根県	225	22, 357	85	304
岡山県	16	6, 903	49	50
広島県	309	6, 228	65	554
山口県	232	4, 734	58	275
徳島県	73	10, 209	48	99
香川県	178	4, 270	30	313
愛媛県	146	9, 837	38	195
高知県	90	5, 008	83	112
福岡県	286	3, 932	68	322
佐賀県	125	4, 301	30	154
長崎県	44	35, 931	20	66
熊本県	195	2, 294	51	227
大分県	433	5, 185	62	480
宮崎県	103	5, 020	46	189
鹿児島県	305	4, 414	95	307
沖縄県	154	1, 504	22	163
合 計	8, 684	358, 634	3, 450	12, 744

※注：小数以下を四捨五入して表示しているため内訳と合計にずれがある

表 1-5 都道府県別調査員の内訳

都道府県	調査員人数(人)									
	都道府県 職員	鳥獣保護管理員				鳥獣保護管理員以外				計
		保護団体 関係者	狩猟団体 関係者	両団体 関係者	その他	保護団体 関係者	狩猟団体 関係者	両団体 関係者	その他	
北海道	32	0	11	0	5	6	2	7	15	78
青森県	16	0	26	0	16	0	0	0	0	58
岩手県	0	0	8	19	0	32	26	13	2	100
宮城県	35	0	0	0	47	7	0	0	6	95
秋田県	12	0	29	0	21	0	1	0	0	63
山形県	0	0	47	1	1	0	0	0	3	52
福島県	6	20	62	0	0	44	0	0	9	141
茨城県	0	8	0	0	0	56	0	0	0	64
栃木県	23	6	0	0	2	10	0	0	0	41
群馬県	0	0	0	0	0	49	0	0	0	49
埼玉県	0	0	0	0	0	218	0	0	5	223
千葉県	12	4	90	0	7	0	8	0	6	127
東京都	0	0	0	0	56	0	0	0	31	87
神奈川県	30	3	54	0	5	0	0	0	0	92
新潟県	0	3	0	0	0	60	0	0	4	67
富山県	0	0	0	0	0	6	5	0	10	21
石川県	0	0	0	0	0	13	0	0	0	13
福井県	0	0	0	0	0	43	0	0	0	43
山梨県	17	1	41	0	3	13	0	0	1	76
長野県	19	6	67	9	23	3	0	0	8	135
岐阜県	0	0	0	0	0	83	0	0	0	83
静岡県	0	0	0	0	0	80	0	0	29	109
愛知県	22	5	30	0	2	1	6	0	5	71
三重県	12	0	5	0	9	33	0	0	0	59
滋賀県	0	0	0	0	0	287	0	0	0	287
京都府	0	2	0	0	0	52	0	0	0	54
大阪府	1	0	0	0	0	78	0	0	0	79
兵庫県	2	0	0	0	0	69	0	0	32	103
奈良県	0	0	0	0	1	42	0	1	0	44
和歌山県	1	4	8	11	4	25	0	1	9	63
鳥取県	0	0	0	0	0	23	0	0	0	23
島根県	19	1	28	0	37	0	0	0	0	85
岡山県	0	0	0	0	0	49	0	0	0	49
広島県	10	0	0	4	0	51	0	0	0	65
山口県	1	0	29	10	5	1	10	0	2	58
徳島県	0	0	0	0	0	48	0	0	0	48
香川県	0	5	0	0	0	23	0	0	2	30
愛媛県	0	0	0	0	0	38	0	0	0	38
高知県	2	0	0	38	0	42	0	0	1	83
福岡県	0	8	59	0	1	0	0	0	0	68
佐賀県	0	5	11	5	2	1	2	2	2	30
長崎県	0	1	1	0	0	0	2	0	16	20
熊本県	3	5	34	6	3	0	0	0	0	51
大分県	3	0	0	0	0	0	54	0	5	62
宮崎県	20	0	25	0	1	0	0	0	0	46
鹿児島県	0	0	89	0	6	0	0	0	0	95
沖縄県	0	7	6	2	7	0	0	0	0	22
合 計	298	94	760	105	264	1,586	116	24	203	3,450

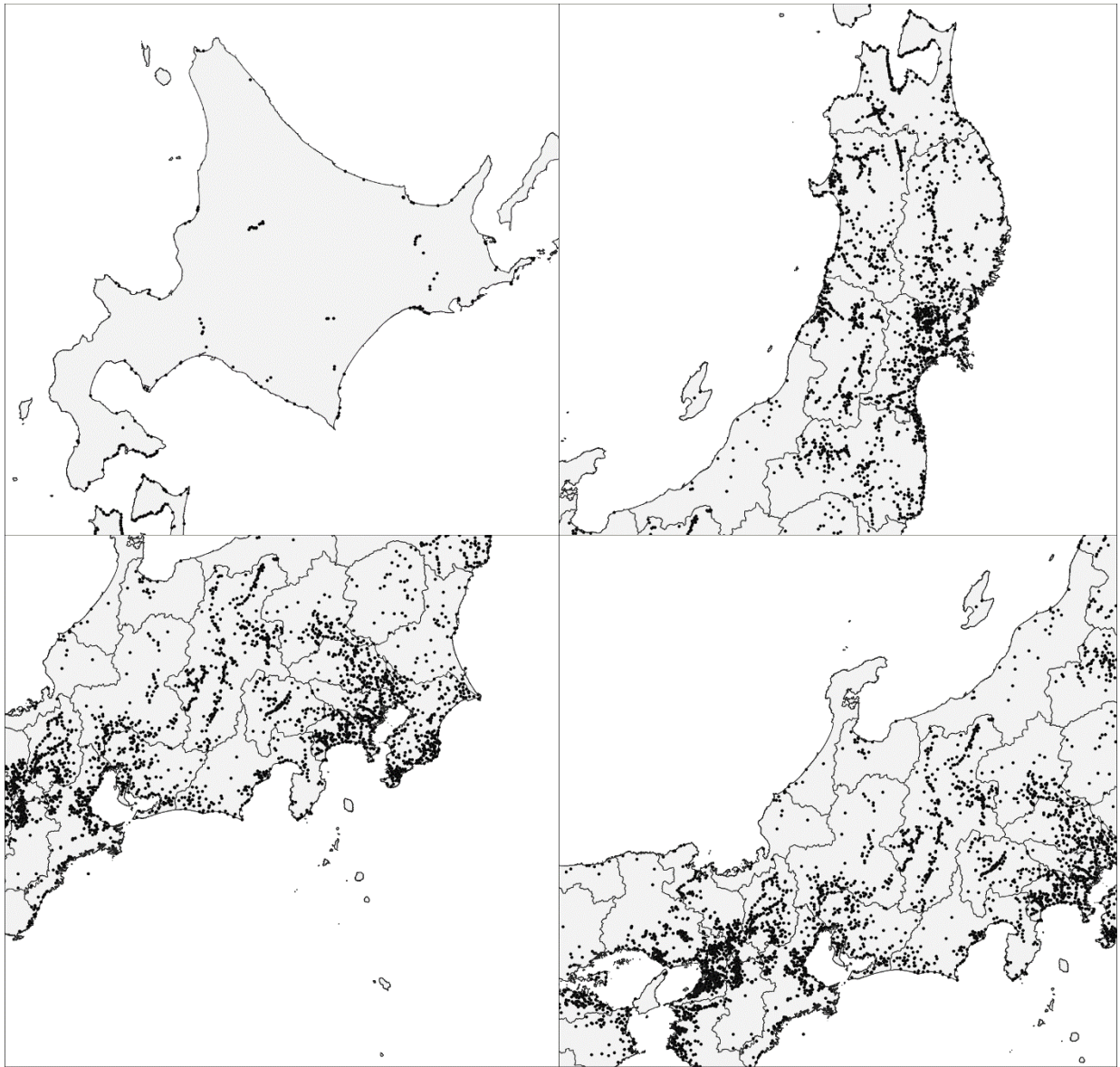


図 1-1(1) 調査実施地点

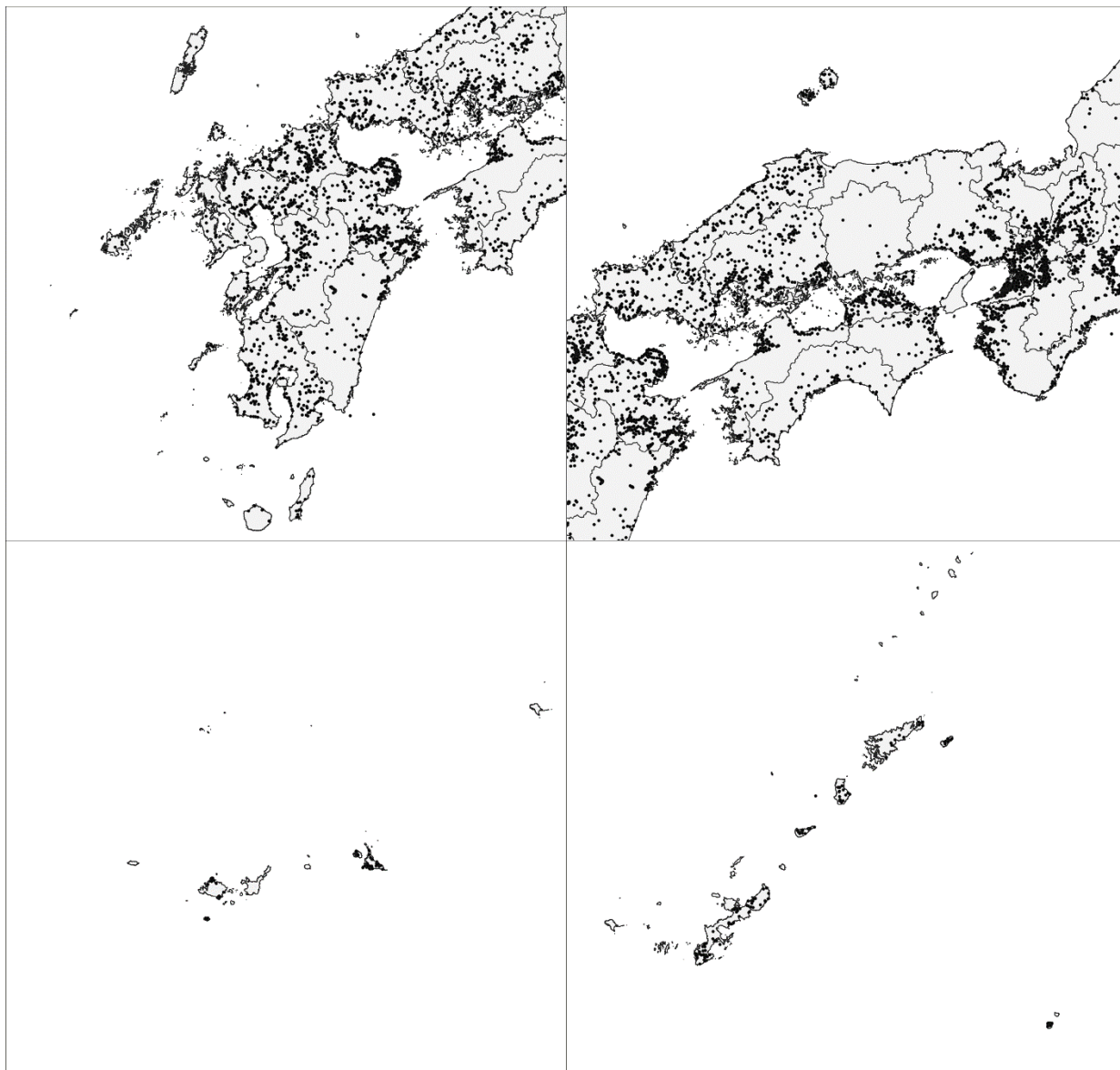


図 1-1(2) 調査実施地点

5. 調査結果の整理

各都道府県からの報告を受けた調査結果について、沿岸性の種の内陸部での記録や、希少種の大きな群れなどの生態学的に疑問のある観察記録（以下「生物学的チェック」という。）及び内訳と合計が一致しない箇所の確認（以下「論理的チェック」という。）を行い、これらの疑義について各都道府県に問い合わせを行った。本調査結果はこれらのチェックを経て得られたデータである。

なお、以下のとりまとめでは、調査地点のうち、実際にガン、カモ、ハクチョウ類が1羽でも観察された地点の数を「観察地点数」として示し、ガン、カモ、ハクチョウ類が観察されない地点を含む「調査地点数」と区別している。

6. 亜種の扱い

本報告書で用いているデータは、基本的に亜種を含む種を対象として整理を行っている。

ただし、コハクチョウは、単独で記載している場合は亜種を含む種コハクチョウを意味し、コハクチョウとアメリカコハクチョウを併記している場合は、コハクチョウは亜種コハクチョウを、アメリカコハクチョウは亜種アメリカコハクチョウを意味する。また、シジュウカラガンは、シジュウカラガンと記載している場合は亜種を含む種シジュウカラガン（カナダガンを除く。）を意味する。

7. 調査成果の活用

本調査の結果は、環境省生物多様性センターのウェブサイト（https://www.biodic.go.jp/gankamo/gankamo_top.html）で公開されており、年次報告書及び確定値（都道府県別、調査地点別）が公開されている。

調査成果は、下記のような施策や国際的枠組み等で活用されている。

- 施策への活用：二国間渡り鳥条約会議への情報提供
- 保護地域の見直し：鳥獣保護区更新にあたっての基礎資料として活用
- 国際協力：Asian Waterbird Census への情報提供
- 環境アセスメントへの活用：「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き」で参照すべきデータとして引用

また、調査成果を利用した研究の報告や発表について生物多様性センターに報告があったものについても、上記ウェブサイトで公表している。

第2章 令和5年度（第55回）調査結果

1. 結果概要

令和5年度の調査では、調査を行った8,684地点のうち6,546地点で、総計1,957,147羽のガン、カモ、ハクチョウ類が観察された。分類群別では、ハクチョウ類73,465羽、ガン類262,482羽、カモ類1,621,200羽であった（図2-1-1）。

都道府県別の観察個体数を表2-1-1に示した。ハクチョウ類が最も多く観察された都道府県は新潟県で、ハクチョウ類全体の31.2%にあたる22,925羽が観察され、次いで宮城県、山形県でそれぞれ14,550羽（19.8%）、9,274羽（12.6%）が観察された。ガン類が最も多く観察された都道府県は宮城県で、ガン類全体の86.8%にあたる227,947羽が観察され、次いで新潟県、秋田県でそれぞれ15,515羽（5.9%）、6,364羽（2.4%）が観察された。また、カモ類が最も多く観察された都道府県は茨城県で、カモ類全体の9.0%にあたる145,229羽が観察され、次いで千葉県、島根県でそれぞれ141,586羽（8.7%）、124,263羽（7.7%）が観察された。

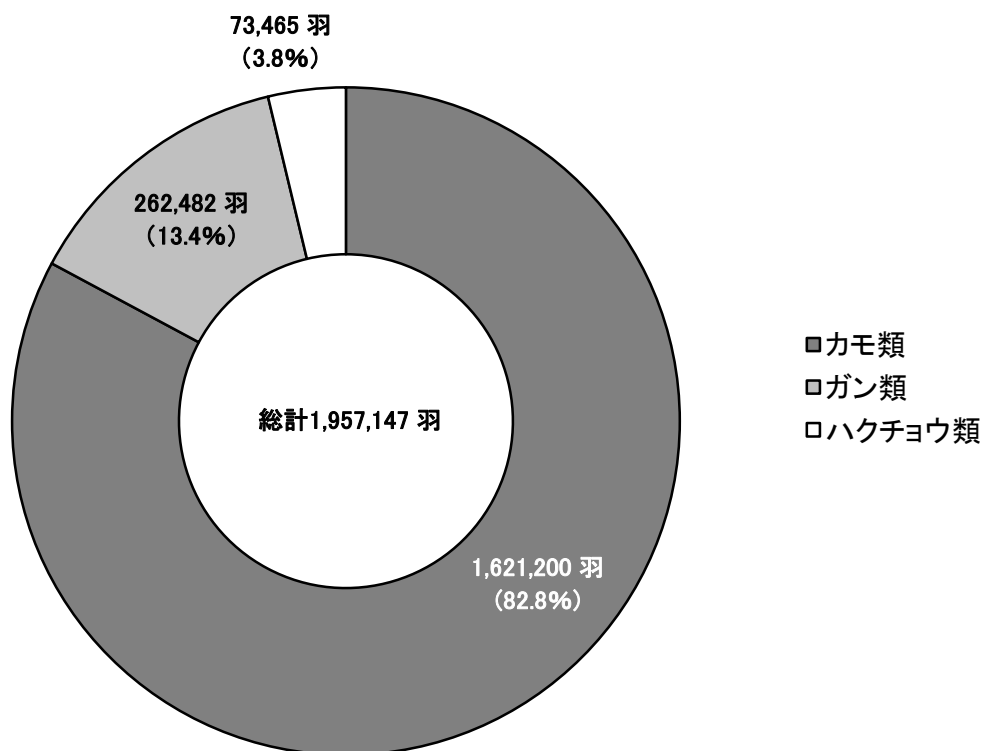


図 2-1-1 ガン、カモ、ハクチョウ類の観察個体数の内訳

表 2-1-1 都道府県別のガン、カモ、ハクチョウ類の観察個体数

都道府県	観察 地点数	ハクチョウ類		ガン類		カモ類		合計	
		観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)
北海道	128	2,957	4.0	314	0.1	6,745	0.4	10,016	0.5
青森県	165	1,144	1.6	381	0.1	7,445	0.5	8,970	0.5
岩手県	249	5,117	7.0	4,124	1.6	23,646	1.5	32,887	1.7
宮城県	357	14,550	19.8	227,947	86.8	40,696	2.5	283,193	14.5
秋田県	194	2,092	2.8	6,364	2.4	14,904	0.9	23,360	1.2
山形県	197	9,274	12.6	895	0.3	61,187	3.8	71,356	3.6
福島県	261	4,696	6.4	31	<0.05	36,803	2.3	41,530	2.1
茨城県	43	1,671	2.3	89	<0.05	145,229	9.0	146,989	7.5
栃木県	32	415	0.6	1	<0.05	16,398	1.0	16,814	0.9
群馬県	76	177	0.2	2	<0.05	12,749	0.8	12,928	0.7
埼玉県	152	122	0.2	0	—	26,505	1.6	26,627	1.4
千葉県	255	2,246	3.1	1	<0.05	141,586	8.7	143,833	7.3
東京都	57	0	—	0	—	9,216	0.6	9,216	0.5
神奈川県	167	0	—	0	—	9,261	0.6	9,261	0.5
新潟県	23	22,925	31.2	15,515	5.9	70,504	4.3	108,944	5.6
富山県	18	1,131	1.5	2	<0.05	15,785	1.0	16,918	0.9
石川県	5	772	1.1	672	0.3	26,685	1.6	28,129	1.4
福井県	17	156	0.2	1,260	0.5	24,911	1.5	26,327	1.3
山梨県	58	30	<0.05	0	—	3,567	0.2	3,597	0.2
長野県	185	408	0.6	9	<0.05	13,400	0.8	13,817	0.7
岐阜県	116	37	0.1	1	<0.05	24,377	1.5	24,415	1.2
静岡県	128	12	<0.05	0	—	28,037	1.7	28,049	1.4
愛知県	127	4	<0.05	1	<0.05	39,608	2.4	39,613	2.0
三重県	260	0	—	13	<0.05	59,589	3.7	59,602	3.0
滋賀県	175	606	0.8	242	0.1	113,851	7.0	114,699	5.9
京都府	137	19	<0.05	112	<0.05	22,739	1.4	22,870	1.2
大阪府	370	0	—	0	—	36,167	2.2	36,167	1.8
兵庫県	212	42	0.1	18	<0.05	37,773	2.3	37,833	1.9
奈良県	108	0	—	0	—	16,707	1.0	16,707	0.9
和歌山県	133	0	—	0	—	12,451	0.8	12,451	0.6
鳥取県	10	364	0.5	748	0.3	19,370	1.2	20,482	1.0
島根県	166	2,446	3.3	3,534	1.3	124,263	7.7	130,243	6.7
岡山県	15	0	—	0	—	21,278	1.3	21,278	1.1
広島県	266	4	<0.05	1	<0.05	38,393	2.4	38,398	2.0
山口県	189	0	—	0	—	19,712	1.2	19,712	1.0
徳島県	69	0	—	1	<0.05	26,990	1.7	26,991	1.4
香川県	157	7	<0.05	0	—	20,536	1.3	20,543	1.0
愛媛県	123	0	—	1	<0.05	33,461	2.1	33,462	1.7
高知県	60	2	<0.05	0	—	34,442	2.1	34,444	1.8
福岡県	207	8	<0.05	22	<0.05	25,905	1.6	25,935	1.3
佐賀県	100	2	<0.05	67	<0.05	34,062	2.1	34,131	1.7
長崎県	41	5	<0.05	0	—	39,581	2.4	39,586	2.0
熊本県	147	0	—	0	—	31,636	2.0	31,636	1.6
大分県	262	9	<0.05	30	<0.05	18,389	1.1	18,428	0.9
宮崎県	70	0	—	0	—	12,522	0.8	12,522	0.6
鹿児島県	196	15	<0.05	84	<0.05	20,822	1.3	20,921	1.1
沖縄県	63	0	—	0	—	1,317	0.1	1,317	0.1
合計	6,546	73,465	100.0	262,482	100.0	1,621,200	100.0	1,957,147	100.0

【備考】 国内割合は、各都道府県の観察個体数の、全国合計に対する構成比を示す。
観察地点数は調査地点のうち、実際にガンカモ類が確認された地点の数を示す。

昭和44年度からの観察個体数の推移と調査地点数をそれぞれ図2-1-2、図2-1-3に示した。令和5年度は、ガン、カモ、ハクチョウ類全体の観察個体数は令和4年度と比べて1.4%減少した。分類群別に見ると、ハクチョウ類では4.8%減少、ガン類では15.8%減少、カモ類では1.6%の増加であった。

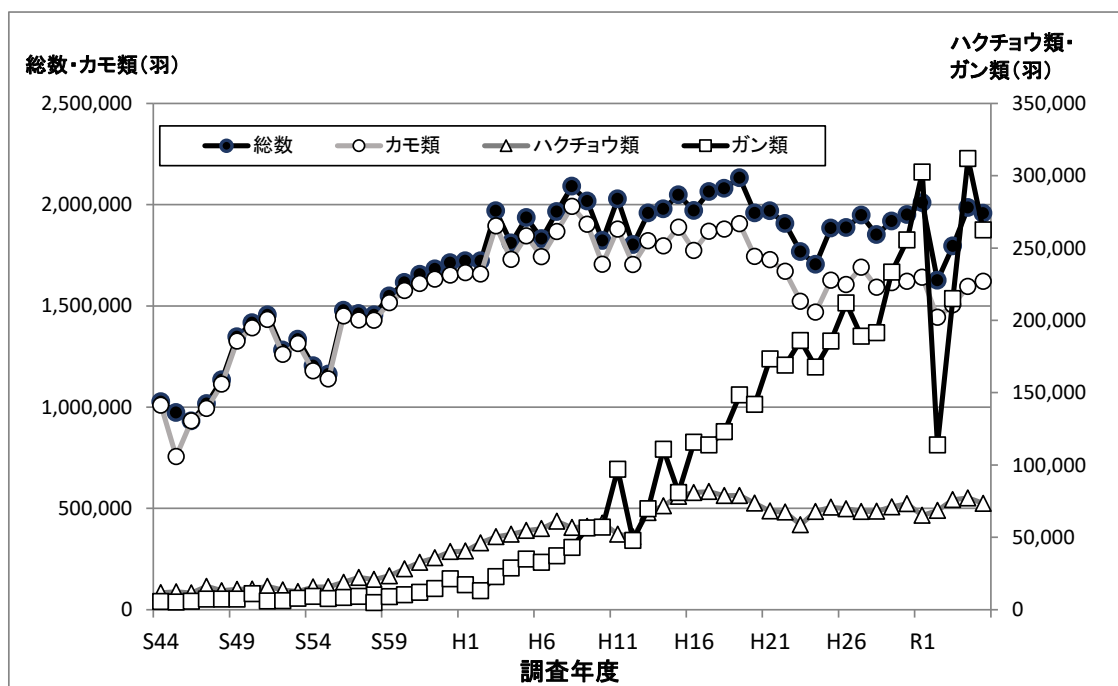


図 2-1-2 昭和 44 年度からのガン、カモ、ハクチョウ類観察個体数の推移

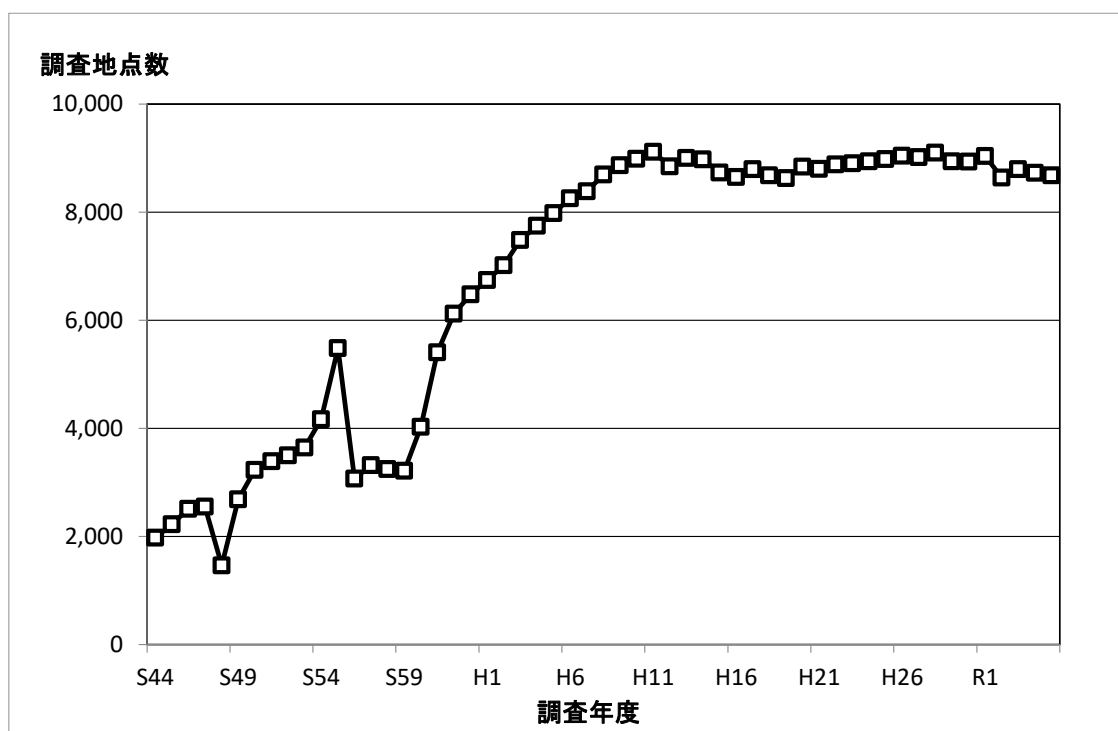


図 2-1-3 昭和 44 年度からの調査地点数の推移

令和5年度にガン、カモ、ハクチョウ類が観察されている調査地域のうち上位10地域を過去2か年度（令和4年度と令和3年度）の観察個体数とともに表2-1-2に示した（調査地域とは、都道府県担当者の視点で一体として扱うべき調査地点群であり、複数の調査地点から構成される場合がある。以降同様とする。）。

ラムサール条約湿地の水鳥類に関する登録基準の一つに「定期的に20,000羽以上の水鳥を支える」ことがあるが、令和5年度も含め3年連続で20,000羽以上のガン、カモ、ハクチョウ類が観察されている調査地域は、蕪栗沼、宍道湖、琵琶湖、霞ヶ浦、伊豆沼内沼、北浦、諫早湾の7地域であった。このうち蕪栗沼、宍道湖、琵琶湖、伊豆沼内沼の4地域は既にラムサール条約湿地である。

表 2-1-2 ガン、カモ、ハクチョウ類観察個体数上位 10 地域

順位	地域名	所在地	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	過去の観察個体数(羽)	
					R4	R3
1	蕪栗沼*	宮城県大崎市田尻	151,580 *	7.7	176,588 *	113,245 *
2	宍道湖*	島根県松江市	103,424 *	5.3	34,010 *	27,333 *
3	琵琶湖*	滋賀県野洲市他	90,140 *	4.6	58,060 *	52,510 *
4	霞ヶ浦*	茨城県行方市他	76,557 *	3.9	65,679 *	78,738 *
5	伊豆沼内沼*	宮城県登米市他	66,490 *	3.4	85,621 *	58,342 *
6	印旛沼	千葉県成田市他	40,731 *	2.1	37,264 *	8,320
7	北浦*	茨城県鉾田市他	32,775 *	1.7	32,889 *	22,273 *
8	諫早湾*	長崎県諫早市	28,274 *	1.4	61,927 *	54,138 *
9	福島潟	新潟県新潟市	24,068 *	1.2	19,309	17,317
10	信濃川	新潟県長岡市、燕市	22,413 *	1.1	12,967	13,809
—	その他	—	1,320,695	67.5	1,400,753	1,349,561
	全国計		1,957,147	100.0	1,985,067	1,795,586

【備考】20,000羽以上の記録とそれが最近3年間継続している地域名は*を付けて太字で示した。
国内割合は、各地域の観察個体数の、全国合計に対する構成比を示す。

2. ハクチョウ類

2.1 観察個体数

ハクチョウ類の令和5年度の観察個体数の種別割合を図2-2-1に示した。

令和5年度の調査では、34都道府県の629地点において73,465羽のハクチョウ類が観察された。主な種を見ると、オオハクチョウが27,607羽、コハクチョウ(アメリカコハクチョウを含む、以降同様)が44,900羽（うち、アメリカコハクチョウ8羽）観察された。また、その他として、移入種であるコブハクチョウ（詳細は、6. 移入種の観察状況を参照）が200羽、種不明が758羽観察された（計958羽）。令和5年度のハクチョウ類の観察個体数の種別割合は、令和4年度と比較してオオハクチョウは4.9%減少し、コハクチョウは0.8%減少した。

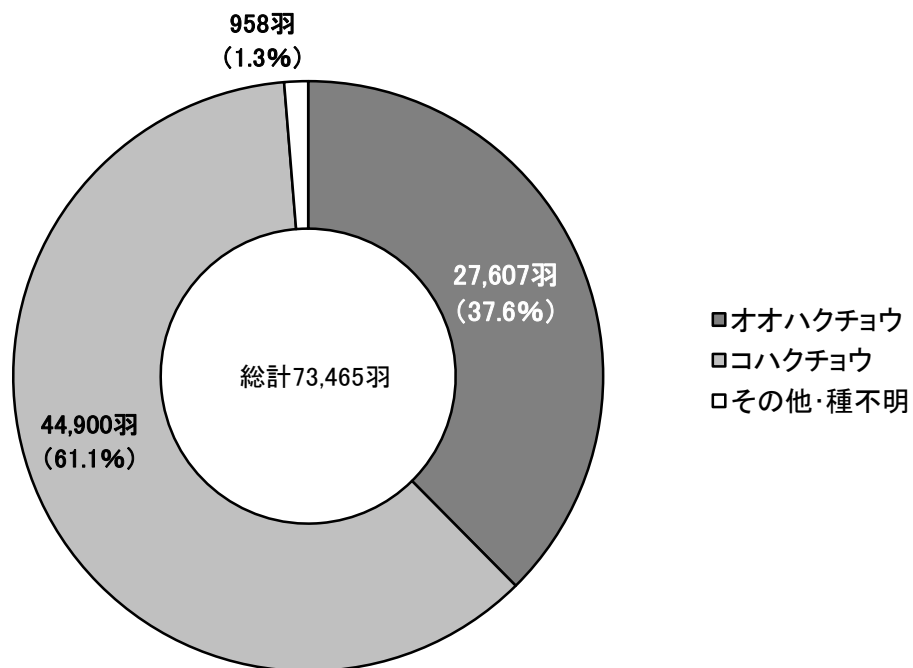


図 2-2-1 ハクチョウ類の観察個体数の内訳

(1) オオハクチョウ

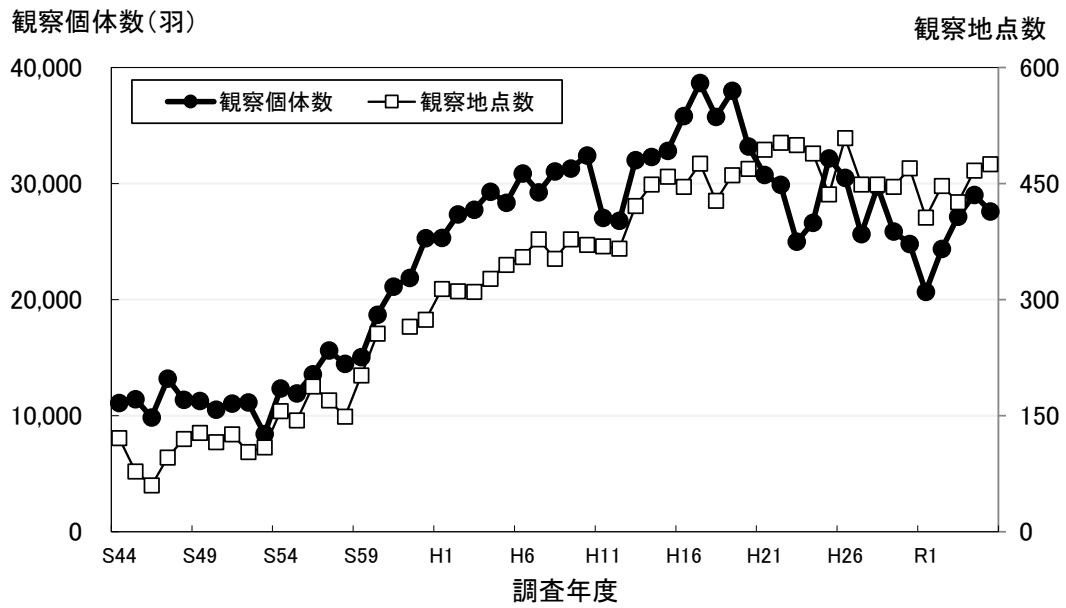
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね400～500地点で推移している。

観察個体数については、平成17年度に38,000羽程度まで増加した後、増減しつつもやや減少傾向が見られ、近年は概ね20,000～30,000羽で推移している（図2-2-2（1））。

(2) コハクチョウ

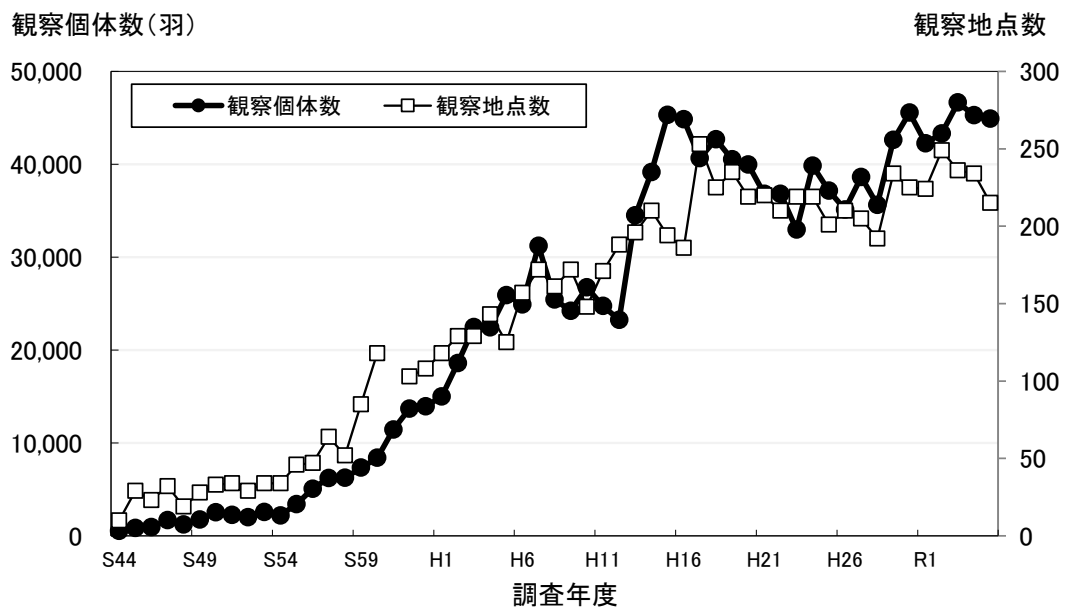
観察状況の最近 20 年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね 150～250 地点で推移している。

観察個体数については、平成 15 年度の 45,000 羽程度から平成 23 年度にかけて減少傾向が見られたものの、平成 24 年度以降は増加傾向に転じ、近年は 40,000 羽以上で推移している（図 2-2-2（2））。



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない

図 2-2-2(1) オオハクチョウの観察状況の推移



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-2-2(2) コハクチョウの観察状況の推移

2.2 分布状況

ハクチョウ類について、令和5年度の都道府県別調査結果を表2-2-1に示した。

ハクチョウ類全体では、東北地方（36,873羽）、北陸（24,984羽）で観察個体数が多く、これら2つの地域で全国の84.2%にあたる61,857羽が観察された。都道府県別の観察個体数を見ると、特に新潟県、宮城県では観察個体数が10,000羽を越えており、2県のみで全体の51%にあたる37,475羽が観察された。ハクチョウ類における種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) オオハクチョウ

北海道、東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）、茨城県及び新潟県で観察個体数が多く、コハクチョウよりも高緯度寄りに分布している。都道府県別に観察個体数を見ると、宮城県が唯一10,000羽を超え、10,321羽観察された。

(2) コハクチョウ

全体的にオオハクチョウより低緯度まで分布しており、朝鮮半島方面から渡ってくるものが知られている島根県では2,416羽が観察された。都道府県別に観察個体数を見ると、新潟県が唯一10,000羽を超え21,791羽観察された。

表 2-2-1 都道府県別のハクチョウ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察地点数	観察個体数（羽）			
		オオハクチョウ	コハクチョウ	その他・種不明	合計
北海道	45	2,806	149	2	2,957
青森県	69	938	178	28	1,144
岩手県	82	4,399	682	36	5,117
宮城県	137	10,321	4,221	8	14,550
秋田県	45	1,606	100	386	2,092
山形県	45	2,095	6,891	288	9,274
福島県	81	2,210	2,402	84	4,696
茨城県	17	1,101	550	20	1,671
栃木県	6	379	36	0	415
群馬県	4	64	113	0	177
埼玉県	5	0	120	2	122
千葉県	7	112	2,114	20	2,246
東京都	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0
新潟県	19	1,132	21,791	2	22,925
富山県	5	358	773	0	1,131
石川県	2	0	772	0	772
福井県	4	0	156	0	156
山梨県	3	0	0	30	30
長野県	12	11	397	0	408
岐阜県	1	0	37	0	37
静岡県	2	12	0	0	12
愛知県	1	4	0	0	4
三重県	0	0	0	0	0
滋賀県	7	3	603	0	606
京都府	1	14	4	1	19
大阪府	0	0	0	0	0
兵庫県	4	12	30	0	42
奈良県	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0
鳥取県	5	0	363	1	364
島根県	8	11	2,416	19	2,446
岡山県	0	0	0	0	0
広島県	1	4	0	0	4
山口県	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0
香川県	2	0	0	7	7
愛媛県	0	0	0	0	0
高知県	1	0	2	0	2
福岡県	2	1	0	7	8
佐賀県	1	0	0	2	2
長崎県	1	5	0	0	5
熊本県	0	0	0	0	0
大分県	2	9	0	0	9
宮崎県	0	0	0	0	0
鹿児島県	2	0	0	15	15
沖縄県	0	0	0	0	0
観察 都道府県数		24	24	19	34
合計	629	27,607	44,900	958	73,465

2.3 法指定区域別の観察状況

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）」（以下「鳥獣保護管理法」）によって、鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別のハクチョウ類観察状況を、表2-2-2～表2-2-5及び図2-2-3に示した。

ハクチョウ類の観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の27.2%にあたる171地点であり、これらの地点では全観察個体数の46.9%にあたる34,477羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域（公道、墓地など）、特定猟具使用禁止区域及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、360地点（57.2%）で52,302羽（71.2%）が観察された。狩猟または銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、269地点（42.8%）で、21,163羽（28.8%）が観察された。

表2-2-2 法指定区域別のハクチョウ類観察状況

区域区分 項目		鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
			項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)
調査地点数(箇所)		1,694	19.5	54	0.6	152	1.8	2,821	32.5	47	0.5	190	2.2	3,726	42.9	8,684	100.0
調査地点面積(ha)		181,915	50.7	725	0.2	3,130	0.9	64,685	18.0	1,841	0.5	6,834	1.9	99,504	27.7	358,634	100.0
観察地点数 (箇所)	オオハクチョウ	133	28.0	2	0.4	12	2.5	103	21.7	15	3.2	19	4.0	191	40.2	475	100.0
	コハクチョウ	57	26.5	0	—	10	4.7	57	26.5	3	1.4	5	2.3	83	38.6	215	100.0
	コブハクチョウ	18	58.1	0	—	0	—	9	29.0	0	—	0	—	4	12.9	31	100.0
	その他・種不明	1	5.6	0	—	0	—	7	38.9	0	—	0	—	10	55.6	18	100.0
	合計	171	27.2	2	0.3	16	2.5	154	24.5	17	2.7	21	3.3	248	39.4	629	100.0
観察個体数 (羽)	オオハクチョウ	9,002	32.6	167	0.6	259	0.9	6,721	24.3	1,587	5.7	1,885	6.8	7,986	28.9	27,607	100.0
	コハクチョウ	25,316	56.4	0	—	375	0.8	8,255	18.4	389	0.9	798	1.8	9,767	21.8	44,900	100.0
	コブハクチョウ	151	75.5	0	—	0	—	31	15.5	0	—	0	—	18	9.0	200	100.0
	その他・種不明	8	1.1	0	—	0	—	41	5.4	0	—	0	—	709	93.5	758	100.0
	合計	34,477	46.9	167	0.2	634	0.9	15,048	20.5	1,976	2.7	2,683	3.7	18,480	25.2	73,465	100.0

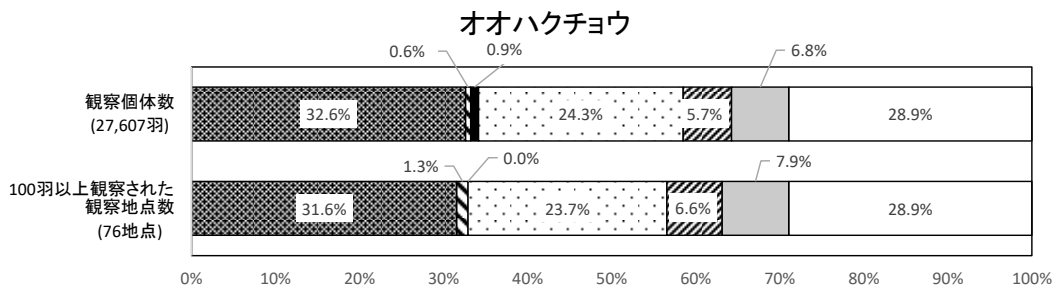
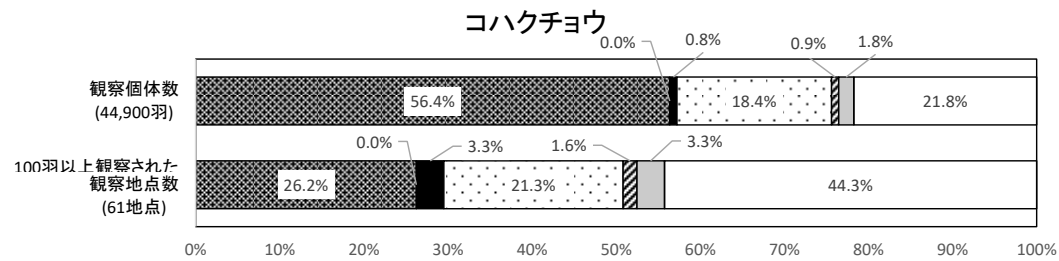
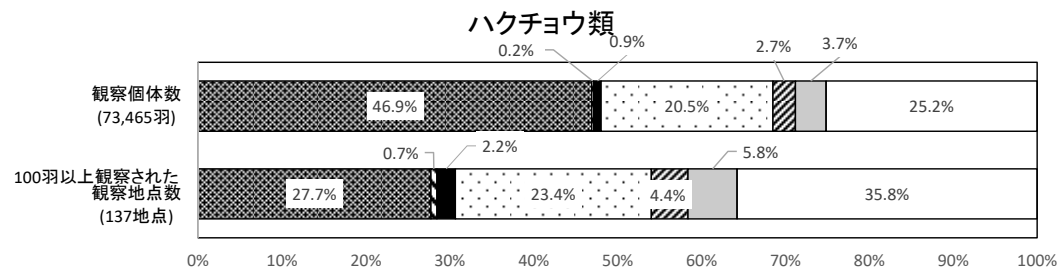
【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-3 法指定区域別のハクチョウ類観察状況（個体数の下限有）

区域区分		観察 個体数 下限値 (羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
項目			項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)	
調査地点数(箇所)			1,694	19.5	54	0.6	152	1.8	2,821	32.5	47	0.5	190	2.2	3,726	42.9	8,684	100.0
調査地点面積(ha)			181,915	50.7	725	0.2	3,130	0.9	64,685	18.0	1,841	0.5	6,834	1.9	99,504	27.7	358,634	100.0
観 察 地 点 数	オオハクチョウ	100	24	31.6	1	1.3	0	—	18	23.7	5	6.6	6	7.9	22	28.9	76	100.0
	コハクチョウ	100	16	26.2	0	—	2	3.3	13	21.3	1	1.6	2	3.3	27	44.3	61	100.0
	ハクチョウ類合計	100	38	27.7	1	0.7	3	2.2	32	23.4	6	4.4	8	5.8	49	35.8	137	100.0

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。



- 鳥獣保護区
- 休猟区
- 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域
- 特定猟具使用禁止区域
- 特定猟具使用制限区域
- 猟区
- その他

図 2-2-3 法指定区域別のハクチョウ類観察状況

表2-2-4 法指定区域別のハクチョウ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地 点数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数
北海道	16	35.6	0	—	3	6.7	6	13.3	0	—	0	—	20	44.4	45
青森県	16	23.2	0	—	1	1.4	7	10.1	0	—	1	1.4	44	63.8	69
岩手県	10	12.2	0	—	0	—	37	45.1	1	1.2	0	—	34	41.5	82
宮城県	37	27.0	2	1.5	0	—	18	13.1	14	10.2	9	6.6	57	41.6	137
秋田県	10	22.2	0	—	0	—	8	17.8	0	—	4	8.9	23	51.1	45
山形県	6	13.3	0	—	0	—	14	31.1	0	—	1	2.2	24	53.3	45
福島県	18	22.2	0	—	10	12.3	23	28.4	1	1.2	4	4.9	25	30.9	81
茨城県	12	70.6	0	—	0	—	4	23.5	0	—	1	5.9	0	—	17
栃木県	3	50.0	0	—	0	—	1	16.7	0	—	0	—	2	33.3	6
群馬県	1	25.0	0	—	0	—	3	75.0	0	—	0	—	0	—	4
埼玉県	1	20.0	0	—	0	—	3	60.0	1	20.0	0	—	0	—	5
千葉県	3	42.9	0	—	0	—	4	57.1	0	—	0	—	0	—	7
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	10	52.6	0	—	0	—	3	15.8	0	—	1	5.3	5	26.3	19
富山県	1	20.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	80.0	5
石川県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
福井県	1	25.0	0	—	0	—	2	50.0	0	—	0	—	1	25.0	4
山梨県	3	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3
長野県	0	—	0	—	2	16.7	4	33.3	0	—	0	—	6	50.0	12
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
静岡県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
愛知県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	5	71.4	0	—	0	—	2	28.6	0	—	0	—	0	—	7
京都府	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	2	50.0	0	—	0	—	2	50.0	0	—	0	—	0	—	4
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	2	40.0	0	—	0	—	3	60.0	0	—	0	—	0	—	5
島根県	6	75.0	0	—	0	—	2	25.0	0	—	0	—	0	—	8
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
福岡県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
長崎県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	171	27.2	2	0.3	16	2.5	154	24.5	17	2.7	21	3.3	248	39.4	629

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-5 法指定区域別のハクチョウ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	
北海道	2,387	80.7	0	—	36	1.2	196	6.6	0	—	0	—	338	11.4	2,957
青森県	289	25.3	0	—	33	2.9	150	13.1	0	—	29	2.5	643	56.2	1,144
岩手県	467	9.1	0	—	0	—	2,854	55.8	34	0.7	0	—	1,762	34.4	5,117
宮城県	2,256	15.5	167	1.1	0	—	2,707	18.6	1,836	12.6	1,385	9.5	6,199	42.6	14,550
秋田県	845	40.4	0	—	0	—	202	9.7	0	—	324	15.5	721	34.5	2,092
山形県	5,403	58.3	0	—	0	—	669	7.2	0	—	105	1.1	3,097	33.4	9,274
福島県	1,267	27.0	0	—	561	11.9	1,385	29.5	32	0.7	191	4.1	1,260	26.8	4,696
茨城県	1,379	82.5	0	—	0	—	241	14.4	0	—	51	3.1	0	—	1,671
栃木県	310	74.7	0	—	0	—	6	1.4	0	—	0	—	99	23.9	415
群馬県	108	61.0	0	—	0	—	69	39.0	0	—	0	—	0	—	177
埼玉県	13	10.7	0	—	0	—	35	28.7	74	60.7	0	—	0	—	122
千葉県	1,435	63.9	0	—	0	—	811	36.1	0	—	0	—	0	—	2,246
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	17,511	76.4	0	—	0	—	2,090	9.1	0	—	598	2.6	2,726	11.9	22,925
富山県	51	4.5	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1,080	95.5	1,131
石川県	2	0.3	0	—	0	—	770	99.7	0	—	0	—	0	—	772
福井県	12	7.7	0	—	0	—	22	14.1	0	—	0	—	122	78.2	156
山梨県	30	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	30
長野県	0	—	0	—	4	1.0	11	2.7	0	—	0	—	393	96.3	408
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	37	100.0	37
静岡県	10	83.3	0	—	0	—	2	16.7	0	—	0	—	0	—	12
愛知県	0	—	0	—	0	—	4	100.0	0	—	0	—	0	—	4
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	27	4.5	0	—	0	—	579	95.5	0	—	0	—	0	—	606
京都府	19	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	19
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	22	52.4	0	—	0	—	20	47.6	0	—	0	—	0	—	42
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	82	22.5	0	—	0	—	282	77.5	0	—	0	—	0	—	364
島根県	528	21.6	0	—	0	—	1,918	78.4	0	—	0	—	0	—	2,446
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	4	100.0	0	—	0	—	0	—	4
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	2	28.6	0	—	0	—	5	71.4	0	—	0	—	0	—	7
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
福岡県	7	87.5	0	—	0	—	1	12.5	0	—	0	—	0	—	8
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
長崎県	5	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	5
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	8	88.9	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	11.1	9
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	15	100.0	0	—	0	—	0	—	15
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	34,477	46.9	167	0.2	634	0.9	15,048	20.5	1,976	2.7	2,683	3.7	18,480	25.2	73,465

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

2.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-2-6～表2-2-8及び図2-2-4に示した。ハクチョウ類は海岸、河口やダム湖での観察個体数は少なく、河川、自然湖沼、その他の人造湖で多かった。また、オオハクチョウは河川で最も多く（9,867羽）観察され、コハクチョウは自然湖沼で最も多く（20,884羽）観察された。

表 2-2-6 地況別のハクチョウ類観察状況

区域区分		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計	
項目		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)	
調査地点数(箇所)		799	9.2	385	4.4	3,002	34.6	531	6.1	690	7.9	3,004	34.6	273	3.1	8,684	100.0
調査地点面積 (ha)		102,565	28.6	21,873	6.1	69,910	19.5	102,369	28.5	31,772	8.9	15,732	4.4	14,415	4.0	358,634	100.0
観察地点数(箇所)	オオハクチョウ	46	9.7	19	4.0	211	44.4	67	14.1	10	2.1	87	18.3	35	7.4	475	100.0
	コハクチョウ	9	4.2	3	1.4	86	40.0	50	23.3	2	0.9	39	18.1	26	12.1	215	100.0
	コブハクチョウ	1	3.2	1	3.2	5	16.1	17	54.8	1	3.2	6	19.4	0	—	31	100.0
	その他・種不明	1	5.6	0	—	13	72.2	2	11.1	0	—	2	11.1	0	—	18	100.0
	合計	50	7.9	22	3.5	280	44.5	102	16.2	13	2.1	114	18.1	48	7.6	629	100.0
観察個体数(羽)	オオハクチョウ	562	2.0	667	2.4	9,867	35.7	5,906	21.4	309	1.1	6,730	24.4	3,566	12.9	27,607	100.0
	コハクチョウ	161	0.4	1,877	4.2	9,789	21.8	20,884	46.5	27	0.1	6,222	13.9	5,940	13.2	44,900	100.0
	コブハクチョウ	66	33.0	2	1.0	13	6.5	91	45.5	7	3.5	21	10.5	0	—	200	100.0
	その他・種不明	2	0.3	0	—	720	95.0	23	3.0	0	—	13	1.7	0	—	758	100.0
	合計	791	1.1	2,546	3.5	20,389	27.8	26,904	36.6	343	0.5	12,986	17.7	9,506	12.9	73,465	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

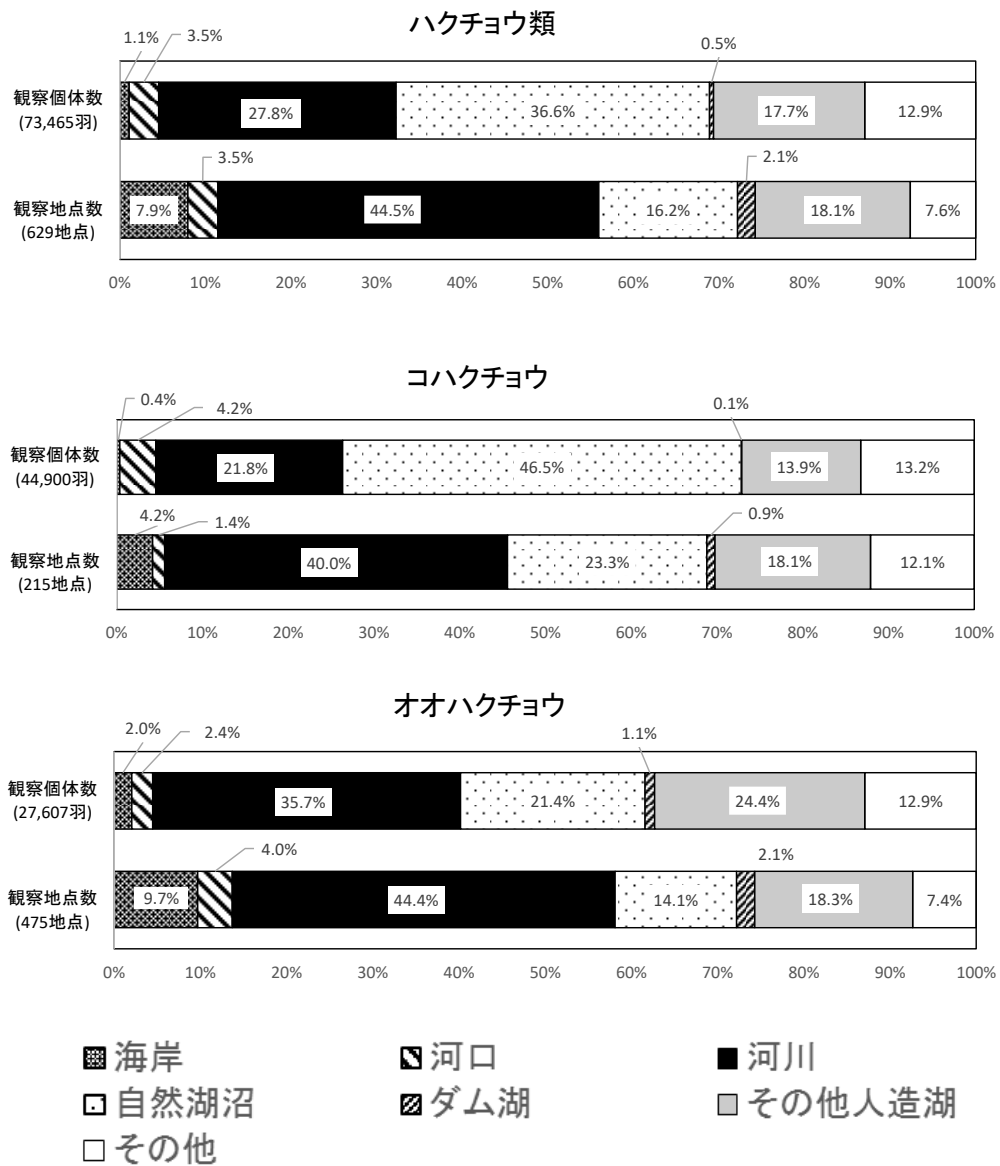


図 2-2-4 地況別のハクチョウ類観測状況

表 2-2-7 地況別のハクチョウ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数
北海道	7	15.6	5	11.1	15	33.3	17	37.8	0	—	0	—	1	2.2	45
青森県	37	53.6	3	4.3	17	24.6	10	14.5	0	—	2	2.9	0	—	69
岩手県	1	1.2	6	7.3	57	69.5	1	1.2	0	—	12	14.6	5	6.1	82
宮城県	0	—	0	—	61	44.5	15	10.9	5	3.6	33	24.1	23	16.8	137
秋田県	0	—	2	4.4	28	62.2	6	13.3	0	—	9	20.0	0	—	45
山形県	0	—	1	2.2	32	71.1	2	4.4	4	8.9	3	6.7	3	6.7	45
福島県	1	1.2	4	4.9	32	39.5	16	19.8	3	3.7	18	22.2	7	8.6	81
茨城県	1	5.9	0	—	0	—	7	41.2	0	—	9	52.9	0	—	17
栃木県	0	—	0	—	1	16.7	0	—	0	—	4	66.7	1	16.7	6
群馬県	0	—	0	—	2	50.0	1	25.0	0	—	1	25.0	0	—	4
埼玉県	0	—	0	—	5	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	5
千葉県	0	—	0	—	3	42.9	1	14.3	0	—	2	28.6	1	14.3	7
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	6	31.6	6	31.6	0	—	6	31.6	1	5.3	19
富山県	0	—	0	—	1	20.0	0	—	0	—	2	40.0	2	40.0	5
石川県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
福井県	0	—	0	—	2	50.0	1	25.0	0	—	0	—	1	25.0	4
山梨県	0	—	0	—	0	—	2	66.7	0	—	1	33.3	0	—	3
長野県	0	—	0	—	8	66.7	1	8.3	0	—	3	25.0	0	—	12
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
静岡県	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	2
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	0	—	0	—	0	—	6	85.7	0	—	1	14.3	0	—	7
京都府	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	1	25.0	0	—	0	—	3	75.0	0	—	4
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	20.0	0	—	3	60.0	1	20.0	0	—	0	—	0	—	5
島根県	0	—	1	12.5	3	37.5	3	37.5	0	—	0	—	1	12.5	8
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
福岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	0	—	1	50.0	2
佐賀県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
長崎県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	2
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	50	7.9	22	3.5	280	44.5	102	16.2	13	2.1	114	18.1	48	7.6	629

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-8 地況別のハクチョウ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)
北海道	81	2.7	247	8.4	138	4.7	2,457	83.1	0	—	0	—	34	1.1	2,957
青森県	515	45.0	69	6.0	262	22.9	189	16.5	0	—	109	9.5	0	—	1,144
岩手県	4	0.1	232	4.5	2,111	41.3	210	4.1	0	—	1,539	30.1	1,021	20.0	5,117
宮城県	0	—	0	—	6,035	41.5	2,341	16.1	70	0.5	2,945	20.2	3,159	21.7	14,550
秋田県	0	—	26	1.2	881	42.1	406	19.4	0	—	779	37.2	0	—	2,092
山形県	0	—	1,917	20.7	3,300	35.6	3,253	35.1	236	2.5	179	1.9	389	4.2	9,274
福島県	66	1.4	53	1.1	1,891	40.3	1,052	22.4	30	0.6	639	13.6	965	20.5	4,696
茨城県	46	2.8	0	—	0	—	1,049	62.8	0	—	576	34.5	0	—	1,671
栃木県	0	—	0	—	11	2.7	0	—	0	—	316	76.1	88	21.2	415
群馬県	0	—	0	—	67	37.9	108	61.0	0	—	2	1.1	0	—	177
埼玉県	0	—	0	—	122	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	122
千葉県	0	—	0	—	21	0.9	5	0.2	0	—	1,450	64.6	770	34.3	2,246
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	4,753	20.7	14,296	62.4	0	—	3,832	16.7	44	0.2	22,925
富山県	0	—	0	—	82	7.3	0	—	0	—	90	8.0	959	84.8	1,131
石川県	0	—	0	—	0	—	772	100.0	0	—	0	—	0	—	772
福井県	0	—	0	—	22	14.1	12	7.7	0	—	0	—	122	78.2	156
山梨県	0	—	0	—	0	—	29	96.7	0	—	1	3.3	0	—	30
長野県	0	—	0	—	401	98.3	2	0.5	0	—	5	1.2	0	—	408
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	37	100.0	37
静岡県	0	—	0	—	2	16.7	0	—	0	—	10	83.3	0	—	12
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	100.0	0	—	4
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	0	—	0	—	0	—	138	22.8	0	—	468	77.2	0	—	606
京都府	0	—	0	—	0	—	19	100.0	0	—	0	—	0	—	19
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	15	35.7	0	—	0	—	27	64.3	0	—	42
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	72	19.8	0	—	247	67.9	45	12.4	0	—	0	—	0	—	364
島根県	0	—	2	0.1	23	0.9	504	20.6	0	—	0	—	1,917	78.4	2,446
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	4	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	4
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	7	100.0	0	—	7
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
福岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	7	87.5	0	—	1	12.5	8
佐賀県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
長崎県	5	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	5
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	1	11.1	0	—	0	—	8	88.9	0	—	9
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	15	100.0	0	—	0	—	0	—	15
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	791	1.1	2,546	3.5	20,389	27.8	26,904	36.6	343	0.5	12,986	17.7	9,506	12.9	73,465

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。

3. ガン類

3.1 観察個体数

ガン類の令和5年度の観察個体数の種別割合を図2-3-1に示した。

令和5年度の調査では、31道府県の152地点において262,482羽のガン類が観察された。主な種を見ると、マガンが244,863羽、ヒシクイが12,993羽、コクガンが1,676羽、その他・種不明が2,950羽観察された。その他・種不明の内訳は、シジュウカラガン1,344羽、ハクガン922羽、カリガネ61羽、サカツラガン17羽、種不明605羽である。なお、シジュウカラガンは、近年増加傾向にあるが、ごく限られた地域でのみの確認であるため、その他に含めて整理している。

令和5年度のガン類の観察個体数の種別割合は、令和4年度と比較してコクガンは100.5%増加、マガンは17.4%減少、ヒシクイは69.1%増加した。

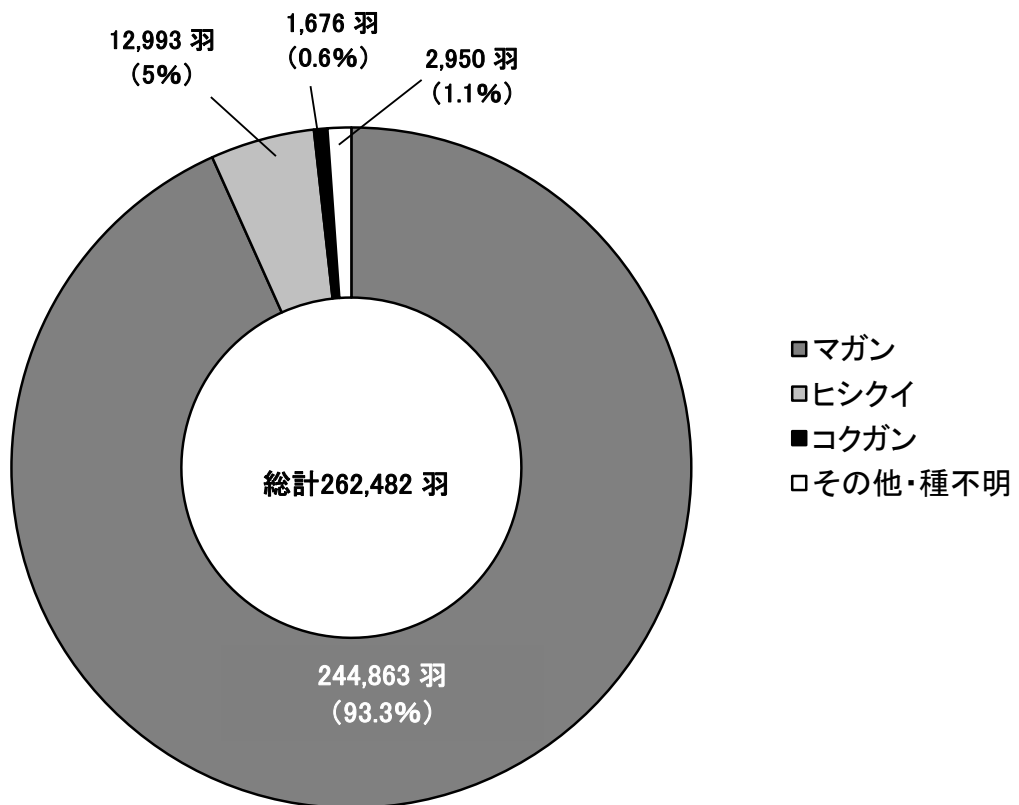


図 2-3-1 ガン類観察個体数の内訳

(1) コクガン

観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね30～60地点で推移している。

観察個体数については、増減しつつも増加傾向が見られ、令和元年度、令和2年度に1,500羽を超えていたが、令和3年度は1,171羽、令和4年度は836羽まで減少するも、令和5年度は過去最大の1,676羽となった（図2-3-2（1））。

(2) マガン

観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、平成30年度までは概ね30～55地点で推移していたが、令和元年度以降は概ね60～85地点で推移している。

観察個体数については増加傾向が見られ、平成29年度から令和元年度は200,000羽を超えており、令和2年度に103,056羽に減少するも、令和4年度は過去最大の296,518羽、令和5年度も244,863羽となった（図2-3-2（2））。

(3) ヒシクイ

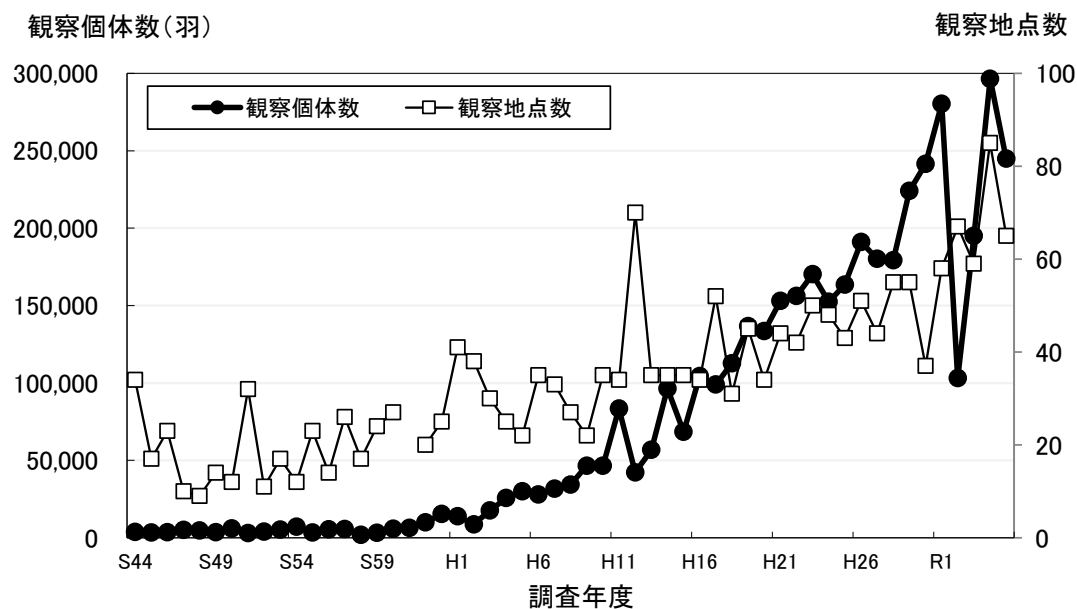
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、平成30年度までは概ね20～40地点で推移していたが、令和元年度以降は50地点前後で推移している。

観察個体数については、平成21年度、平成25年度、平成26年度、令和元年度、令和3年度は15,000羽以上見られるものの、その他の年度は、15,000羽以下で推移しており、令和5年度も12,993羽となった。（図2-3-2（3））。



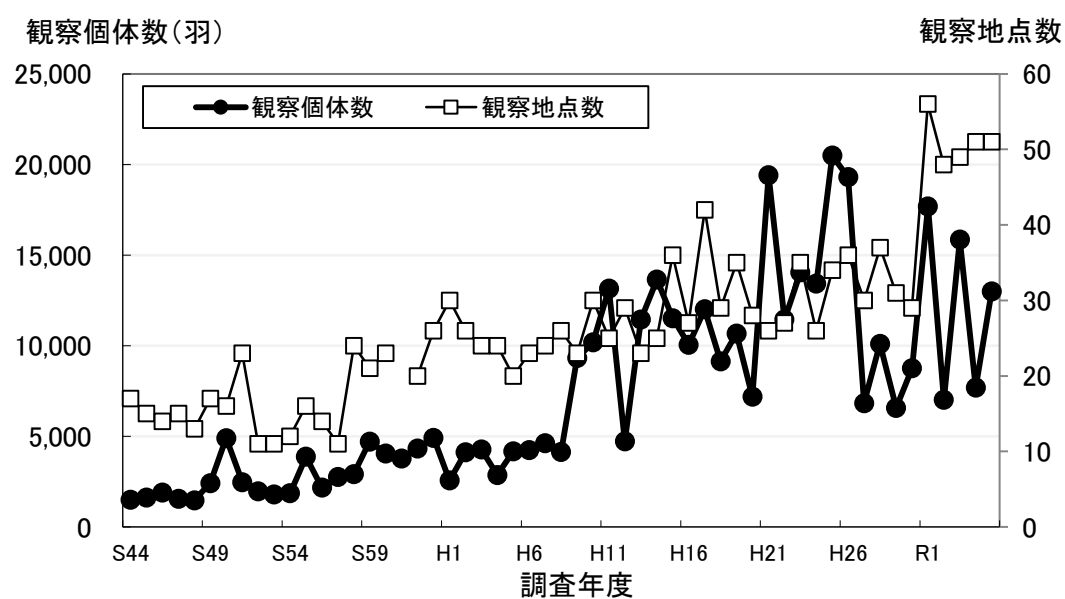
*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(1) コクガンの観察状況の推移



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(2) マガン観察状況の推移



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(3) ヒシクイ観察状況の推移

3.2 分布状況

令和5年度の都道府県別調査結果を表2-3-1に示した。

ガン類は分布が限定的であり、主に観察されたのは東北地方（239,742羽）、北陸（17,449羽）、島根県（3,534羽）であった。種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) コクガン

北海道及び東北地方での観察数が多い。都道府県別に見ると、北海道、青森県、宮城県、岩手県で全体の98.3%にあたる1,647羽が観察された。

(2) マガン

宮城県で全体の91.8%にあたる224,827羽が観察された。それ以外の地域では岩手県で4,021羽、日本海側でも秋田県で3,599羽、新潟県で6,926羽、福井県で1,200羽、島根県で3,096羽が観察された。

(3) ヒシクイ

宮城県、秋田県、山形県、新潟県及び石川県で全体の91.7%にあたる11,916羽が観察された。その他、100羽以上観察されたのは、滋賀県、鳥取県、島根県であった。

(4) その他

シジュウカラガンは秋田県で1,076羽（全体の80.1%）、宮城県で247羽（全体の18.4%）が観察された。

ハクガンは新潟県で780羽（全体の84.6%）、秋田県で111羽（全体の12.0%）、宮城県で17羽（全体の1.8%）が観察された。

表 2-3-1 都道府県別のガン類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察 地点数	観察個体数(羽)				合計
		コクガン	マガン	ヒシクイ	その他・種不明	
北海道	9	312	2	0	0	314
青森県	19	381	0	0	0	381
岩手県	14	84	4,021	6	13	4,124
宮城県	31	870	224,827	1,847	403	227,947
秋田県	22	0	3,599	1,518	1,247	6,364
山形県	6	0	420	157	318	895
福島県	2	0	0	31	0	31
茨城県	1	0	0	89	0	89
栃木県	1	0	0	0	1	1
群馬県	2	0	2	0	0	2
埼玉県	0	0	0	0	0	0
千葉県	1	0	0	1	0	1
東京都	0	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0
新潟県	6	0	6,926	7,809	780	15,515
富山県	1	0	2	0	0	2
石川県	1	0	87	585	0	672
福井県	1	0	1,200	60	0	1,260
山梨県	0	0	0	0	0	0
長野県	2	0	0	9	0	9
岐阜県	1	0	1	0	0	1
静岡県	0	0	0	0	0	0
愛知県	1	0	0	0	1	1
三重県	1	13	0	0	0	13
滋賀県	2	0	12	230	0	242
京都府	3	0	41	71	0	112
大阪府	0	0	0	0	0	0
兵庫県	2	0	0	18	0	18
奈良県	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0
鳥取県	3	0	611	121	16	748
島根県	2	0	3,096	436	2	3,534
岡山県	0	0	0	0	0	0
広島県	1	0	0	1	0	1
山口県	0	0	0	0	0	0
徳島県	1	0	0	1	0	1
香川県	0	0	0	0	0	0
愛媛県	1	1	0	0	0	1
高知県	0	0	0	0	0	0
福岡県	4	15	0	3	4	22
佐賀県	3	0	16	0	51	67
長崎県	0	0	0	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0
大分県	4	0	0	0	30	30
宮崎県	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	4	0	0	0	84	84
沖縄県	0	0	0	0	0	0
観察 都道府県数		7	16	19	13	31
合計	152	1,676	244,863	12,993	2,950	262,482

3.3 法指定区域別の観察状況

鳥獣保護管理法によって、鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別の観察状況を、表2-3-2～表2-3-5及び図2-3-3に示した。

(1) コクガン

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の20.4%にあたる10地点であり、これらの地点ではコクガンの全観察個体数の22.1%にあたる371羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、15地点（30.6%）で466羽（27.8%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、34地点（69.4%）で1,210羽（72.2%）が観察された。

(2) マガン

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の30.8%にあたる20地点であり、これらの地点ではマガンの全観察個体数の93.0%にあたる227,645羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、29地点（44.6%）で231,733羽（94.6%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、36地点（55.4%）で13,130羽（5.4%）が観察された。

(3) ヒシクイ

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の41.2%にあたる21地点であり、これらの地点ではヒシクイの全観察個体数の86.3%にあたる11,215羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、32地点（62.7%）で11,355羽（87.4%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、19地点（37.3%）で1,638羽（12.6%）が観察された。

表2-3-2 法指定区域別のガン類観察状況

区域区分 項目		鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号 ハからチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
			項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)
調査地点数(箇所)		1,694	19.5	54	0.6	152	1.8	2,821	32.5	47	0.5	190	2.2	3,726	42.9	8,684	100.0
調査地点面積(ha)		181,915	50.7	725	0.2	3,130	0.9	64,685	18.0	1,841	0.5	6,834	1.9	99,504	27.7	358,634	100.0
観察地点数 (箇所)	コクガン	10	20.4	0	—	0	—	5	10.2	0	—	0	—	34	69.4	49	100.0
	マガン	20	30.8	0	—	0	—	9	13.8	0	—	1	1.5	35	53.8	65	100.0
	ヒシクイ	21	41.2	0	—	2	3.9	9	17.6	0	—	0	—	19	37.3	51	100.0
	その他・種不明	13	31.7	0	—	0	—	5	12.2	0	—	0	—	23	56.1	41	100.0
	合計	40	26.3	0	—	2	1.3	22	14.5	0	—	1	0.7	87	57.2	152	100.0
観察個体数 (羽)	コクガン	371	22.1	0	—	0	—	95	5.7	0	—	0	—	1,210	72.2	1,676	100.0
	マガン	227,645	93.0	0	—	0	—	4,088	1.7	0	—	150	0.1	12,980	5.3	244,863	100.0
	ヒシクイ	11,215	86.3	0	—	31	0.2	109	0.8	0	—	0	—	1,638	12.6	12,993	100.0
	その他・種不明	1,254	42.5	0	—	0	—	118	4.0	0	—	0	—	1,578	53.5	2,950	100.0
	合計	240,485	91.6	0	—	31	0.0	4,410	1.7	0	—	150	0.1	17,406	6.6	262,482	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-3 法指定区域別のガン類観察状況（個体数の下限有）

区域区分 項目		観察 個体数 下限値 (羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
				項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)
調査地点数(箇所)			1,694	19.5	54	0.6	152	1.8	2,821	32.5	47	0.5	190	2.2	3,726	42.9	8,684	100.0
調査地点面積(ha)			181,915	50.7	725	0.2	3,130	0.9	64,685	18.0	1,841	0.5	6,834	1.9	99,504	27.7	358,634	100.0
観察地点数 (箇所)	コクガン	10	7	21.2	0	—	0	—	3	9.1	0	—	0	—	23	69.7	33	100.0
	マガン	100	12	34.3	0	—	0	—	4	11.4	0	—	1	2.9	18	51.4	35	100.0
	ヒシクイ	100	9	60.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	40.0	15	100.0
	ガン類合計	100	18	36.0	0	—	0	—	4	8.0	0	—	1	2.0	27	54.0	50	100.0

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。

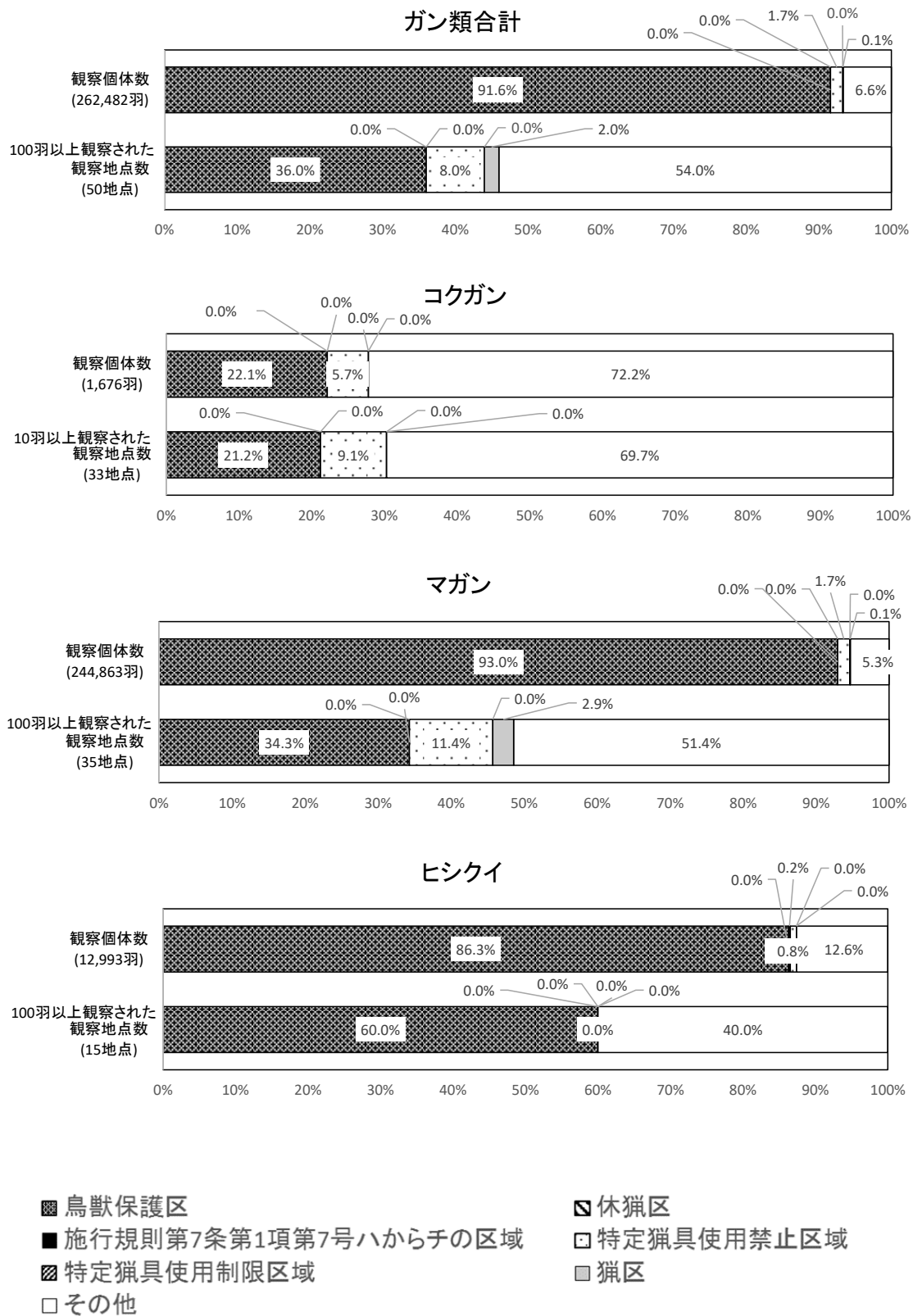


図 2-3-3 法指定区域別のガン類観察状況

表 2-3-4 法指定区域別のガン類観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区	その他の区域			合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数
北海道	0	—	0	—	0	—	2	22.2	0	—	0	—	7	77.8	9
青森県	3	15.8	0	—	0	—	1	5.3	0	—	0	—	15	78.9	19
岩手県	2	14.3	0	—	0	—	6	42.9	0	—	0	—	6	42.9	14
宮城県	15	48.4	0	—	0	—	2	6.5	0	—	0	—	14	45.2	31
秋田県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	4.5	21	95.5	22
山形県	3	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	50.0	6
福島県	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	2
茨城県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
栃木県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
群馬県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	4	66.7	0	—	0	—	1	16.7	0	—	0	—	1	16.7	6
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
石川県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	2
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
滋賀県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
京都府	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
島根県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	1	25.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	75.0	4
佐賀県	0	—	0	—	0	—	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	3
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	100.0	4
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	100.0	4
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	40	26.3	0	—	2	1.3	22	14.5	0	—	1	0.7	87	57.2	152

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-5 法指定区域別のガン類観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）
北海道	0	—	0	—	0	—	14	4.5	0	—	0	—	300	95.5	314
青森県	80	21.0	0	—	0	—	22	5.8	0	—	0	—	279	73.2	381
岩手県	23	0.6	0	—	0	—	617	15.0	0	—	0	—	3,484	84.5	4,124
宮城県	219,130	96.1	0	—	0	—	3,351	1.5	0	—	0	—	5,466	2.4	227,947
秋田県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	150	2.4	6,214	97.6	6,364
山形県	678	75.8	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	217	24.2	895
福島県	0	—	0	—	31	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	31
茨城県	89	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	89
栃木県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
群馬県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	15,246	98.3	0	—	0	—	254	1.6	0	—	0	—	15	0.10	15,515
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
石川県	672	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	672
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1,260	100.0	1,260
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	3	33.3	0	—	0	—	6	66.7	9
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	13	100.0	13
滋賀県	242	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	242
京都府	108	96.4	0	—	0	—	4	3.6	0	—	0	—	0	—	112
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	10	55.6	0	—	0	—	8	44.4	0	—	0	—	0	—	18
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	663	88.6	0	—	0	—	85	11.4	0	—	0	—	0	—	748
島根県	3,525	99.7	0	—	0	—	9	0.3	0	—	0	—	0	—	3,534
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	15	68.2	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	7	31.8	22
佐賀県	0	—	0	—	0	—	41	61.2	0	—	0	—	26	38.8	67
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	30	100.0	30
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	84	100.0	84
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	240,485	91.6	0	—	31	0.012	4,410	1.7	0	—	150	0.057	17,406	6.6	262,482

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

3.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-3-6～表2-3-8及び図2-3-4に示した。

(1) コクガン

主に海岸及び河口で観察され、観察地点数は計48地点（98％）であった。また、観察個体数は、それぞれ1,515羽（90.4％）及び146羽（8.7％）であった。

(2) マガン

自然湖沼で最も多く観察され、観察地点数は計15地点（23.1％）、観察個体数は221,472羽（90.4％）であった。

(3) ヒシクイ

自然湖沼で最も多く観察され、観察地点数は14地点（27.5％）、観察個体数は9,474羽（72.9％）であった。

表 2-3-6 地況別のガン類観察状況

区域 項目	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計		
		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)	
調査地点数(箇所)	799	9.2	385	4.4	3,002	34.6	531	6.1	690	7.9	3,004	34.6	273	3.1	8,684	100.0	
調査地点面積 (ha)	102,565	28.6	21,873	6.1	69,910	19.5	102,369	28.5	31,772	8.9	15,732	4.4	14,415	4.0	358,634	100.0	
観察地点数 (箇所)	コクガン	42	85.7	6	12.2	0	—	0	—	0	—	1	2.0	0	—	49	100.0
	マガン	1	1.5	2	3.1	11	16.9	15	23.1	1	1.5	5	7.7	30	46.2	65	100.0
	ヒシクイ	1	2.0	1	2.0	12	23.5	14	27.5	1	2.0	6	11.8	16	31.4	51	100.0
	その他・種不明	6	14.6	1	2.4	8	19.5	10	24.4	2	4.9	3	7.3	11	26.8	41	100.0
	合計	48	31.6	8	5.3	27	17.8	21	13.8	3	2.0	13	8.6	32	21.1	152	100.0
観察個体数 (羽)	コクガン	1,515	90.4	146	8.7	0	—	0	—	0	—	15	0.9	0	—	1,676	100.0
	マガン	600	0.2	408	0.2	4,272	1.7	221,472	90.4	4,916	2.0	4,887	2.0	8,308	3.4	244,863	100.0
	ヒシクイ	62	0.5	153	1.2	275	2.1	9,474	72.9	1,347	10.4	87	0.7	1,595	12.3	12,993	100.0
	その他・種不明	25	0.8	114	3.9	349	11.8	946	32.1	205	6.9	50	1.7	1,261	42.7	2,950	100.0
	合計	2,202	0.8	821	0.3	4,896	1.9	231,892	88.3	6,468	2.5	5,039	1.9	11,164	4.3	262,482	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す。

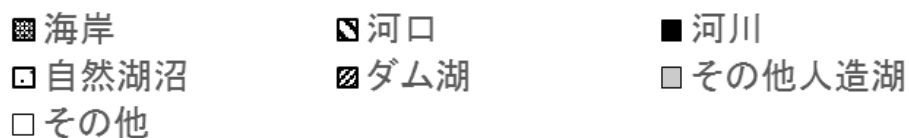
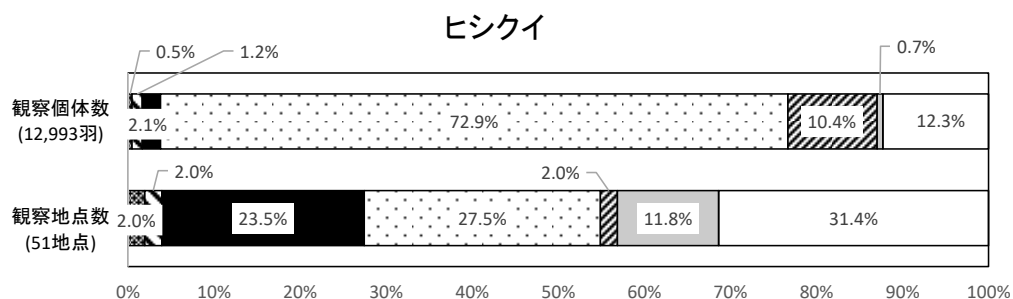
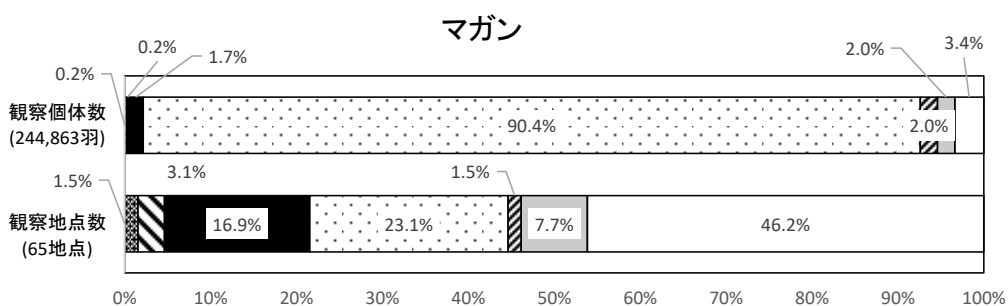
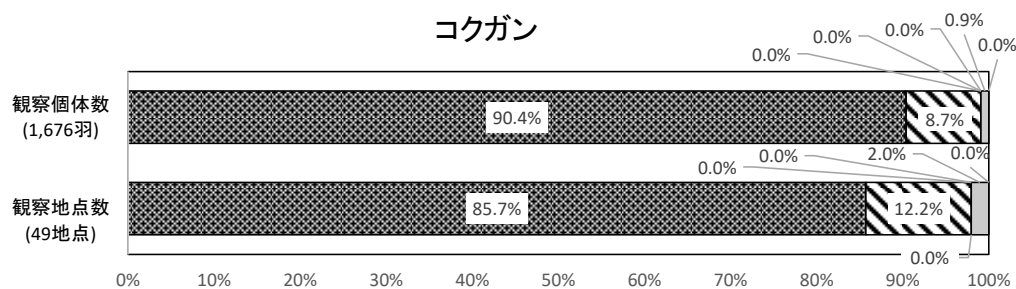
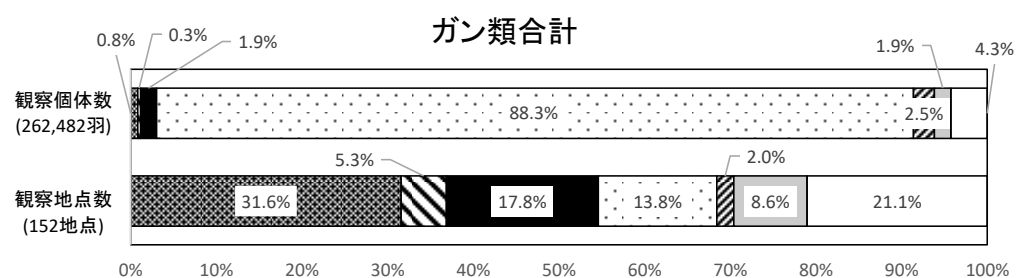


図 2-3-4 地況別のガン類観察状況

表 2-3-7 地況別のガン類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	
北海道	7	77.8	2	22.2	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	9
青森県	19	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	19
岩手県	2	14.3	3	21.4	2	14.3	0	—	0	—	2	14.3	5	35.7	14
宮城県	14	45.2	0	—	4	12.9	6	19.4	2	6.5	3	9.7	2	6.5	31
秋田県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	4.5	21	95.5	22
山形県	0	—	1	16.7	3	50.0	2	33.3	0	—	0	—	0	—	6
福島県	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
茨城県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
群馬県	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	2	33.3	3	50.0	0	—	1	16.7	0	—	6
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
石川県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
滋賀県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
京都府	0	—	0	—	2	66.7	1	33.3	0	—	0	—	0	—	3
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	33.3	0	—	1	33.3	1	33.3	0	—	0	—	0	—	3
島根県	0	—	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	2
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	1	25.0	0	—	3	75.0	0	—	4
佐賀県	0	—	0	—	2	66.7	0	—	1	33.3	0	—	0	—	3
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	2	50.0	0	—	2	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	4
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	3	75.0	0	—	1	25.0	0	—	0	—	0	—	0	—	4
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	48	31.6	8	5.3	27	17.8	21	13.8	3	2.0	13	8.6	32	21.1	152

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-8 地況別のガン類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）
北海道	241	76.8	73	23.2	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	314
青森県	381	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	381
岩手県	23	0.6	61	1.5	199	4.8	0	—	0	—	412	10.0	3,429	83.1	4,124
宮城県	870	0.4	0	—	3,894	1.7	212,050	93.0	6,458	2.8	4,426	1.9	249	0.1	227,947
秋田県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	150	2.4	6,214	97.6	6,364
山形県	0	—	673	75.2	217	24.2	5	0.6	0	—	0	—	0	—	895
福島県	0	—	0	—	8	25.8	23	74.2	0	—	0	—	0	—	31
茨城県	0	—	0	—	89	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	89
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
群馬県	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	269	1.7	15,233	98.2	0	—	13	0.1	0	—	15,515
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
石川県	0	—	0	—	0	—	672	100.0	0	—	0	—	0	—	672
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1,260	100.0	1,260
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	6	66.7	3	33.3	0	—	0	—	0	—	9
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	13	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	13
滋賀県	0	—	0	—	0	—	242	100.0	0	—	0	—	0	—	242
京都府	0	—	0	—	4	3.6	108	96.4	0	—	0	—	0	—	112
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	18	100.0	0	—	18
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	663	88.6	0	—	58	7.8	27	3.6	0	—	0	—	0	—	748
島根県	0	—	0	—	0	—	3,525	99.7	0	—	0	—	9	0.3	3,534
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	3	13.6	0	—	19	86.4	0	—	22
佐賀県	0	—	0	—	57	85.1	0	—	10	14.9	0	—	0	—	67
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	10	33.3	0	—	20	66.7	0	—	0	—	0	—	0	—	30
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	14	16.7	0	—	70	83.3	0	—	0	—	0	—	0	—	84
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	2,202	0.8	821	0.3	4,896	1.9	231,892	88.3	6,468	2.5	5,039	1.9	11,164	4.3	262,482

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、地況別の構成比を示す。

4. カモ類

4.1 観察個体数

カモ類の令和5年度の観察個体数の種別割合を図2-4-1に示した。

令和5年度は、47都道府県において、6,402地点で1,621,200羽のカモ類が観察された。令和5年度は前年度から25,118羽の増加であった。一方、観察地点数はここ数年6,000地点前後で推移している。種類別の観察個体数の内訳で見ると、最も多いのはマガモ411,184羽（25.4%）であり、次いでカルガモ200,459羽（12.4%）、オナガガモ163,651羽（10.1%）、ヒドリガモ152,668羽（9.4%）、スズガモ130,680羽（8.1%）、コガモ129,266羽（8.0%）、ホシハジロ108,323羽（6.7%）、キンクロハジロ55,681羽（3.4%）、その他229,599羽（14.2%）、種不明39,689羽（2.4%）であった。

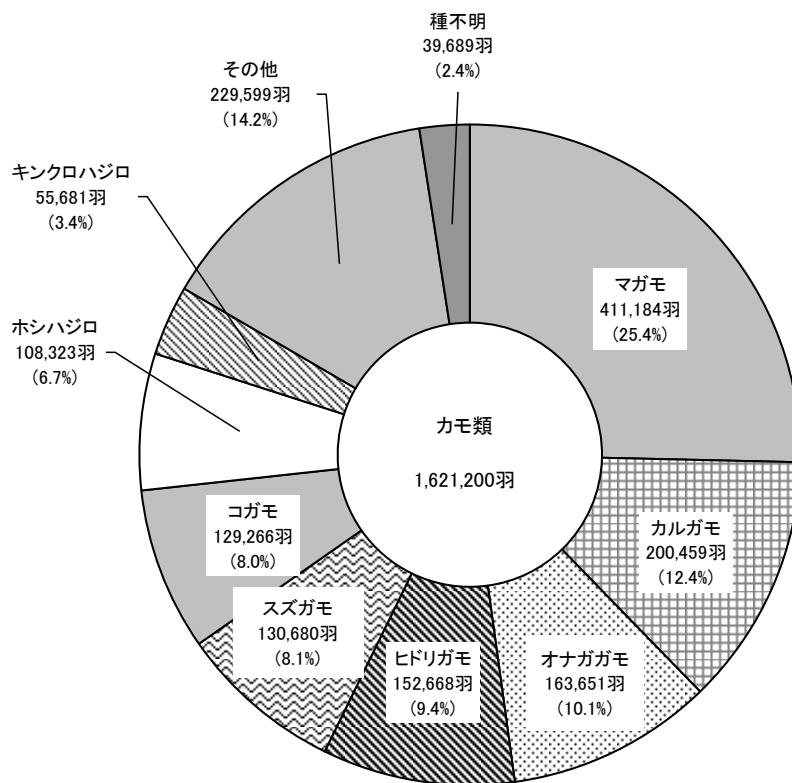


図 2-4-1 カモ類観察個体数の内訳

注) 淡水ガモ：本調査の対象種は、オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、アメリカヒドリ、シマアジである。

海ガモ：本調査の対象種は、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、ビロードキンクロ、シノリガモ、コオリガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ウミアイサ、カワアイサ、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサである。

ツクシガモ等：本調査の対象種は、ツクシガモ、アカツクシガモ、リュウキュウガモである。

カモ類における種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) オシドリ

観察地点数は概ね 500～700 地点を推移している。観察個体数は、昭和 50 年代後半から増減しつつも全体としては増加傾向にある。平成 26 年度 32,000 羽程度まで増加した後、増減しつつも減少傾向にあり、令和 5 年度は 21,000 羽程度まで減少した。

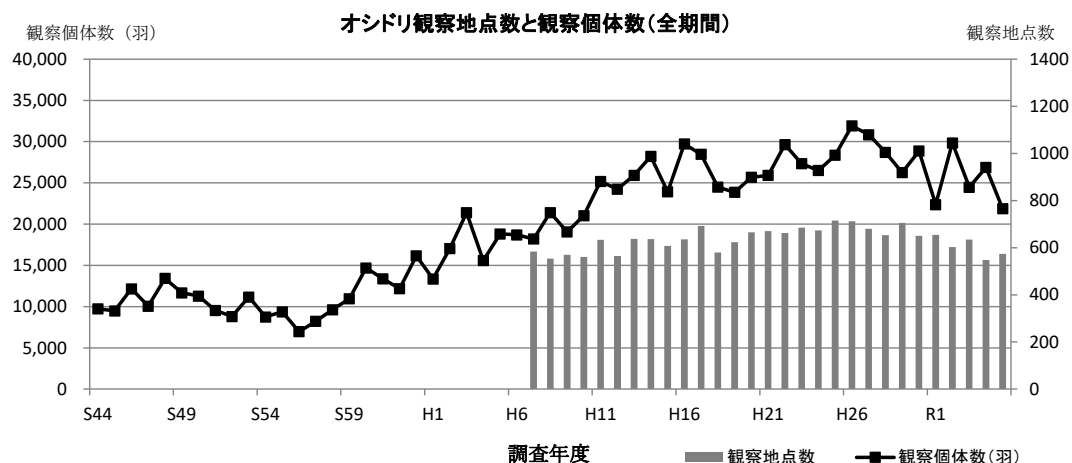


図2-4-2 (1) オシドリの観察状況の推移

(2) マガモ

観察地点数は概ね3,000～3,700地点を推移している。観察個体数は、調査開始当初は200,000羽程度であったものが、昭和56年頃から増加に転じ、平成8～11年度に500,000羽前後でピークに達した。その後平成24年度まで減少傾向にあり、近年は400,000羽程度で推移している。

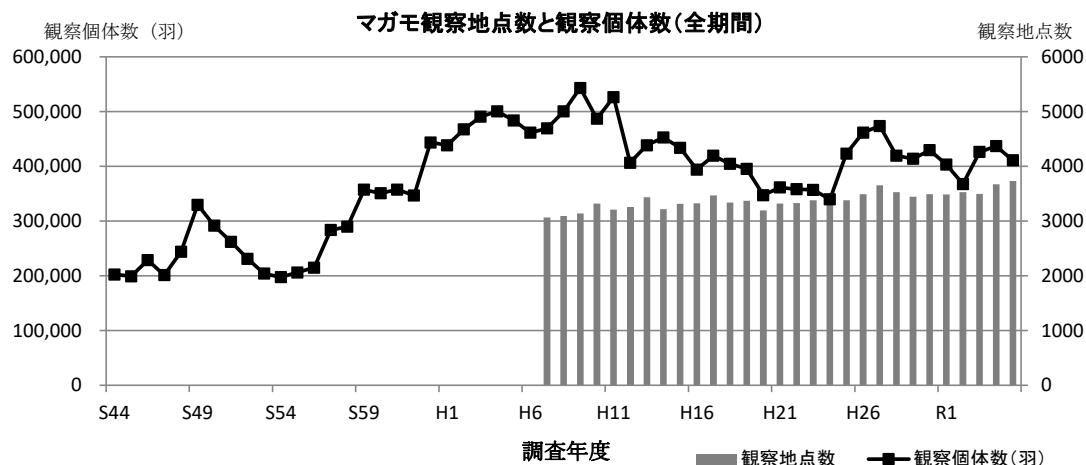


図 2-4-2 (2) マガモの観察状況の推移

(3) カルガモ

観察地点数はやや増加傾向にある。観察個体数は、調査開始当初から昭和50年代後半まで増加し、その後平成24年度まで減少傾向となった。以降はやや増加傾向にあり、近年は200,000羽程度で推移している。

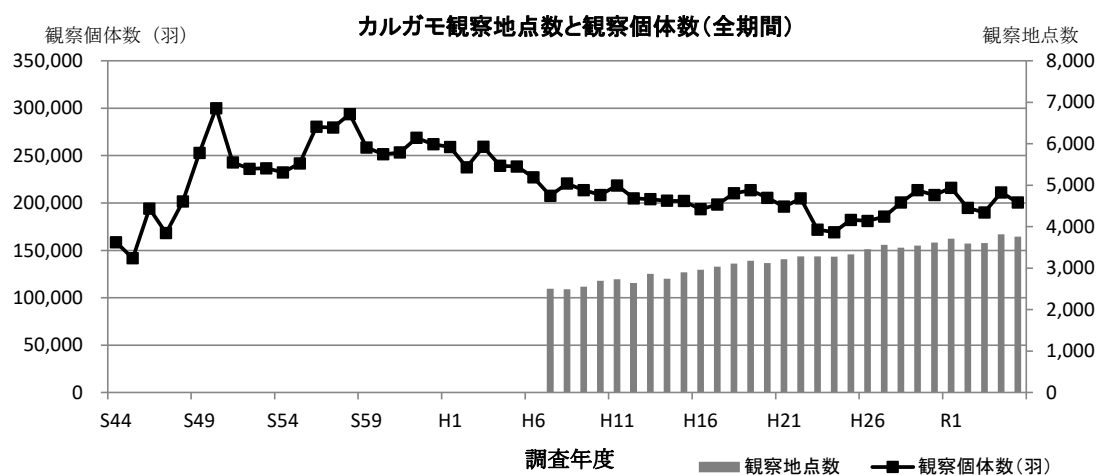


図 2-4-2 (3) カルガモの観察状況の推移

(4) コガモ

観察地点数は概ね2,500～2,700地点を推移している。観察個体数は、概ね150,000～200,000羽を推移していたが、令和2年度以降150,000羽を下回っている。

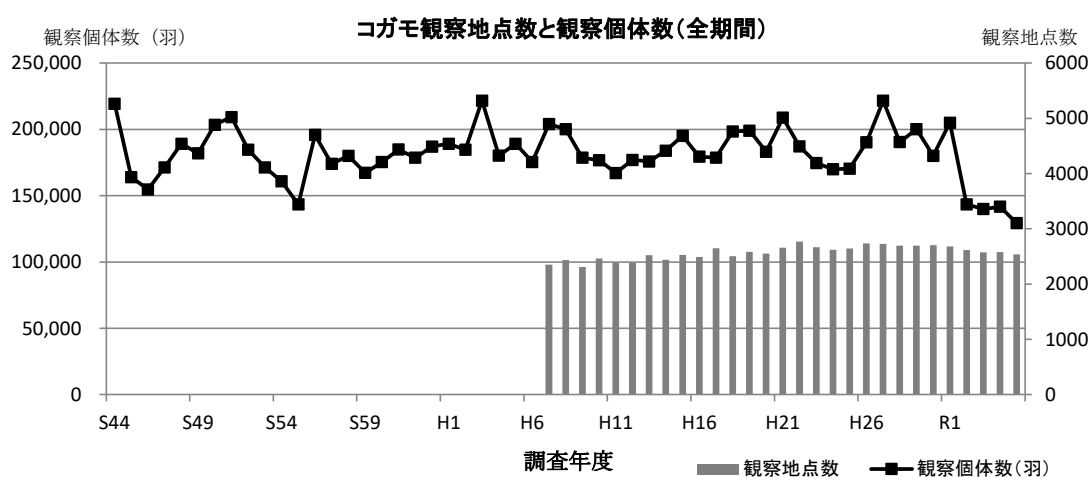


図 2-4-2 (4) コガモの観察状況の推移

(5) トモエガモ

観察地点数は増減しているが、令和2年度は200地点を上回り、過去最大となった。近年の観察個体数について、平成27年度、平成28年度は2,000羽程度だったが、以降は増加傾向にあり、令和5年度は110,000羽を超えた。

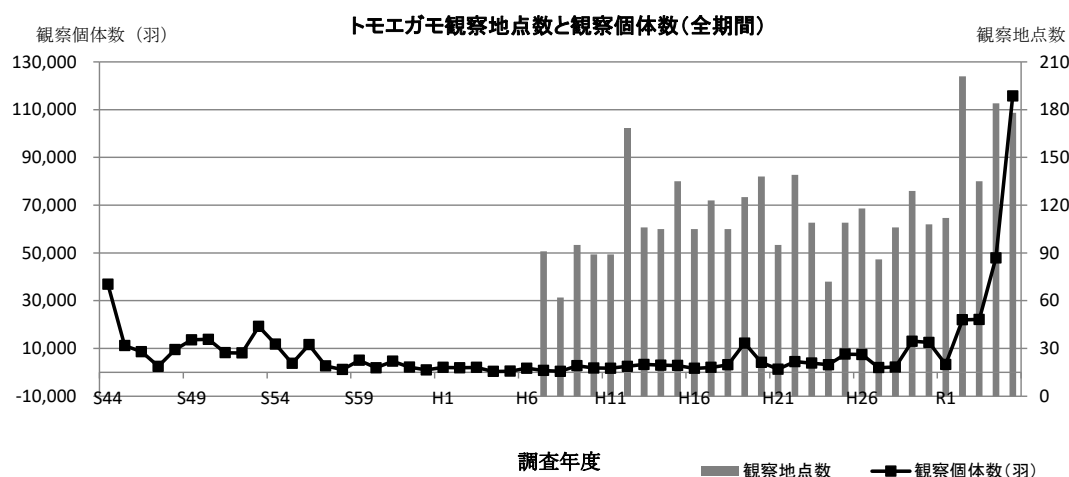


図2-4-2 (5) トモエガモの観察状況の推移

(6) ヨシガモ

観察地点数はやや増加傾向にあり、最近10年間は400地点以上で推移している。観察個体数は、平成21年度に17,000羽程度まで増加した後、概ね11,000～15,000羽で推移していたが、令和5年度は18,000羽程度まで増加した。

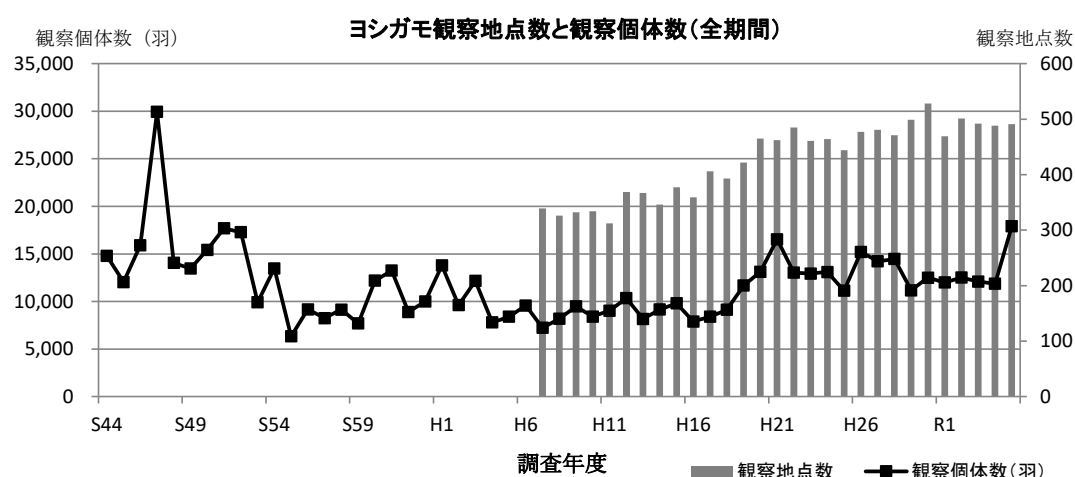


図 2-4-2 (6) ヨシガモの観察状況の推移

(7) オカヨシガモ

観察地点数は増加傾向にあり、平成28年度より700地点を越えている。観察個体数は、昭和55年度頃から増加傾向にあり、近年は20,000～25,000羽程度で推移していたが、令和5年度は29,000羽を超えて、過去最高となった。

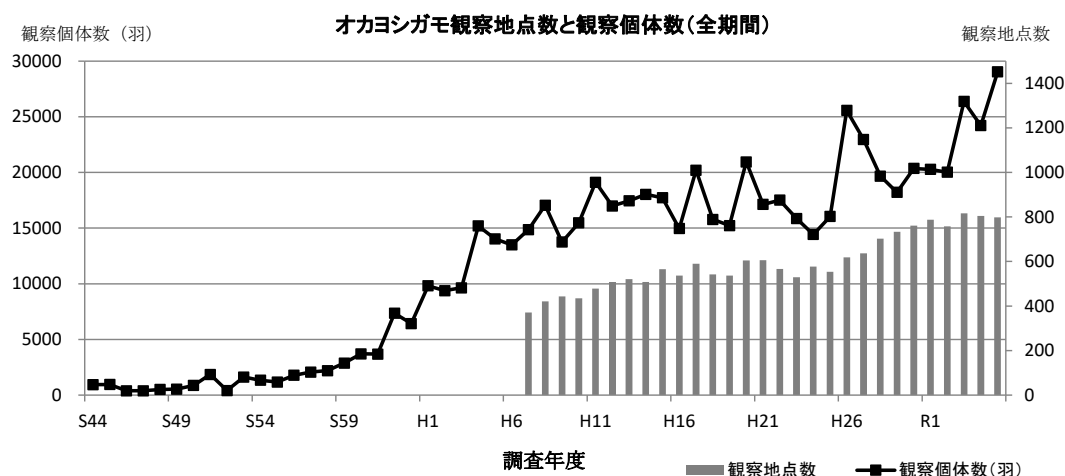


図2-4-2 (7) オカヨシガモの観察状況の推移

(8) ヒドリガモ

観察地点数は増加傾向であったが平成22年度以降は1,700～2,000地点で推移している。観察個体数は昭和44年度の40,000羽以下からほぼ直線的に増加し、平成19年度には200,000羽以上が観察されたが、以降は減少傾向にある。

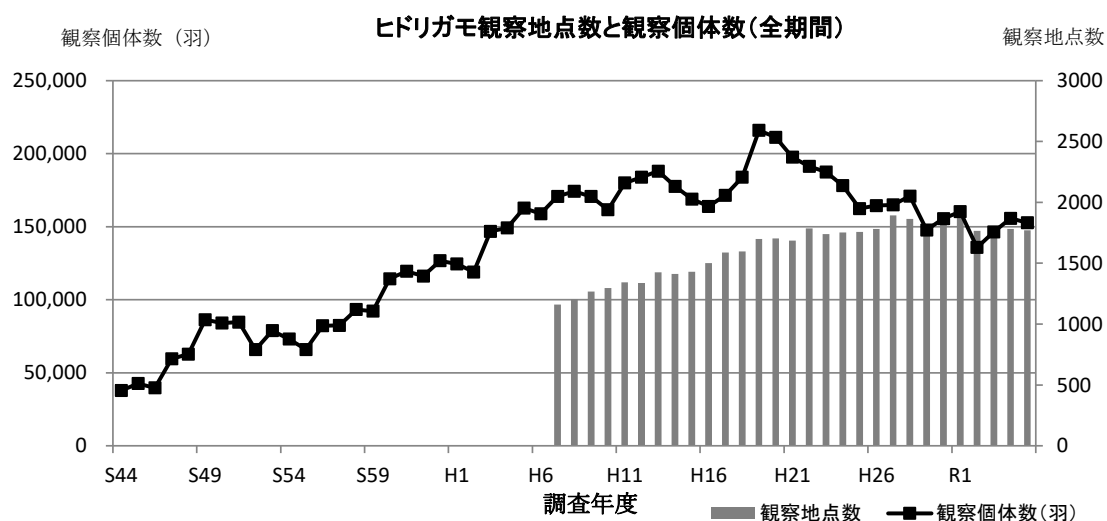


図 2-4-2 (8) ヒドリガモの観察状況の推移

(9) オナガガモ

観察地点数は1,000地点前後で推移している。観察個体数は平成19年度に220,000羽程度となって以降減少傾向に転じたが、平成24年以降は150,000～200,000羽で推移している。

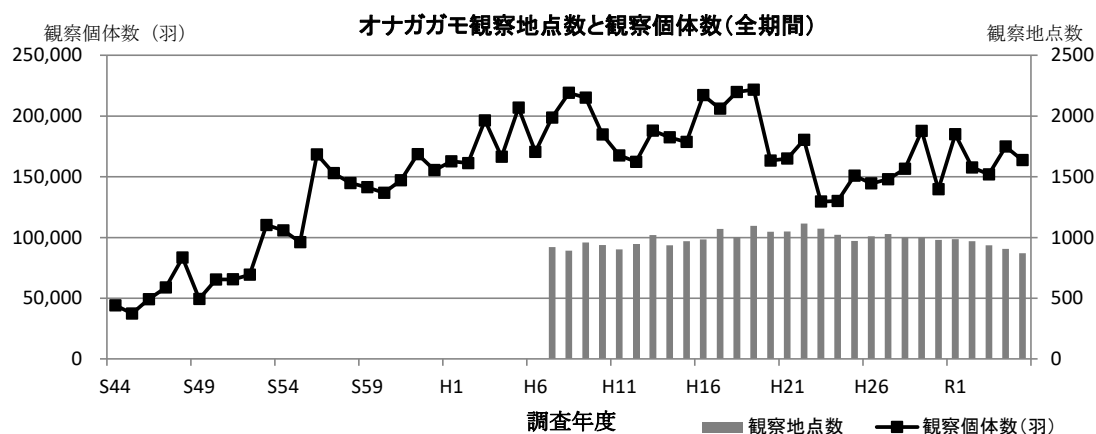


図 2-4-2 (9) オナガガモの観察状況の推移

(10) ハシビロガモ

観察地点数は、やや増加傾向にある。観察個体数は、平成4年度から減少傾向にあったが、最近20年間は概ね15,000～20,000羽で推移している。



図 2-4-2 (10) ハシビロガモの観察状況の推移

(11) ホシハジロ

観察地点数は増加傾向にあったが、平成26年度以降1,400～1,700地点で推移している。一方で、観察個体数は平成11年度に200,000羽程度となって以降減少傾向にあり、平成28年度以降概ね80,000～100,000羽で推移している。

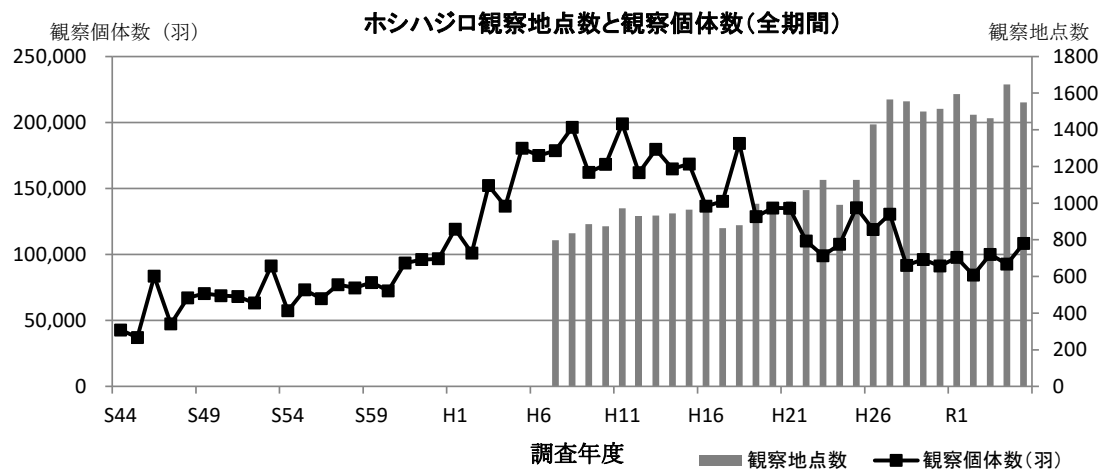


図 2-4-2 (11) ホシハジロの観察状況の推移

(12) キンクロハジロ

観察地点数は増加傾向にあったが、平成23年度以降は増減しつつも1,300～1,500地点で推移している。観察個体数は平成15年度から平成21年度まで100,000羽以上を推移していたが、平成22年度からは減少傾向にあり、令和3年度以降は約60,000羽を下回っている。

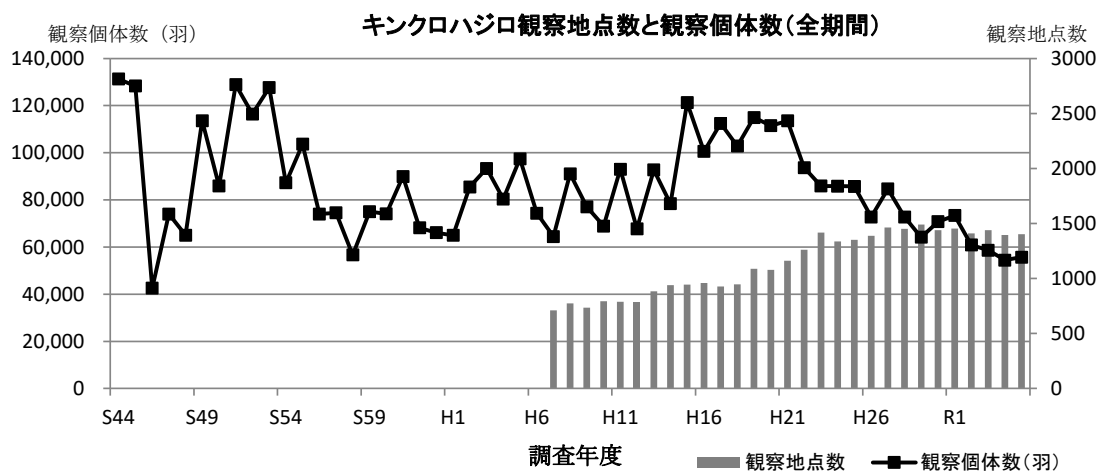


図 2-4-2 (12) キンクロハジロの観察状況の推移

(13) スズガモ

観察地点数は増加傾向であったが、平成28年度以降は増減しつつも減少傾向にある。観察个体数は昭和51年度に200,000羽を越えて以降、100,000～270,000羽程度の間で増減を繰り返していたが、平成17年度をピークに増減しつつも減少傾向となり、令和元年度以降は150,000羽を下回っている。

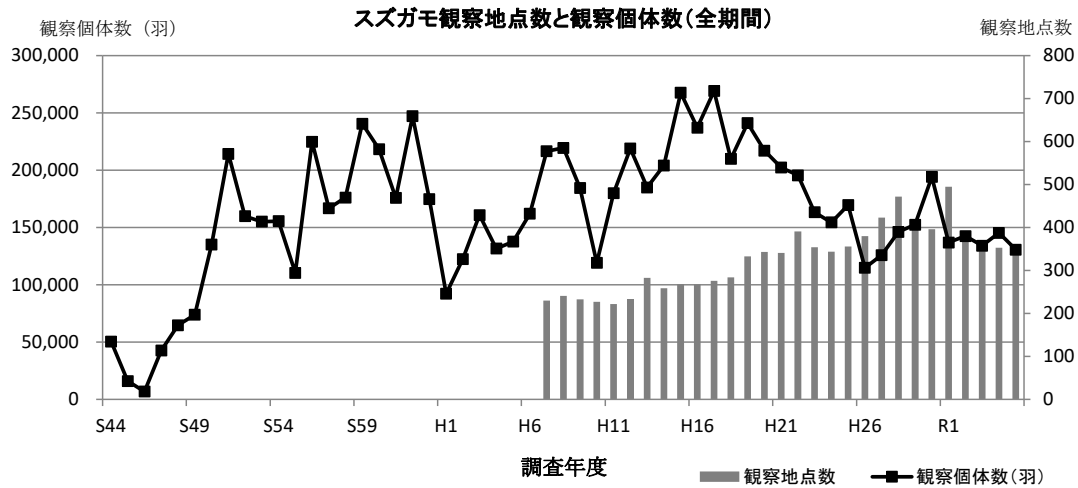


図 2-4-2 (13) スズガモの観察状況の推移

(14) クロガモ

観察地点数は平成19年度まで減少傾向にあり、以降は70～110地点程度の間で推移しているが、令和元年度は131地点と多かった。観察个体数は減少傾向にあり、平成13年度に15,000羽を観察して以降は10,000羽を下回り、さらに平成27年度以降は5,000羽を下回っている。

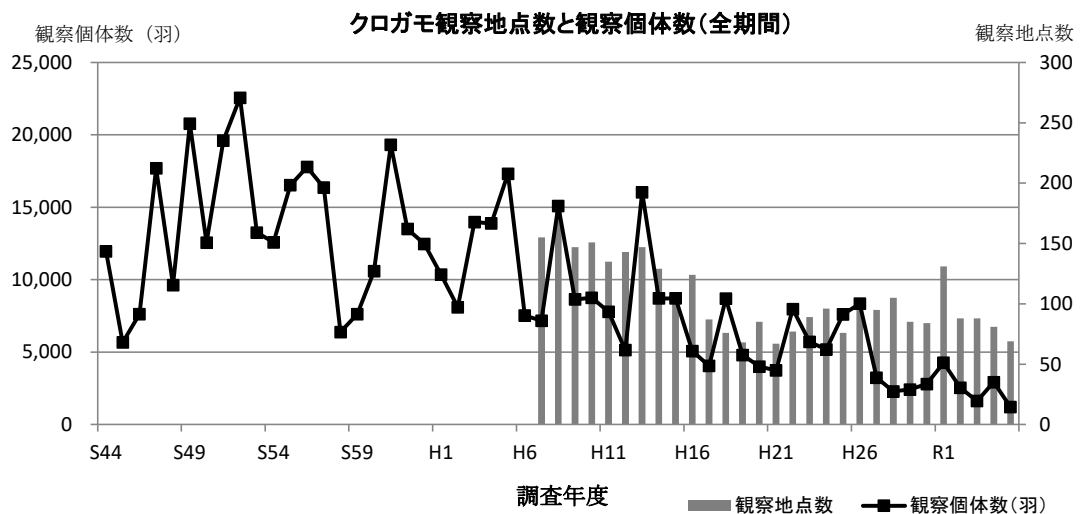
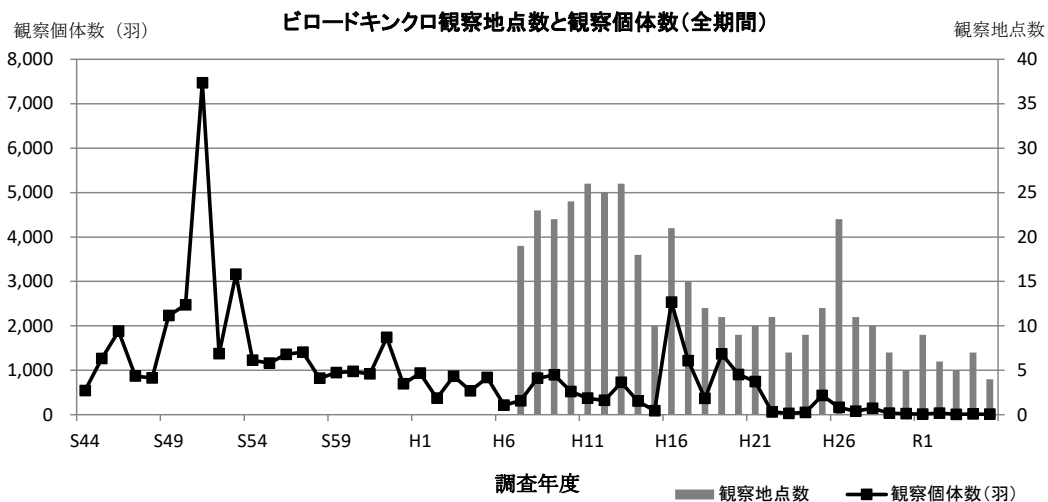


図 2-4-2 (14) クロガモの観察状況の推移

(15) ビロードキンクロ

観察地点数は全国的に少なく、平成28年度以降、10地点以下で推移している。観察個体数については、平成22年度以降10年間は100羽を下回っている年度が多かったが、平成29年度以降は50羽を下回り、令和5年度は11羽であった。



(17) コオリガモ

調査開始初期においては、観察個体数が12,000羽を超えた年度もあるが、継続的に減少傾向にあり、近年は50羽以下にまで減少している。観察地点数も減少傾向にあり、本種が主に観察される北海道沿岸の調査地点数が平成18年以降減少したことが観察個体数減少につながった可能性がある。令和元年度は、北海道及び青森県の観察地点が増加した。

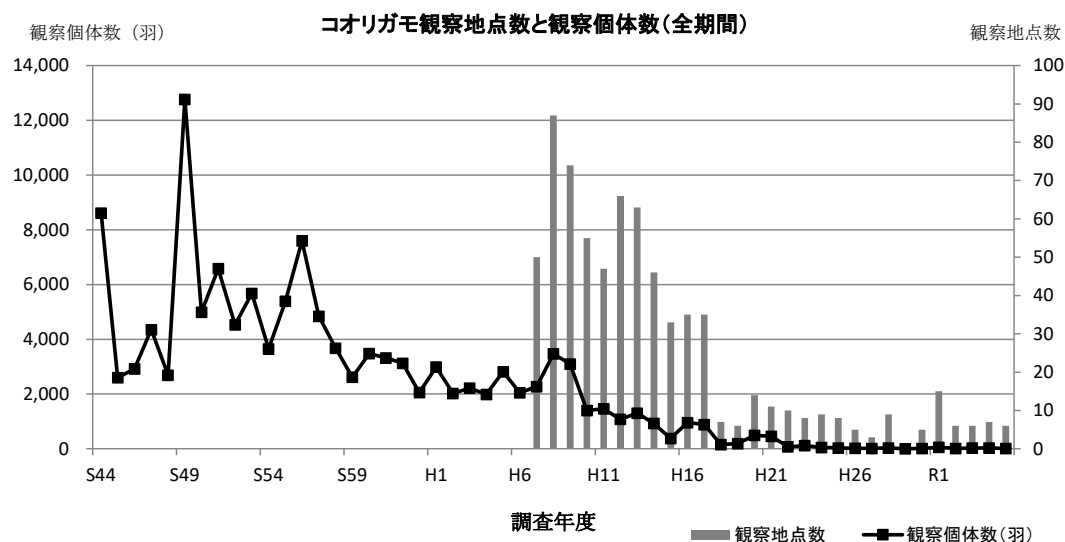


図2-4-2 (17) コオリガモの観察状況の推移

(18) ホオジロガモ

観察地点数は平成19年度からやや増加し、近年は200～250地点で推移している。観察個体数は年による増減があるものの、最近10年間は2,000～4,000羽で推移している。

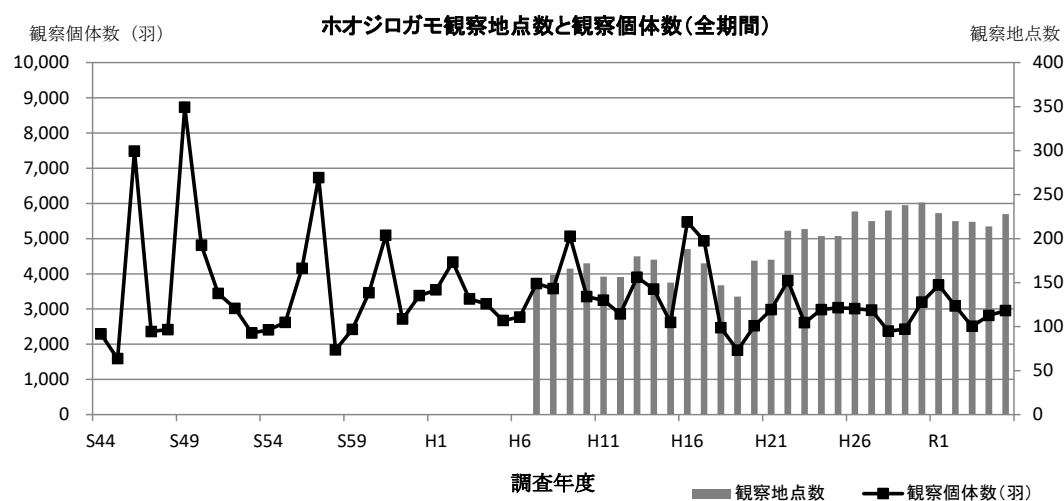


図 2-4-2 (18) ホオジロガモの観察状況の推移

(19) ミコアイサ

観察地点数は増加傾向にあり、平成30年度、令和元年度及び令和3年度以降で400地点を越えている。観察個体数は昭和46年度以降増加傾向であったが、平成20年度以降は3,000羽～6,000羽程度の間で増減しながら推移している。

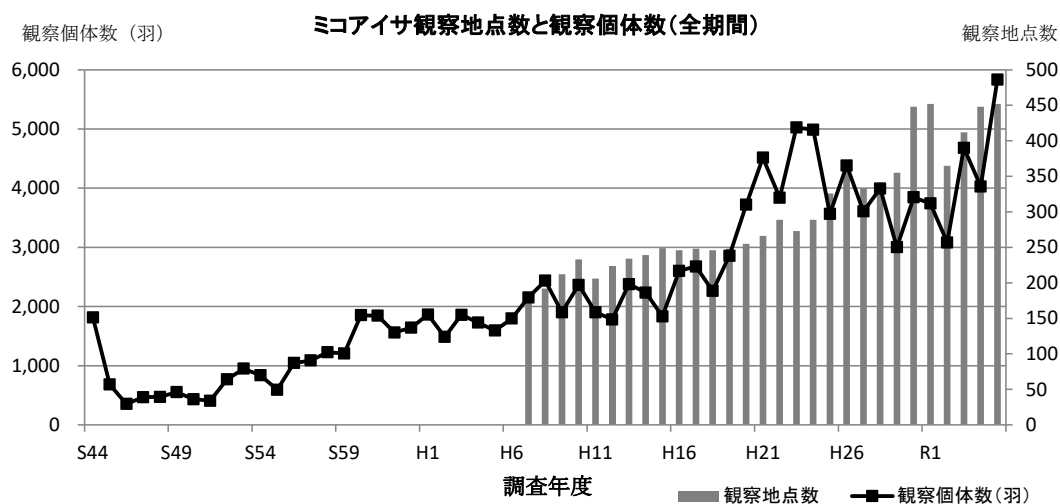


図 2-4-2 (19) ミコアイサの観察状況の推移

(20) ウミアイサ

観察地点数は平成15年度以降、概ね200～250地点で推移している。観察個体数は調査開始当初は大きく増減していたが、最近20年間は減少傾向にあり、平成15年度以降は3,000羽以下で推移している。

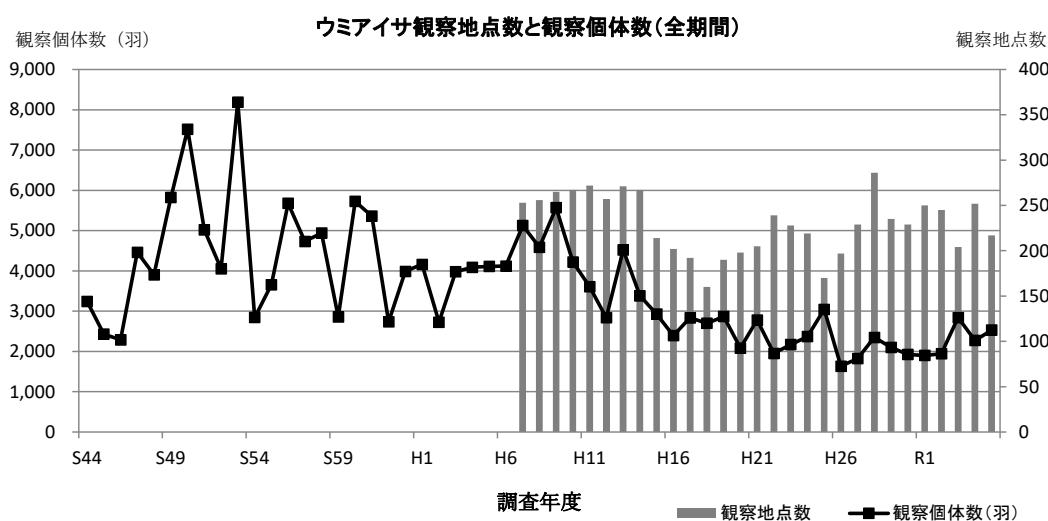


図 2-4-2 (20) ウミアイサの観察状況の推移

(21) カワアイサ

観察地点数は増加傾向であったが、平成21年度以降400～500地点で推移している。観察個体数も同様に増加傾向であったが、平成18年度以降5,000～7,000羽で推移していたものの、令和2年度、令和5年度は5,000羽を下回った。

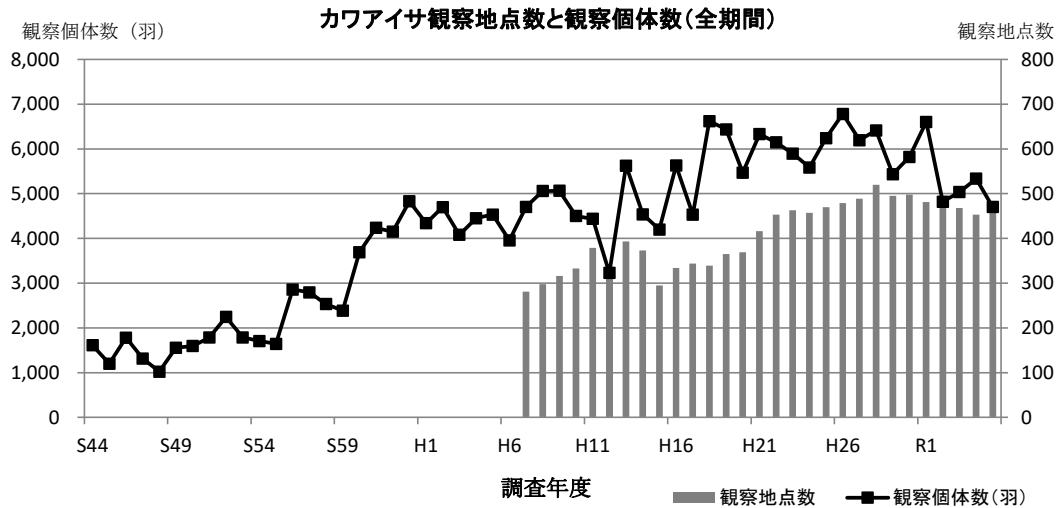


図 2-4-2 (21) カワアイサの観察状況の推移

(22) ツクシガモ

観察地点数は20～70地点程度で推移している。観察個体数は増減があるものの、平成21年度から増加傾向にあり、令和3年度に6,000羽、令和5年度に5,500羽をそれぞれ超えた。

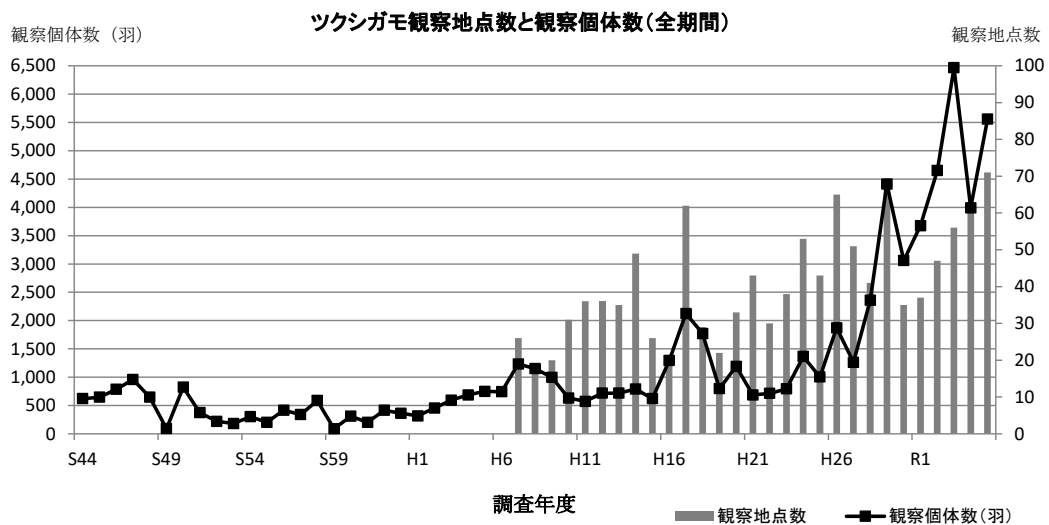


図 2-4-2 (22) ツクシガモの観察状況の推移

4.2 分布状況

令和5年度の都道府県別調査結果を表2-4-1(1)～(3)に示した。

表2-4-1(1) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察 地点数	観察個体数(羽)								
		淡水ガモ類								
		オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	トモエガモ	ヨシガモ	オカヨシガ モ	ヒドリガモ	オナガガ モ
北海道	125	0	901	325	66	6	42	58	541	370
青森県	149	13	1,162	1,996	407	3	0	9	154	458
岩手県	235	20	8,791	6,780	2,075	4	55	286	640	2,537
宮城県	321	0	12,922	5,197	2,642	3	277	20	1,641	12,259
秋田県	156	0	8,249	4,373	632	0	70	0	150	364
山形県	187	39	20,187	9,243	8,224	5	10	0	162	22,095
福島県	251	40	13,244	6,271	3,061	1	8	131	879	9,565
茨城県	43	228	54,056	9,490	7,579	37	3,051	3,975	12,089	37,853
栃木県	32	163	7,874	2,439	1,237	0	202	307	1,592	1,751
群馬県	76	102	2,377	1,949	2,583	4	183	134	1,831	1,640
埼玉県	152	73	5,768	6,287	5,136	9	260	376	3,021	1,228
千葉県	255	269	29,691	19,601	9,294	30,001	49	143	3,783	18,752
東京都	57	4	774	1,006	1,023	1	85	594	1,550	200
神奈川県	167	1,265	1,193	1,492	1,133	3	101	178	1,161	176
新潟県	21	0	34,399	2,459	15,242	1,515	355	21	2,421	11,772
富山県	17	0	5,289	1,923	3,938	12	185	138	1,927	1,332
石川県	5	0	9,842	1,614	2,874	6,708	221	4	2,290	2,847
福井県	16	100	15,363	3,244	3,133	141	500	34	992	165
山梨県	58	202	1,091	348	826	0	29	8	125	28
長野県	184	167	3,235	3,001	1,733	16	40	174	1,034	1,647
岐阜県	115	479	4,561	4,518	4,993	51	485	975	5,015	189
静岡県	128	394	5,264	3,552	3,310	79	385	648	3,845	3,263
愛知県	127	219	4,380	2,483	2,875	4	29	849	2,889	4,234
三重県	260	766	9,069	6,078	3,301	206	315	1,438	8,359	2,163
滋賀県	175	699	14,039	9,325	8,434	1,179	6,511	9,708	19,368	2,209
京都府	137	904	6,293	3,733	3,584	127	347	667	2,127	1,014
大阪府	370	636	2,332	2,592	2,676	111	325	1,433	5,909	258
兵庫県	212	929	3,286	3,799	3,126	120	151	1,907	5,380	1,924
奈良県	108	2,361	3,524	3,051	3,992	64	249	94	1,070	24
和歌山県	133	1,231	3,581	2,396	686	71	191	461	2,668	22
鳥取県	10	866	4,700	2,675	553	31	26	127	1,179	390
島根県	165	931	20,936	5,503	919	58,512	63	283	1,558	1,672
岡山県	15	193	3,521	1,781	835	988	198	95	1,820	2,150
広島県	266	988	4,992	4,456	2,019	426	366	979	5,038	661
山口県	189	611	7,585	4,115	1,867	6	94	100	2,140	678
徳島県	69	367	7,485	5,360	1,471	2	211	1,133	5,187	312
香川県	157	499	4,192	2,200	1,407	46	263	351	3,592	819
愛媛県	123	850	13,503	5,085	1,770	2,463	106	431	3,617	3,891
高知県	60	795	12,388	8,447	998	2,015	378	62	6,983	1,178
福岡県	205	342	5,685	3,919	882	267	46	172	2,427	1,980
佐賀県	99	79	4,839	3,967	1,760	8	460	110	9,068	3,705
長崎県	41	1,194	4,361	2,697	233	10,427	225	144	3,026	315
熊本県	147	399	7,885	4,330	1,232	32	47	47	5,712	1,790
大分県	258	1,641	6,024	3,393	1,516	5	363	184	1,972	601
宮崎県	70	640	3,522	2,686	356	0	2	8	3,583	1,020
鹿児島県	193	176	6,811	9,129	1,485	0	312	14	1,017	120
沖縄県	63	0	18	151	148	0	40	13	136	30
観察 都道府県数		40	47	47	47	41	46	45	47	47
合計	6,402	21,874	411,184	200,459	129,266	115,709	17,911	29,023	152,668	163,651

表 2-4-1 (2) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察個体数(羽)									
	淡水ガモ類			海ガモ類						
	ハシビロ ガモ	その他	合計	ホシハジ ロ	キンクロ ハジロ	スズガモ	クロガモ	ビロードキン クロ	シノリガモ	コオリガモ
北海道	5	1	2,315	8	115	731	293	9	323	7
青森県	50	0	4,252	80	442	1,347	85	0	57	0
岩手県	0	15	21,203	734	382	525	79	0	105	5
宮城県	771	1	35,733	540	431	1,149	236	0	2	0
秋田県	5	0	13,843	24	48	89	0	0	15	0
山形県	31	0	59,996	373	236	35	0	0	0	0
福島県	204	0	33,404	863	836	169	92	0	22	0
茨城県	322	4	128,684	3,219	1,068	10,883	4	0	84	0
栃木県	113	0	15,678	232	371	0	0	0	0	0
群馬県	338	3	11,144	731	831	1	0	0	0	0
埼玉県	367	2	22,527	2,441	1,445	0	0	0	0	0
千葉県	773	1	112,357	3,353	1,672	19,893	8	2	0	0
東京都	144	2	5,383	861	1,053	1,895	0	0	0	0
神奈川県	68	0	6,770	1,423	468	406	0	0	0	0
新潟県	49	0	68,233	1,070	671	40	0	0	1	0
富山県	344	2	15,090	339	335	0	0	0	0	0
石川県	93	1	26,494	113	41	0	0	0	2	0
福井県	107	0	23,779	394	520	87	0	0	0	0
山梨県	39	0	2,696	201	313	17	39	0	0	0
長野県	19	0	11,066	792	810	18	0	0	0	0
岐阜県	170	0	21,436	540	1,762	2	0	0	0	0
静岡県	179	2	20,921	1,832	793	4,160	0	0	1	0
愛知県	641	1	18,604	8,853	2,197	7,081	1	0	0	0
三重県	1,183	4	32,882	3,549	1,649	20,881	0	0	0	0
滋賀県	682	5	72,159	17,067	14,894	3,134	0	0	0	0
京都府	320	0	19,116	1,706	1,193	360	0	0	16	0
大阪府	2,476	5	18,753	11,772	3,302	1,820	0	0	0	0
兵庫県	2,380	28	23,030	10,080	1,443	2,137	1	0	0	0
奈良県	1,294	0	15,723	385	355	0	0	0	0	0
和歌山県	168	1	11,476	540	207	2	0	0	0	0
鳥取県	27	1	10,575	441	2,392	5,469	0	0	0	0
島根県	832	0	91,209	1,481	7,807	22,854	34	0	8	0
岡山県	310	1	11,892	6,144	1,200	739	0	0	0	0
広島県	1,755	0	21,680	8,139	655	7,152	0	0	0	0
山口県	47	0	17,243	625	524	76	0	0	0	0
徳島県	257	0	21,785	3,610	592	824	0	0	0	0
香川県	3,070	0	16,439	2,705	664	6	0	0	7	0
愛媛県	628	3	32,347	840	193	20	0	0	0	0
高知県	62	0	33,306	193	18	8	7	0	0	0
福岡県	322	210	16,252	2,850	278	2,047	0	0	0	0
佐賀県	180	2	24,178	711	548	207	152	0	0	0
長崎県	36	1	22,659	2,295	195	14,286	0	0	0	0
熊本県	48	0	21,522	3,702	10	0	17	0	0	0
大分県	25	0	15,724	229	60	130	154	0	0	0
宮崎県	50	0	11,867	40	47	0	0	0	0	0
鹿児島県	44	0	19,108	188	125	0	1	0	0	0
沖縄県	272	0	808	15	490	0	0	0	0	0
観察 都道府県数	46	23	47	47	47	38	16	2	13	2
合計	21,300	296	1,263,341	108,323	55,681	130,680	1,203	11	643	12

※ 淡水ガモ類のその他はアメリカヒドリ、シマアジの合計である。

表 2-4-1 (3) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察個体数(羽)											合計
	海ガモ類						種不明・雑種	ツクシガモ類			リュウキュウガモ	
ホオジロガモ	ミコアイサ	ウミアイサ	カワアイサ	その他	合計	ツクシガモ		アカツクシガモ	合計			
北海道	999	3	772	633	1	3,894	536	0	0	0	0	6,745
青森県	22	30	190	33	0	2,286	907	0	0	0	0	7,445
岩手県	203	45	72	254	0	2,404	39	0	0	0	0	23,646
宮城県	127	308	77	231	0	3,101	1,862	0	0	0	0	40,696
秋田県	42	5	21	65	0	309	752	0	0	0	0	14,904
山形県	15	23	10	74	0	766	425	0	0	0	0	61,187
福島県	180	63	32	203	0	2,460	939	0	0	0	0	36,803
茨城県	115	65	24	0	0	15,462	1,082	1	0	1	0	145,229
栃木県	6	62	0	48	0	719	1	0	0	0	0	16,398
群馬県	0	12	0	16	0	1,591	10	4	0	4	0	12,749
埼玉県	31	52	0	6	0	3,975	0	3	0	3	0	26,505
千葉県	51	20	28	27	1	25,055	4,174	0	0	0	0	141,586
東京都	5	0	0	0	0	3,814	19	0	0	0	0	9,216
神奈川県	13	0	0	11	1	2,322	169	0	0	0	0	9,261
新潟県	46	104	45	29	2	2,008	261	0	2	2	0	70,504
富山県	0	2	0	4	0	680	15	0	0	0	0	15,785
石川県	6	14	0	14	0	190	1	0	0	0	0	26,685
福井県	56	30	0	44	0	1,131	1	0	0	0	0	24,911
山梨県	0	18	0	185	0	773	98	0	0	0	0	3,567
長野県	25	91	0	325	0	2,061	273	0	0	0	0	13,400
岐阜県	25	135	0	469	1	2,934	7	0	0	0	0	24,377
静岡県	154	7	6	146	0	7,099	0	17	0	17	0	28,037
愛知県	2	109	44	22	0	18,309	2,660	35	0	35	0	39,608
三重県	25	62	71	54	1	26,292	394	21	0	21	0	59,589
滋賀県	276	2,584	101	377	8	38,441	3,250	1	0	1	0	113,851
京都府	22	19	13	149	0	3,478	145	0	0	0	0	22,739
大阪府	17	348	71	55	1	17,386	17	11	0	11	0	36,167
兵庫県	3	553	227	292	2	14,738	4	1	0	1	0	37,773
奈良県	0	240	0	1	1	982	0	2	0	2	0	16,707
和歌山県	1	7	0	107	0	864	111	0	0	0	0	12,451
鳥取県	145	22	10	85	0	8,564	212	19	0	19	0	19,370
島根県	249	7	35	167	0	32,642	404	5	3	8	0	124,263
岡山県	5	62	160	0	0	8,310	921	155	0	155	0	21,278
広島県	8	68	179	497	2	16,700	3	10	0	10	0	38,393
山口県	0	0	33	51	0	1,309	1,159	1	0	1	0	19,712
徳島県	0	2	33	11	0	5,072	91	42	0	42	0	26,990
香川県	1	542	159	0	2	4,086	0	11	0	11	0	20,536
愛媛県	4	5	35	0	2	1,099	3	12	0	12	0	33,461
高知県	0	0	0	0	0	226	906	4	0	4	0	34,442
福岡県	23	67	27	3	0	5,295	3,158	1,200	0	1,200	0	25,905
佐賀県	0	0	0	0	0	1,618	4,372	3,894	0	3,894	0	34,062
長崎県	53	48	21	3	0	16,901	0	21	0	21	0	39,581
熊本県	0	0	0	0	0	3,729	6,377	8	0	8	0	31,636
大分県	0	0	36	12	0	621	1,981	63	0	63	0	18,389
宮崎県	0	0	0	0	0	87	548	20	0	20	0	12,522
鹿児島県	0	0	0	0	0	314	1,399	0	1	1	0	20,822
沖縄県	0	0	0	0	1	506	3	0	0	0	0	1,317
観察都道府県数	34	37	28	36	14	47	42	25	3	27	0	47
合計	2,955	5,834	2,532	4,703	26	312,603	39,689	5,561	6	5,567	0	1,621,200

※ 海ガモ類のその他はアカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサの合計である（今年度はケワタガモ、コケワタガモ、コウライアイサは観察されなかった）。

4.3 法指定区域別の観察状況

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（以下、鳥獣保護管理法）によって鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別の観察状況を、表2-4-2～表2-4-5及び図2-4-3(1)～(5)に示した。

カモ類の観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は、全体の20.7%にあたる1,325地点であり、これらの地点ではカモ類の全観察個体数の50.9%にあたる824,935羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、3,849地点（60.1%）で、1,353,973羽（83.5%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区及びその他の区域に該当する地点については、2,553地点（39.9%）で267,227羽（16.5%）が観察された。

カモ類は、ハクチョウ類及びガン類と比較して、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点での観察割合が高かった。

表 2-4-2 法指定区域別のカモ類の観察状況

区域区分 項目		鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)		項目内 割合 (%)				
調査地点数(箇所)		1,694	19.5	54	0.6	152	1.8	2,821	32.5	47	0.5	190	2.2	3,726	42.9	8,684	100.0	
調査地点面積(ha)		181,915	50.7	725	0.2	3,130	0.9	64,685	18.0	1,841	0.5	6,834	1.9	99,504	27.7	358,634	100.0	
観察地点数(箇所)	狩猟対象	マガモ	894	23.9	20	0.5	80	2.1	1,351	36.2	30	0.8	60	1.6	1,298	34.8	3,733	100.0
		カルガモ	844	22.4	12	0.3	93	2.5	1,495	39.7	21	0.6	74	2.0	1,223	32.5	3,762	100.0
		コガモ	542	21.4	6	0.2	39	1.5	1,084	42.7	13	0.5	35	1.4	819	32.3	2,538	100.0
		ヨシガモ	152	31.0	1	0.2	13	2.6	189	38.5	2	0.4	3	0.6	131	26.7	491	100.0
		ヒドリガモ	486	27.4	9	0.5	50	2.8	695	39.2	12	0.7	21	1.2	498	28.1	1,771	100.0
		オナガガモ	292	33.5	4	0.5	21	2.4	326	37.4	12	1.4	8	0.9	208	23.9	871	100.0
		ハシビロガモ	227	25.6	2	0.2	32	3.6	408	46.0	3	0.3	2	0.2	212	23.9	886	100.0
		ホシハジロ	412	26.6	5	0.3	44	2.8	640	41.3	5	0.3	13	0.8	431	27.8	1,550	100.0
		キンクロハジロ	379	27.0	0	—	40	2.9	573	40.8	9	0.6	14	1.0	388	27.7	1,403	100.0
		スズガモ	124	34.4	2	0.6	8	2.2	100	27.8	3	0.8	2	0.6	121	33.6	360	100.0
		クロガモ	12	17.4	1	1.4	1	1.4	13	18.8	0	—	0	—	42	60.9	69	100.0
		狩猟対象種合計	1,278	21.0	30	0.5	132	2.2	2,242	36.9	42	0.7	110	1.8	2,250	37.0	6,084	100.0
	狩猟対象外	オシドリ	145	25.3	2	0.3	9	1.6	150	26.1	1	0.2	7	1.2	260	45.3	574	100.0
		トモエガモ	69	38.8	1	0.6	5	2.8	58	32.6	0	—	1	0.6	44	24.7	178	100.0
		オカヨシガモ	243	30.5	3	0.4	17	2.1	350	43.9	1	0.1	4	0.5	180	22.6	798	100.0
		ビロードキンクロ	0	—	0	—	0	—	3	75.0	0	—	0	—	1	25.0	4	100.0
		シノリガモ	11	15.3	0	—	0	—	20	27.8	0	—	0	—	41	56.9	72	100.0
		コオリガモ	2	33.3	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	66.7	6	100.0
		ホオジロガモ	110	48.2	2	0.9	4	1.8	67	29.4	1	0.4	2	0.9	42	18.4	228	100.0
		ミコアイサ	134	29.6	0	—	17	3.8	225	49.8	3	0.7	2	0.4	71	15.7	452	100.0
		ウミアイサ	76	35.0	1	0.5	1	0.5	53	24.4	0	—	4	1.8	82	37.8	217	100.0
		カワアイサ	134	28.8	1	0.2	2	0.4	166	35.6	2	0.4	10	2.1	151	32.4	466	100.0
		その他	38	28.8	0	—	3	2.3	44	33.3	0	—	0	—	47	35.6	132	100.0
		狩猟対象外合計	581	26.0	8	0.4	43	1.9	833	37.3	8	0.4	26	1.2	733	32.8	2,232	100.0
	種不明	121	23.1	5	1.0	13	2.5	153	29.2	4	0.8	8	1.5	220	42.0	524	100.0	
	総計		1,325	20.7	32	0.5	132	2.1	2,315	36.2	45	0.7	114	1.8	2,439	38.1	6,402	100.0
観察個体数(羽)	狩猟対象	マガモ	214,093	52.1	480	0.1	3,182	0.8	127,949	31.1	2,399	0.6	5,005	1.2	58,076	14.1	411,184	100.0
		カルガモ	74,148	37.0	632	0.3	3,206	1.6	78,580	39.2	1,046	0.5	2,387	1.2	40,460	20.2	200,459	100.0
		コガモ	44,791	34.7	256	0.2	1,000	0.8	59,252	45.8	422	0.3	1,719	1.3	21,826	16.9	129,266	100.0
		ヨシガモ	11,390	63.6	20	0.1	152	0.8	4,027	22.5	6	0.0	10	0.1	2,306	12.9	17,911	100.0
		ヒドリガモ	63,230	41.4	570	0.4	1,993	1.3	55,154	36.1	195	0.1	1,028	0.7	30,498	20.0	152,668	100.0
		オナガガモ	99,517	60.8	130	0.1	3,304	2.0	37,347	22.8	3,842	2.3	840	0.5	18,671	11.4	163,651	100.0
		ハシビロガモ	5,368	25.2	7	0.0	938	4.4	10,538	49.5	31	0.1	11	0.1	4,407	20.7	21,300	100.0
		ホシハジロ	50,660	46.8	1,621	1.5	914	0.8	32,267	29.8	118	0.1	185	0.2	22,558	20.8	108,323	100.0
		キンクロハジロ	35,370	63.5	0	—	548	1.0	11,663	20.9	359	0.6	57	0.1	7,684	13.8	55,681	100.0
		スズガモ	69,168	52.9	3,151	2.4	124	0.1	44,730	34.2	233	0.2	15	0.0	13,259	10.1	130,680	100.0
		クロガモ	430	35.7	13	1.1	3	0.2	120	10.0	0	—	0	—	637	53.0	1,203	100.0
		狩猟対象種計	668,165	48.0	6,880	0.5	15,364	1.1	461,627	33.2	8,651	0.6	11,257	0.8	220,382	15.8	1,392,326	100.0
	狩猟対象外	オシドリ	6,835	31.2	50	0.2	100	0.5	7,778	35.6	13	0.1	139	0.6	6,959	31.8	21,874	100.0
		トモエガモ	111,074	96.0	6	0.0	23	0.0	3,733	3.2	0	—	132	0.1	741	0.6	115,709	100.0
		オカヨシガモ	16,539	57.0	143	0.5	298	1.0	8,812	30.4	22	0.1	301	1.0	2,908	10.0	29,023	100.0
		ビロードキンクロ	0	—	0	—	0	—	10	90.9	0	—	0	—	1	9.1	11	100.0
		シノリガモ	53	8.2	0	—	0	—	146	22.7	0	—	0	—	444	69.1	643	100.0
		コオリガモ	3	25.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	9	75.0	12	100.0
		ホオジロガモ	1,847	62.5	5	0.2	8	0.3	775	26.2	1	0.0	3	0.1	316	10.7	2,955	100.0
		ミコアイサ	3,534	60.6	0	—	94	1.6	1,765	30.3	30	0.5	6	0.1	405	6.9	5,834	100.0
		ウミアイサ	1,056	41.7	4	0.2	1	0.0	356	14.1	0	—	10	0.4	1,105	43.6	2,532	100.0
		カワアイサ	1,961	41.7	3	0.1	6	0.1	1,511	32.1	37	0.8	49	1.0	1,136	24.2	4,703	100.0
		その他	601	10.2	0	—	3	0.1	1,546	26.3	0	—	0	—	3,739	63.5	5,889	100.0
		狩猟対象外計	143,503	75.9	211	0.1	533	0.3	26,432	14.0	103	0.1	640	0.3	17,763	9.4	189,185	100.0
	種不明	13,267	33.4	44	0.1	127	0.3	8,238	20.8	828	2.1	389	1.0	16,796	42.3	39,689	100.0	
	総計		824,935	50.9	7,135	0.4	16,024	1.0	496,297	30.6	9,582	0.6	12,286	0.8	254,941	15.7	1,621,200	100.0

【備考】 項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-3 法指定区域別のカモ類観察状況（個体数の下限有）

区域区分		観察 個体数 下限値 （羽） *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
項目	項目内 割合（%）		項目内 割合（%）		項目内 割合（%）		項目内 割合（%）		項目内 割合（%）		項目内 割合（%）		項目内 割合（%）		項目内 割合（%）				
調査地点数（箇所）			1,694	19.5	54	0.6	152	1.8	2,821	32.5	47	0.5	190	2.2	3,726	42.9	8,684	100.0	
調査地点面積（ha）			181,915	50.7	725	0.2	3,130	0.9	64,685	18.0	1,841	0.5	6,834	1.9	99,504	27.7	358,634	100.0	
観察地点数（箇所）	狩猟対象	マガモ	100	249	38.2	1	0.2	8	1.2	255	39.1	7	1.1	9	1.4	123	18.9	652	100.0
		カルガモ	100	151	31.6	2	0.4	6	1.3	220	46.0	4	0.8	9	1.9	86	18.0	478	100.0
		コガモ	100	87	30.7	1	0.4	2	0.7	140	49.5	1	0.4	2	0.7	50	17.7	283	100.0
		ヨシガモ	100	20	60.6	0	—	0	—	9	27.3	0	—	0	—	4	12.1	33	100.0
		ヒドリガモ	100	115	35.4	3	0.9	8	2.5	131	40.3	0	—	3	0.9	65	20.0	325	100.0
		オナガガモ	100	86	43.9	0	—	6	3.1	67	34.2	6	3.1	2	1.0	29	14.8	196	100.0
		ハシビロガモ	100	11	23.9	0	—	3	6.5	22	47.8	0	—	0	—	10	21.7	46	100.0
		ホシハジロ	100	76	43.7	1	0.6	2	1.1	57	32.8	0	—	0	—	38	21.8	174	100.0
		キンクロハジロ	100	61	58.7	0	—	0	—	27	26.0	1	1.0	0	—	15	14.4	104	100.0
		スズガモ	100	36	42.9	1	1.2	0	—	24	28.6	1	1.2	0	—	22	26.2	84	100.0
		クロガモ	100	2	66.7	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	33.3	3	100.0
	狩猟対象外	オシドリ	100	20	40.8	0	—	0	—	14	28.6	0	—	0	—	15	30.6	49	100.0
		トモエガモ	10	38	44.7	0	—	1	1.2	30	35.3	0	—	1	1.2	15	17.6	85	100.0
		オカヨシガモ	100	19	46.3	1	2.4	0	—	18	43.9	0	—	1	2.4	2	4.9	41	100.0
		ビロードキンクロ	1	0	—	0	—	0	—	3	75.0	0	—	0	—	1	25.0	4	100.0
		シノリガモ	20	0	—	0	—	0	—	1	14.3	0	—	0	—	6	85.7	7	100.0
		コオリガモ	1	2	33.3	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	66.7	6	100.0
		ホオジロガモ	1	110	48.2	2	0.9	4	1.8	67	29.4	1	0.4	2	0.9	42	18.4	228	100.0
		ミコアイサ	10	34	32.1	0	—	3	2.8	54	50.9	1	0.9	0	—	14	13.2	106	100.0
		ウミアイサ	1	76	35.0	1	0.5	1	0.5	53	24.4	0	—	4	1.8	82	37.8	217	100.0
		カワアイサ	10	46	33.8	0	—	0	—	52	38.2	1	0.7	2	1.5	35	25.7	136	100.0
カモ類合計		1	1,325	20.7	32	0.5	132	2.1	2,315	36.2	45	0.7	114	1.8	2,439	38.1	6,402	100.0	

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。

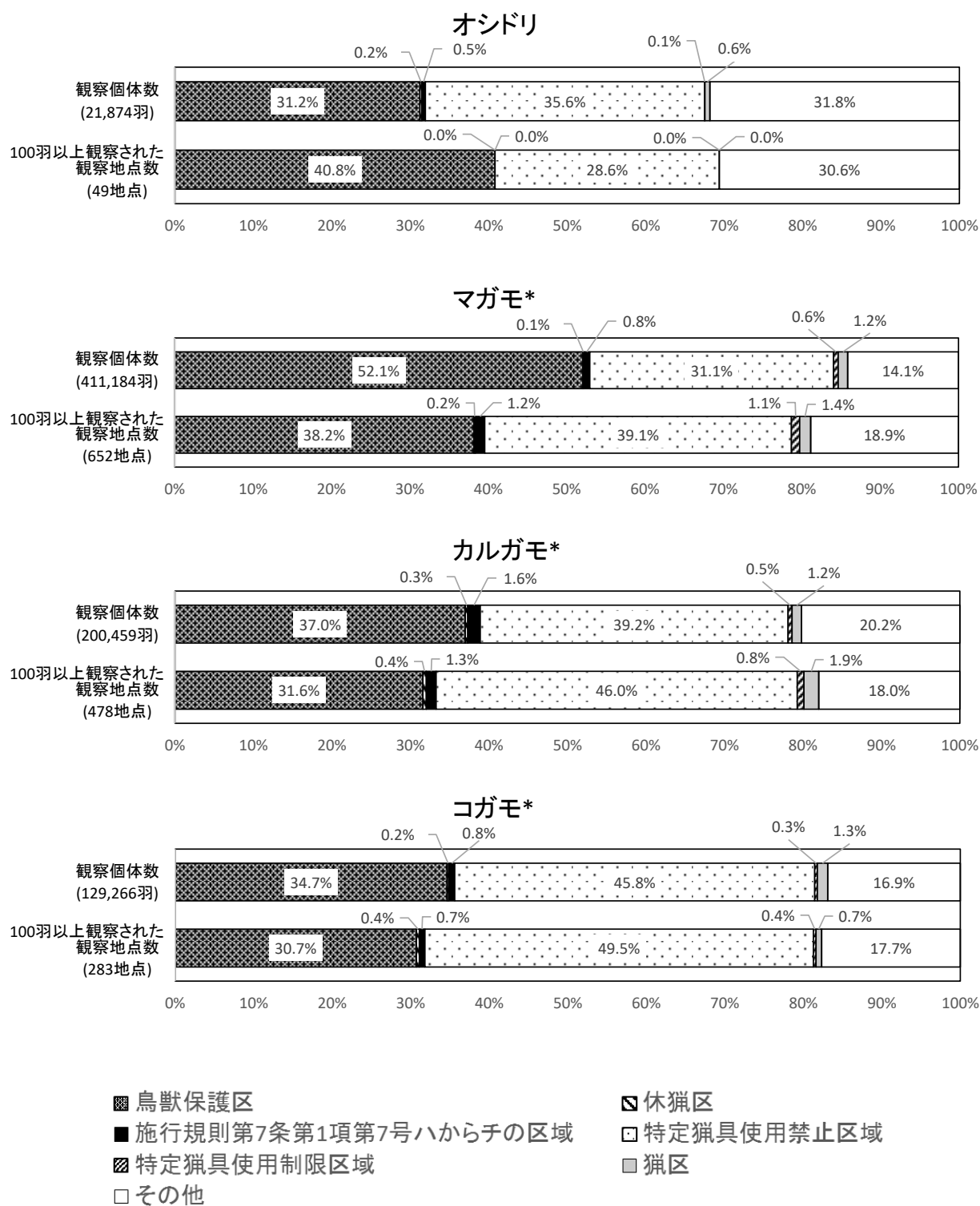
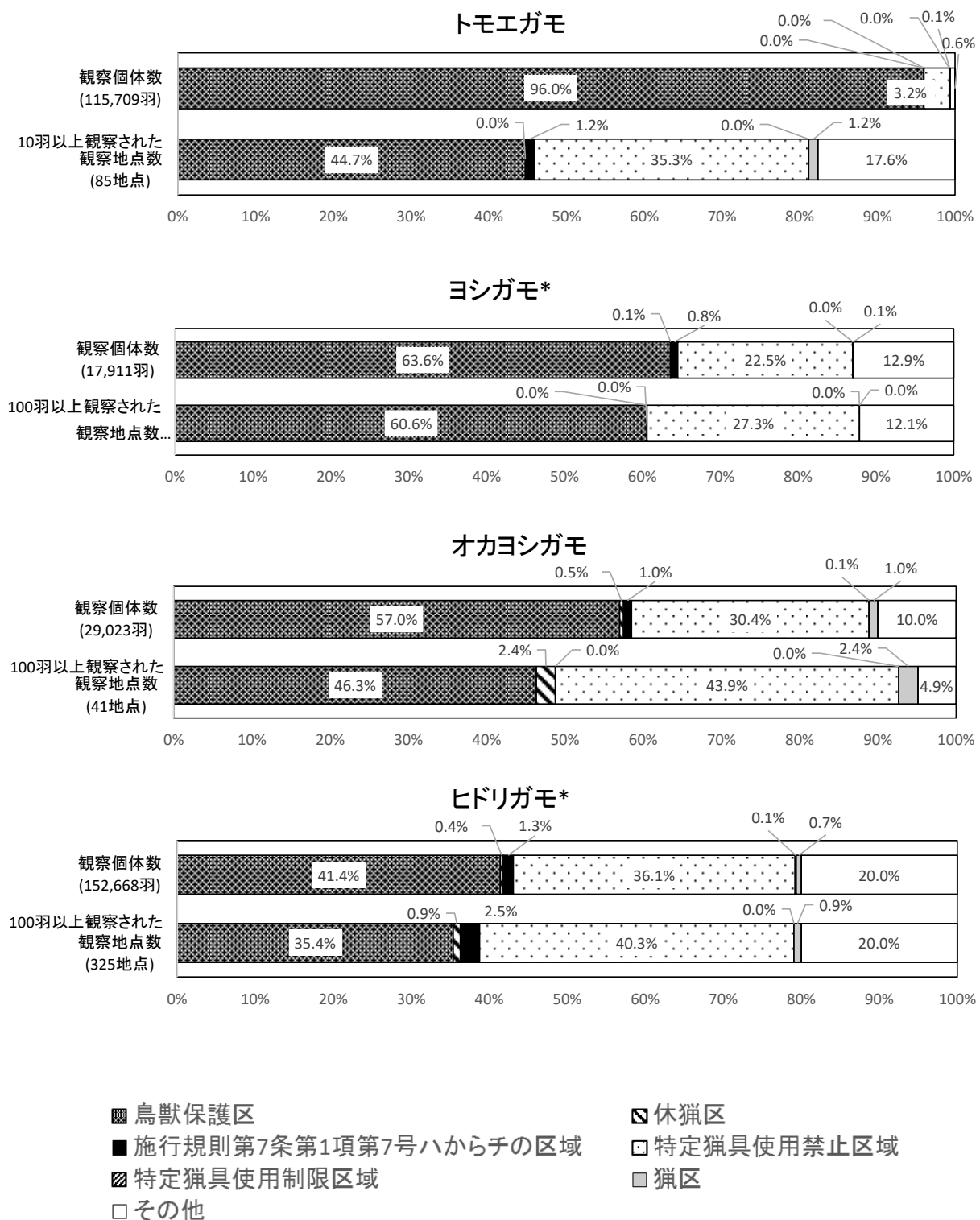
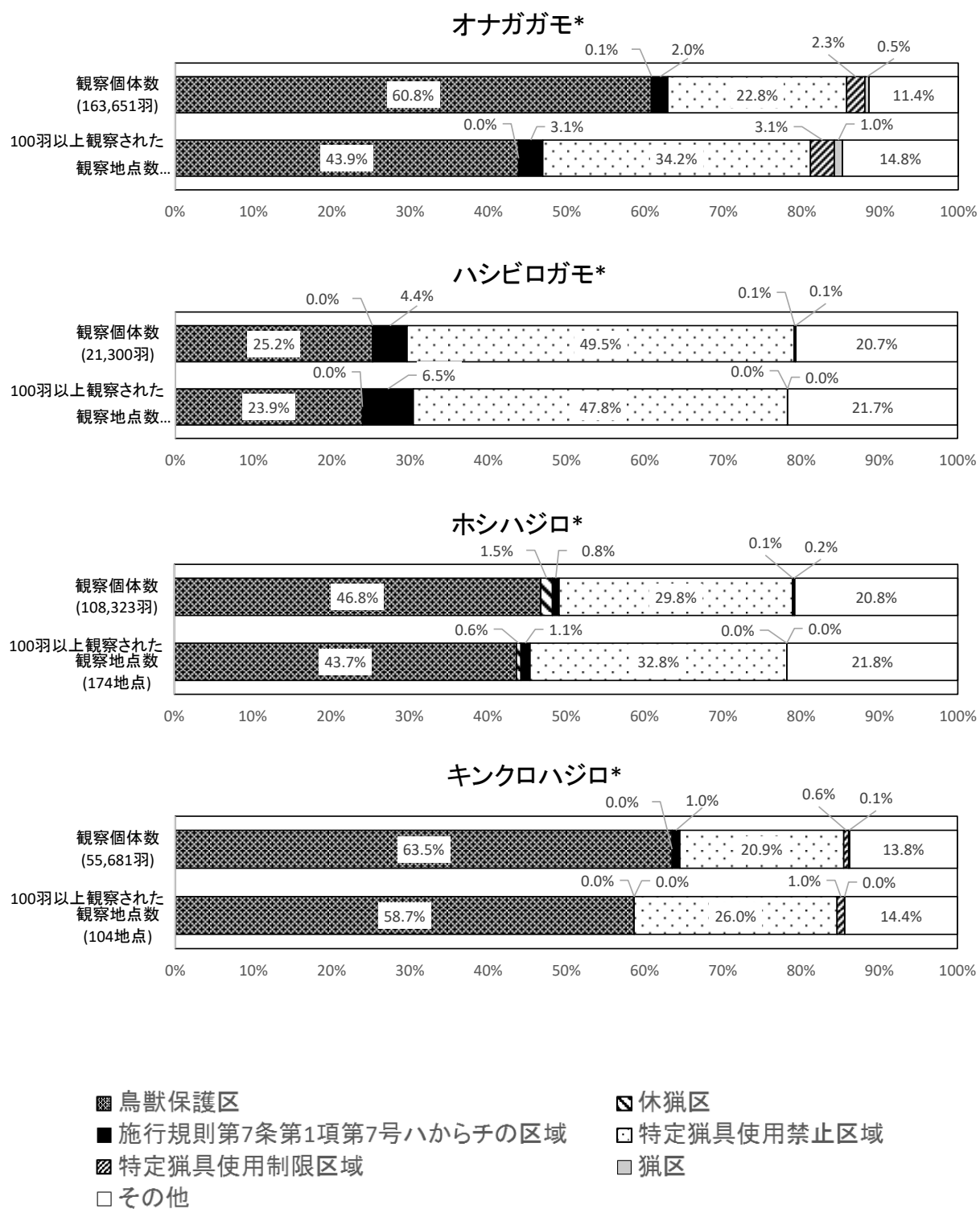


図 2-4-3(1) 法指定区域別のカモ類の観察状況



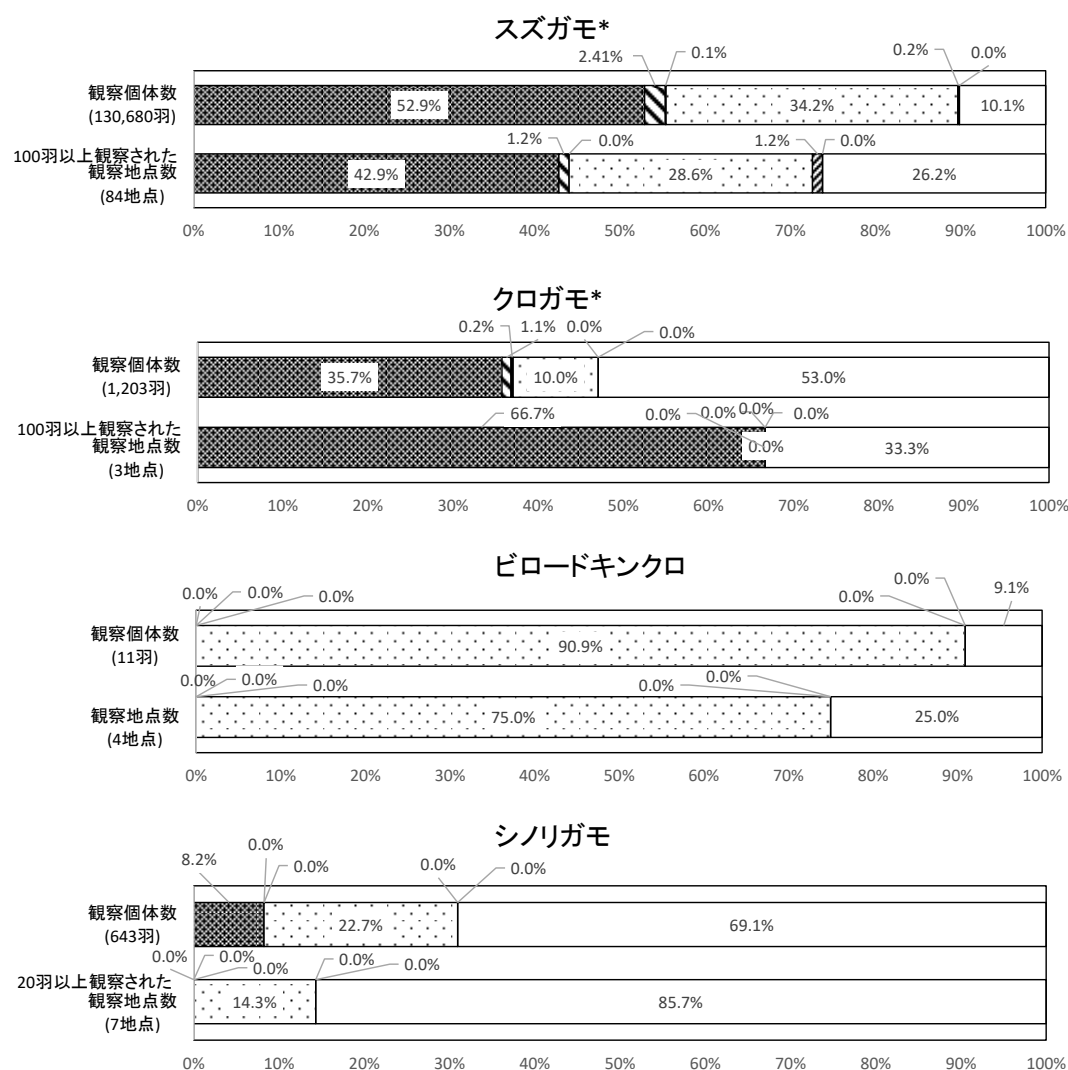
*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(2) 法指定区域別のカモ類の観察状況



*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(3) 法指定区域別のカモ類の観測状況



■ 鳥獣保護区	■ 休猟区
■ 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域	■ 特定猟具使用禁止区域
■ 特定猟具使用制限区域	■ 猟区
□ その他	

*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(4) 法指定区域別のカモ類の観察状況

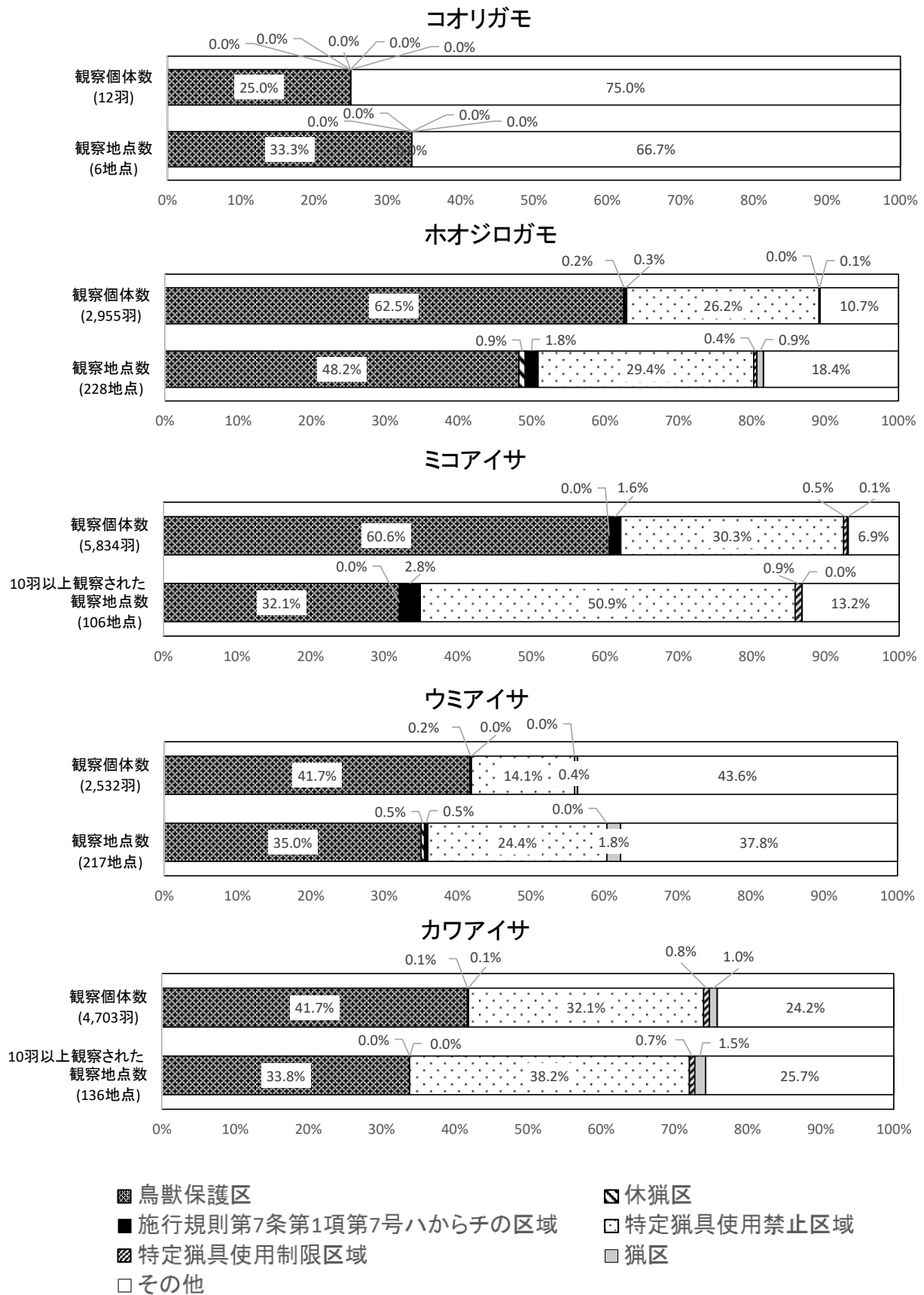


図 2-4-3(5) 法指定区域別のカモ類の観察状況

表 2-4-4 法指定区域別のカモ類の観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数
北海道	21	16.8	0	—	4	3.2	26	20.8	0	—	0	—	74	59.2	125
青森県	35	23.5	0	—	5	3.4	23	15.4	0	—	3	2.0	83	55.7	149
岩手県	27	11.5	0	—	0	—	90	38.3	5	2.1	0	—	113	48.1	235
宮城県	94	29.3	4	1.2	0	—	49	15.3	28	8.7	6	1.9	140	43.6	321
秋田県	43	27.6	1	0.6	0	—	24	15.4	0	—	20	12.8	68	43.6	156
山形県	20	10.7	0	—	3	1.6	76	40.6	0	—	5	2.7	83	44.4	187
福島県	46	18.3	0	—	21	8.4	66	26.3	2	0.8	13	5.2	103	41.0	251
茨城県	28	65.1	0	—	0	—	10	23.3	0	—	1	2.3	4	9.3	43
栃木県	15	46.9	0	—	0	—	14	43.8	0	—	0	—	3	9.4	32
群馬県	16	21.1	2	2.6	0	—	49	64.5	0	—	0	—	9	11.8	76
埼玉県	31	20.4	0	—	1	0.7	114	75.0	2	1.3	0	—	4	2.6	152
千葉県	48	18.8	0	—	1	0.4	154	60.4	0	—	16	6.3	36	14.1	255
東京都	29	50.9	0	—	14	24.6	14	24.6	0	—	0	—	0	—	57
神奈川県	53	31.7	0	—	0	—	93	55.7	0	—	5	3.0	16	9.6	167
新潟県	12	57.1	0	—	0	—	4	19.0	0	—	1	4.8	4	19.0	21
富山県	6	35.3	0	—	0	—	6	35.3	0	—	0	—	5	29.4	17
石川県	1	20.0	0	—	0	—	4	80.0	0	—	0	—	0	—	5
福井県	9	56.3	0	—	0	—	6	37.5	0	—	0	—	1	6.3	16
山梨県	12	20.7	0	—	0	—	27	46.6	0	—	0	—	19	32.8	58
長野県	14	7.6	0	—	6	3.3	42	22.8	2	1.1	0	—	120	65.2	184
岐阜県	23	20.0	1	0.9	0	—	58	50.4	0	—	0	—	33	28.7	115
静岡県	41	32.0	0	—	0	—	29	22.7	0	—	0	—	58	45.3	128
愛知県	25	19.7	0	—	3	2.4	83	65.4	0	—	0	—	16	12.6	127
三重県	70	26.9	3	1.2	2	0.8	79	30.4	0	—	0	—	106	40.8	260
滋賀県	83	47.4	0	—	0	—	50	28.6	0	—	1	0.6	41	23.4	175
京都府	35	25.5	0	—	0	—	79	57.7	0	—	1	0.7	22	16.1	137
大阪府	14	3.8	0	—	56	15.1	248	67.0	0	—	0	—	52	14.1	370
兵庫県	34	16.0	0	—	0	—	164	77.4	0	—	0	—	14	6.6	212
奈良県	3	2.8	0	—	6	5.6	97	89.8	0	—	0	—	2	1.9	108
和歌山県	43	32.3	0	—	0	—	27	20.3	0	—	0	—	63	47.4	133
鳥取県	4	40.0	0	—	0	—	6	60.0	0	—	0	—	0	—	10
島根県	34	20.6	1	0.6	0	—	47	28.5	0	—	0	—	83	50.3	165
岡山県	6	40.0	0	—	0	—	6	40.0	0	—	0	—	3	20.0	15
広島県	43	16.2	1	0.4	0	—	33	12.4	3	1.1	1	0.4	185	69.5	266
山口県	22	11.6	5	2.6	1	0.5	59	31.2	0	—	3	1.6	99	52.4	189
徳島県	19	27.5	0	—	0	—	36	52.2	0	—	14	20.3	0	—	69
香川県	15	9.6	0	—	0	—	68	43.3	0	—	0	—	74	47.1	157
愛媛県	12	9.8	0	—	0	—	56	45.5	0	—	0	—	55	44.7	123
高知県	19	31.7	0	—	0	—	27	45.0	0	—	0	—	14	23.3	60
福岡県	35	17.1	1	0.5	4	2.0	39	19.0	1	0.5	2	1.0	123	60.0	205
佐賀県	17	17.2	0	—	1	1.0	19	19.2	0	—	0	—	62	62.6	99
長崎県	16	39.0	1	2.4	0	—	10	24.4	0	—	0	—	14	34.1	41
熊本県	37	25.2	2	1.4	1	0.7	25	17.0	0	—	0	—	82	55.8	147
大分県	36	14.0	8	3.1	0	—	27	10.5	1	0.4	4	1.6	182	70.5	258
宮崎県	34	48.6	0	—	0	—	16	22.9	0	—	0	—	20	28.6	70
鹿児島県	27	14.0	2	1.0	3	1.6	36	18.7	1	0.5	18	9.3	106	54.9	193
沖縄県	18	28.6	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	45	71.4	63
合計	1,325	20.7	32	0.5	132	2.1	2,315	36.2	45	0.7	114	1.8	2,439	38.1	6,402

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-5 法指定区域別のカモ類の観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）	都道府 県内割 合（％）	観察個体 数（羽）
北海道	2,766	41.0	0	—	101	1.5	1,044	15.5	0	—	0	—	2,834	42.0	6,745
青森県	2,019	27.1	0	—	282	3.8	1,288	17.3	0	—	93	1.2	3,763	50.5	7,445
岩手県	4,781	20.2	0	—	0	—	12,916	54.6	254	1.1	0	—	5,695	24.1	23,646
宮城県	13,495	33.2	196	0.5	0	—	9,162	22.5	7,481	18.4	1,022	2.5	9,340	23.0	40,696
秋田県	7,505	50.4	54	0.4	0	—	2,601	17.5	0	—	2,363	15.9	2,381	16.0	14,904
山形県	29,632	48.4	0	—	580	0.9	25,050	40.9	0	—	278	0.5	5,647	9.2	61,187
福島県	10,934	29.7	0	—	5,446	14.8	9,004	24.5	272	0.7	2,192	6.0	8,955	24.3	36,803
茨城県	128,844	88.7	0	—	0	—	14,070	9.7	0	—	20	0.0	2,295	1.6	145,229
栃木県	11,557	70.5	0	—	0	—	3,784	23.1	0	—	0	—	1,057	6.4	16,398
群馬県	3,483	27.3	12	0.1	0	—	6,647	52.1	0	—	0	—	2,607	20.4	12,749
埼玉県	7,575	28.6	0	—	379	1.4	16,973	64.0	1,154	4.4	0	—	424	1.6	26,505
千葉県	78,242	55.3	0	—	450	0.3	55,610	39.3	0	—	373	0.3	6,911	4.9	141,586
東京都	6,144	66.7	0	—	1,319	14.3	1,753	19.0	0	—	0	—	0	—	9,216
神奈川県	4,558	49.2	0	—	0	—	3,509	37.9	0	—	51	0.6	1,143	12.3	9,261
新潟県	43,314	61.4	0	—	0	—	23,683	33.6	0	—	1,331	1.9	2,176	3.1	70,504
富山県	6,029	38.2	0	—	0	—	7,937	50.3	0	—	0	—	1,819	11.5	15,785
石川県	10,409	39.0	0	—	0	—	16,276	61.0	0	—	0	—	0	—	26,685
福井県	14,772	59.3	0	—	0	—	9,497	38.1	0	—	0	—	642	2.6	24,911
山梨県	799	22.4	0	—	0	—	1,797	50.4	0	—	0	—	971	27.2	3,567
長野県	1,104	8.2	0	—	687	5.1	3,251	24.3	73	0.5	0	—	8,285	61.8	13,400
岐阜県	3,126	12.8	11	0.0	0	—	16,068	65.9	0	—	0	—	5,172	21.2	24,377
静岡県	16,079	57.3	0	—	0	—	6,690	23.9	0	—	0	—	5,268	18.8	28,037
愛知県	13,550	34.2	0	—	140	0.4	20,411	51.5	0	—	0	—	5,507	13.9	39,608
三重県	11,544	19.4	72	0.1	261	0.4	25,362	42.6	0	—	0	—	22,350	37.5	59,589
滋賀県	102,579	90.1	0	—	0	—	7,738	6.8	0	—	4	0.0	3,530	3.1	113,851
京都府	10,620	46.7	0	—	0	—	9,694	42.6	0	—	35	0.2	2,390	10.5	22,739
大阪府	8,283	22.9	0	—	4,524	12.5	17,937	49.6	0	—	0	—	5,423	15.0	36,167
兵庫県	8,153	21.6	0	—	0	—	26,208	69.4	0	—	0	—	3,412	9.0	37,773
奈良県	478	2.9	0	—	911	5.5	14,793	88.5	0	—	0	—	525	3.1	16,707
和歌山県	5,219	41.9	0	—	0	—	4,768	38.3	0	—	0	—	2,464	19.8	12,451
鳥取県	14,439	74.5	0	—	0	—	4,931	25.5	0	—	0	—	0	—	19,370
島根県	116,253	93.6	120	0.1	0	—	4,376	3.5	0	—	0	—	3,514	2.8	124,263
岡山県	7,661	36.0	0	—	0	—	7,999	37.6	0	—	0	—	5,618	26.4	21,278
広島県	6,744	17.6	5,210	13.6	0	—	12,990	33.8	238	0.6	19	0.0	13,192	34.4	38,393
山口県	3,374	17.1	54	0.3	110	0.6	9,541	48.4	0	—	95	0.5	6,538	33.2	19,712
徳島県	7,546	28.0	0	—	0	—	16,294	60.4	0	—	3,150	11.7	0	—	26,990
香川県	1,896	9.2	0	—	0	—	10,061	49.0	0	—	0	—	8,579	41.8	20,536
愛媛県	8,870	26.5	0	—	0	—	6,458	19.3	0	—	0	—	18,133	54.2	33,461
高知県	20,264	58.8	0	—	0	—	13,203	38.3	0	—	0	—	975	2.8	34,442
福岡県	9,359	36.1	36	0.1	124	0.5	7,573	29.2	12	0.0	243	0.9	8,558	33.0	25,905
佐賀県	551	1.6	0	—	10	0.0	5,932	17.4	0	—	0	—	27,569	80.9	34,062
長崎県	31,403	79.3	493	1.2	0	—	1,514	3.8	0	—	0	—	6,171	15.6	39,581
熊本県	11,604	36.7	485	1.5	272	0.9	1,788	5.7	0	—	0	—	17,487	55.3	31,636
大分県	3,474	18.9	292	1.6	0	—	7,609	41.4	8	0.0	87	0.5	6,919	37.6	18,389
宮崎県	10,245	81.8	0	—	0	—	1,599	12.8	0	—	0	—	678	5.4	12,522
鹿児島県	3,247	15.6	100	0.5	428	2.1	8,908	42.8	90	0.4	930	4.5	7,119	34.2	20,822
沖縄県	412	31.3	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	905	68.7	1,317
合計	824,935	50.9	7,135	0.4	16,024	1.0	496,297	30.6	9,582	0.6	12,286	0.8	254,941	15.7	1,621,200

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

4.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-4-6～表2-4-8及び図2-4-4(1)～(6)に示した。

地況別の観察個体数のうち、海岸で観察された割合が多かったのは、海ガモ類のスズガモ、クロガモ、ビロードキンクロ、シノリガモ、コオリガモ、ウミアイサ及びツクシガモで、いずれも50.0%以上の割合であった。

河川で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のカルガモ、コガモ、オカヨシガモ及びヒドリガモで、いずれも25.0%以上の割合であった。また、海ガモ類ではホオジロガモが25.3%、カワアイサが59.1%であった。

自然湖沼で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のトモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモでいずれも40.0%以上の割合であった。また、海ガモではキンクロハジロ、ホオジロガモ、ミコアイサで、いずれも40.0%以上の割合であった。

ダム湖で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のオシドリで、59.6%であった。他の種はいずれも15.0%以下の割合であった。

その他人造湖で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のハシビロガモで、71.6%であった。また、海ガモ類ではミコアイサが39.5%であった。

表 2-4-6(1) 地況別のカモ類の観察状況(観察地点数)

区域 項目		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計		
			項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)		項目内割合(%)	
調査地点数(箇所)		799	9.2	385	4.4	3,002	34.6	531	6.1	690	7.9	3,004	34.6	273	3.1	8,684	100.0	
調査地点面積(ha)		102,565	28.6	21,873	6.1	69,910	19.5	102,369	28.5	31,772	8.9	15,732	4.4	14,415	4.0	358,634	100.0	
観察地点数	淡水カモ類	オシドリ	6	1.0	3	0.5	157	27.4	20	3.5	190	33.1	197	34.3	1	0.2	574	100.0
		マガモ	234	6.3	188	5.0	1,231	33.0	309	8.3	366	9.8	1,355	36.3	50	1.3	3,733	100.0
		カルガモ	243	6.5	201	5.3	1,377	36.6	290	7.7	265	7.0	1,315	35.0	71	1.9	3,762	100.0
		コガモ	105	4.1	127	5.0	915	36.1	196	7.7	165	6.5	970	38.2	60	2.4	2,538	100.0
		トモエガモ	8	4.5	5	2.8	21	11.8	39	21.9	28	15.7	74	41.6	3	1.7	178	100.0
		ヨシガモ	39	7.9	36	7.3	129	26.3	89	18.1	27	5.5	165	33.6	6	1.2	491	100.0
		オカヨシガモ	41	5.1	74	9.3	269	33.7	106	13.3	17	2.1	280	35.1	11	1.4	798	100.0
		ヒドリガモ	209	11.8	192	10.8	546	30.8	155	8.8	63	3.6	573	32.4	33	1.9	1,771	100.0
		オナガガモ	95	10.9	103	11.8	255	29.3	108	12.4	35	4.0	251	28.8	24	2.8	871	100.0
		ハシビロガモ	30	3.4	26	2.9	103	11.6	93	10.5	26	2.9	589	66.5	19	2.1	886	100.0
		その他	7	17.1	6	14.6	9	22.0	7	17.1	0	—	8	19.5	4	9.8	41	100.0
	海ガモ類	ホシハジロ	96	6.2	95	6.1	271	17.5	165	10.6	121	7.8	777	50.1	25	1.6	1,550	100.0
		キンクロハジロ	68	4.8	67	4.8	339	24.2	146	10.4	99	7.1	658	46.9	26	1.9	1,403	100.0
		スズガモ	127	35.3	55	15.3	58	16.1	61	16.9	9	2.5	40	11.1	10	2.8	360	100.0
		クロガモ	33	47.8	7	10.1	18	26.1	0	—	4	5.8	5	7.2	2	2.9	69	100.0
		ビロードキンクロ	3	75.0	1	25.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	100.0
		シノリガモ	57	79.2	7	9.7	3	4.2	2	2.8	1	1.4	1	1.4	1	1.4	72	100.0
		コオリガモ	4	66.7	2	33.3	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	100.0
		ホオジロガモ	46	20.2	18	7.9	74	32.5	70	30.7	6	2.6	12	5.3	2	0.9	228	100.0
		ミコアイサ	9	2.0	5	1.1	62	13.7	85	18.8	16	3.5	273	60.4	2	0.4	452	100.0
		ウミアイサ	114	52.5	41	18.9	18	8.3	30	13.8	2	0.9	6	2.8	6	2.8	217	100.0
		カワアイサ	11	2.4	20	4.3	308	66.1	55	11.8	39	8.4	31	6.7	2	0.4	466	100.0
		その他	0	—	1	4.3	0	—	6	26.1	1	4.3	13	56.5	2	8.7	23	100.0
		ツクシガモ	21	29.6	14	19.7	9	12.7	4	5.6	0	—	17	23.9	6	8.5	71	100.0
		その他・種不明	63	12.0	34	6.5	186	35.4	63	12.0	42	8.0	133	25.3	5	1.0	526	100.0
		合計	547	8.5	335	5.2	2,113	33.0	438	6.8	532	8.3	2,326	36.3	111	1.7	6,402	100.0

表 2-4-6(2) 地況別のカモ類の観察状況(観察個体数)

区域 項目		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計		
		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		
観察個体数（羽）	淡水カモ類	オシドリ	85	0.4	3	0.0	4,453	20.4	346	1.6	13,030	59.6	3,949	18.1	8	0.0	21,874	100.0
		マガモ	23,753	5.8	34,420	8.4	91,796	22.3	132,638	32.3	29,850	7.3	94,527	23.0	4,200	1.0	411,184	100.0
		カルガモ	15,055	7.5	16,877	8.4	70,376	35.1	33,103	16.5	11,434	5.7	49,797	24.8	3,817	1.9	200,459	100.0
		コガモ	5,237	4.1	4,736	3.7	47,354	36.6	24,528	19.0	4,254	3.3	40,735	31.5	2,422	1.9	129,266	100.0
		トモエガモ	10,119	8.7	43	0.0	1,170	1.0	96,787	83.6	5,418	4.7	2,166	1.9	6	0.0	115,709	100.0
		ヨシガモ	1,034	5.8	689	3.8	2,819	15.7	9,951	55.6	219	1.2	3,185	17.8	14	0.1	17,911	100.0
		オカヨシガモ	867	3.0	1,983	6.8	8,279	28.5	13,589	46.8	113	0.4	3,880	13.4	312	1.1	29,023	100.0
		ヒドリガモ	20,705	13.6	21,179	13.9	43,561	28.5	37,564	24.6	3,624	2.4	23,000	15.1	3,035	2.0	152,668	100.0
		オナガガモ	6,752	4.1	14,663	9.0	26,890	16.4	56,149	34.3	4,094	2.5	51,735	31.6	3,368	2.1	163,651	100.0
		ハシビロガモ	560	2.6	275	1.3	1,134	5.3	2,131	10.0	988	4.6	15,256	71.6	956	4.5	21,300	100.0
		その他	20	6.8	219	74.0	10	3.4	9	3.0	0	—	34	11.5	4	1.4	296	100.0
	海ガモ類	ホシハジロ	20,092	18.5	15,586	14.4	15,846	14.6	24,451	22.6	4,121	3.8	24,274	22.4	3,953	3.6	108,323	100.0
		キンクロハジロ	1,319	2.4	1,803	3.2	12,262	22.0	25,834	46.4	2,921	5.2	10,878	19.5	664	1.2	55,681	100.0
		スズガモ	66,274	50.7	14,351	11.0	2,607	2.0	43,633	33.4	391	0.3	2,425	1.9	999	0.8	130,680	100.0
		クロガモ	666	55.4	98	8.1	258	21.4	0	—	144	12.0	23	1.9	14	1.2	1,203	100.0
		ビロードキンクロ	10	90.9	1	9.1	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	11	100.0
		シノリガモ	552	85.8	52	8.1	8	1.2	17	2.6	10	1.6	1	0.2	3	0.5	643	100.0
		コオリガモ	6	50.0	6	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	12	100.0
		ホオジロガモ	741	25.1	91	3.1	747	25.3	1,285	43.5	18	0.6	68	2.3	5	0.2	2,955	100.0
		ミコアイサ	100	1.7	9	0.2	333	5.7	2,975	51.0	110	1.9	2,305	39.5	2	0.0	5,834	100.0
		ウミアイサ	1,276	50.4	382	15.1	71	2.8	636	25.1	11	0.4	73	2.9	83	3.3	2,532	100.0
		カワアイサ	205	4.4	143	3.0	2,781	59.1	1,156	24.6	286	6.1	125	2.7	7	0.1	4,703	100.0
		その他	0	—	1	3.8	0	—	9	34.6	1	3.8	13	50.0	2	7.7	26	100.0
		ツクシガモ	4,289	77.1	702	12.6	385	6.9	8	0.1	0	—	54	1.0	123	2.2	5,561	100.0
		その他・種不明	9,481	23.9	3,833	9.7	12,066	30.4	8,828	22.2	2,134	5.4	3,245	8.2	108	0.3	39,695	100.0
		合計	189,198	11.7	132,145	8.2	345,206	21.3	515,627	31.8	83,171	5.1	331,748	20.5	24,105	1.5	1,621,200	100.0

【(1)(2)共通備考】

項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す

淡水ガモ類のその他は、アメリカヒドリ、シマアジが対象

海ガモ類のその他は、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサが対象(今年度はケワタガモ、コケワタガモ、コウライアイサは観察されなかった)

その他・種不明のその他は、アカツクシガモ、リュウキュウガモが対象(今年度はリュウキュウガモは観察されなかった)

観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)

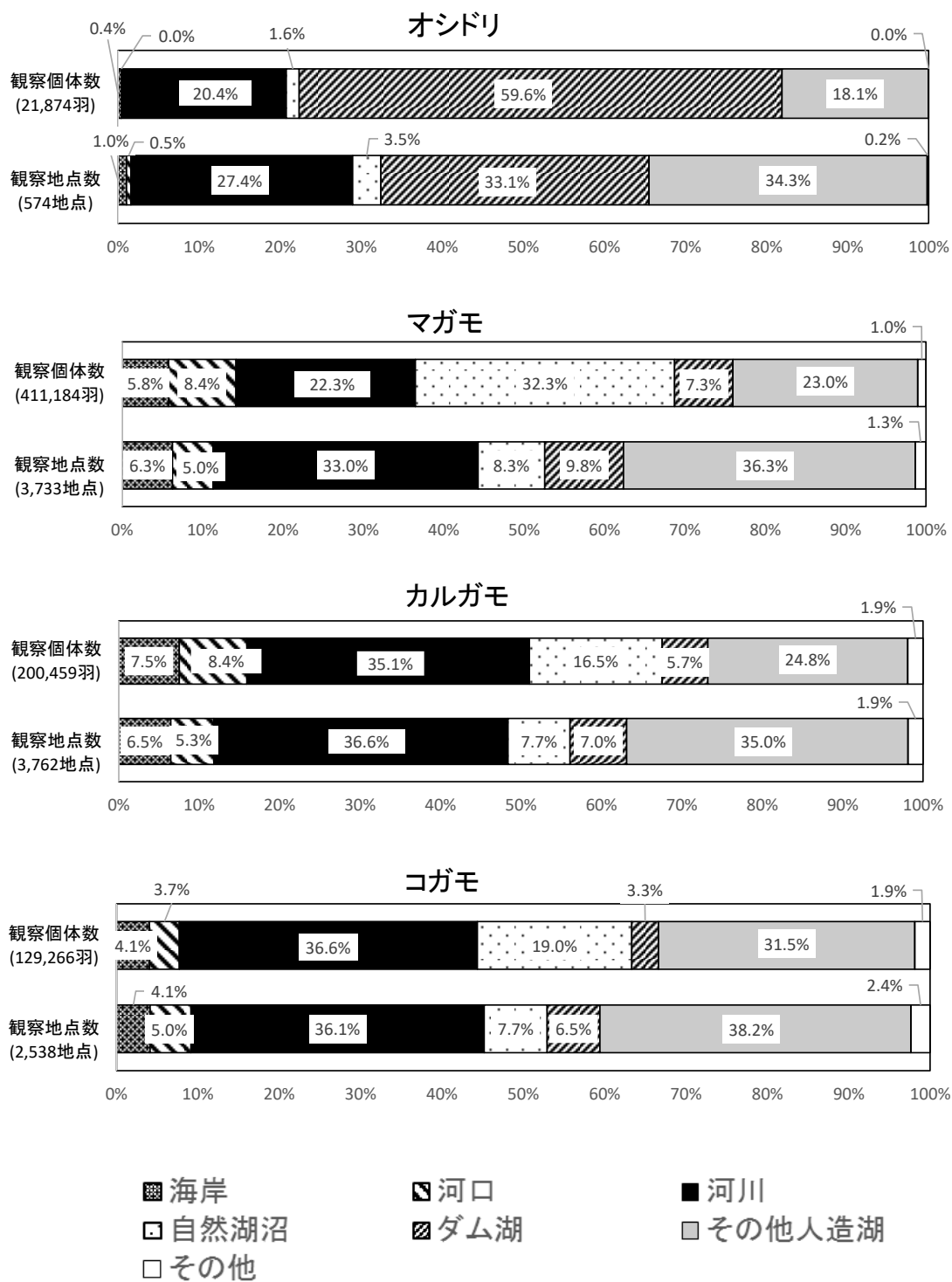


図 2-4-4(1) 地況別のカモ類の観察状況

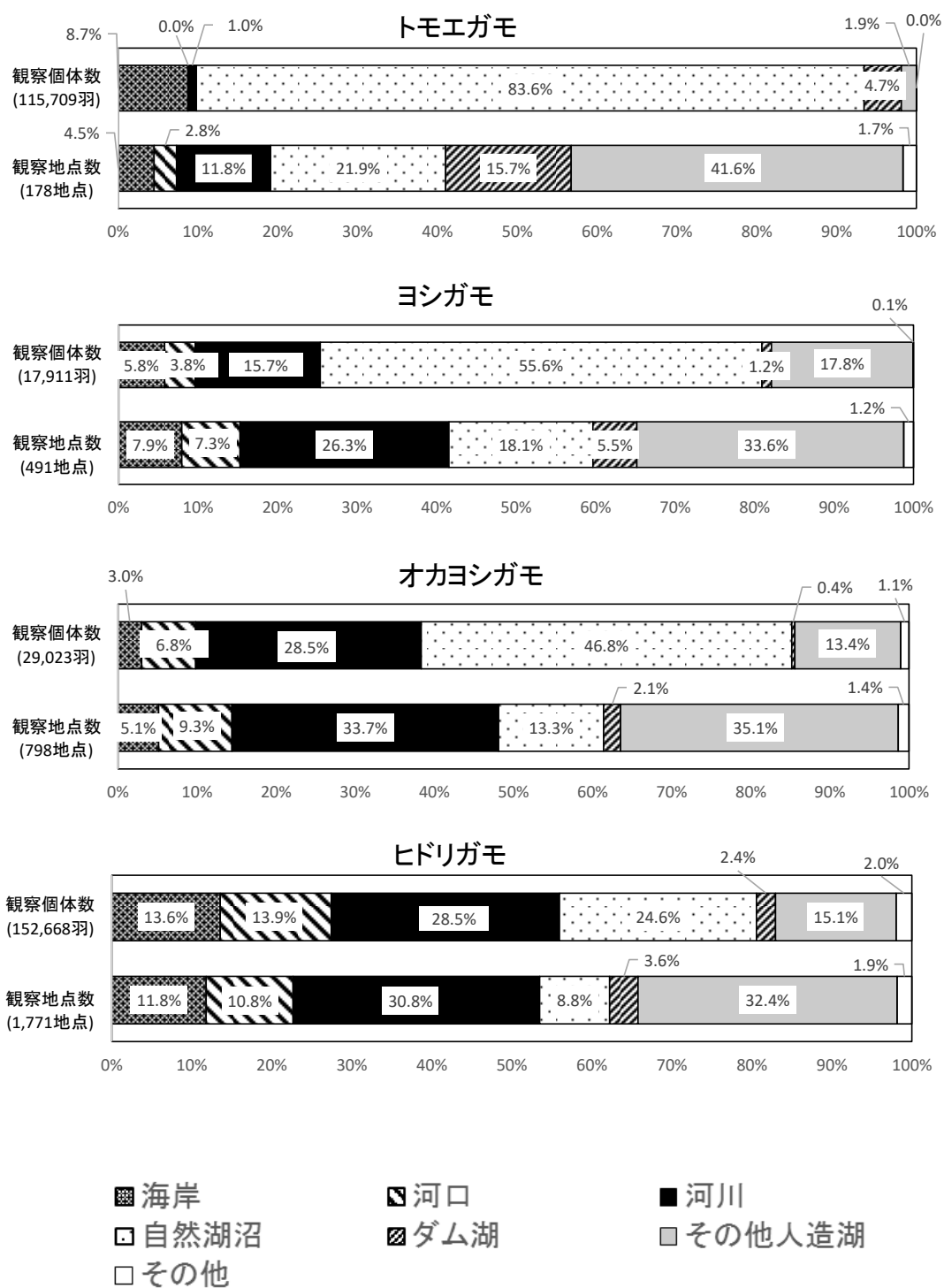


図 2-4-4(2) 地況別のカモ類の観察状況

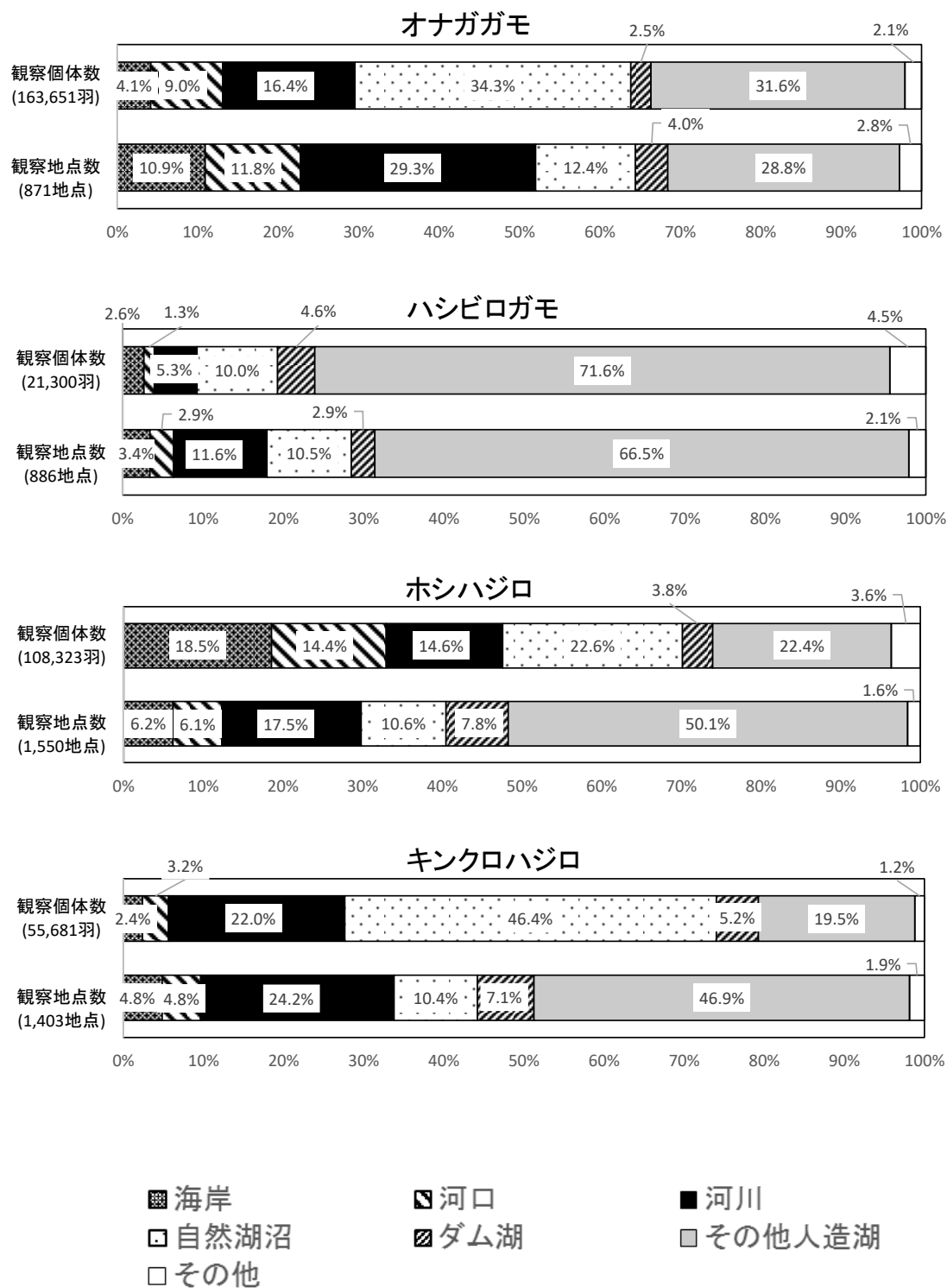


図 2-4-4(3) 地況別のカモ類の観察状況

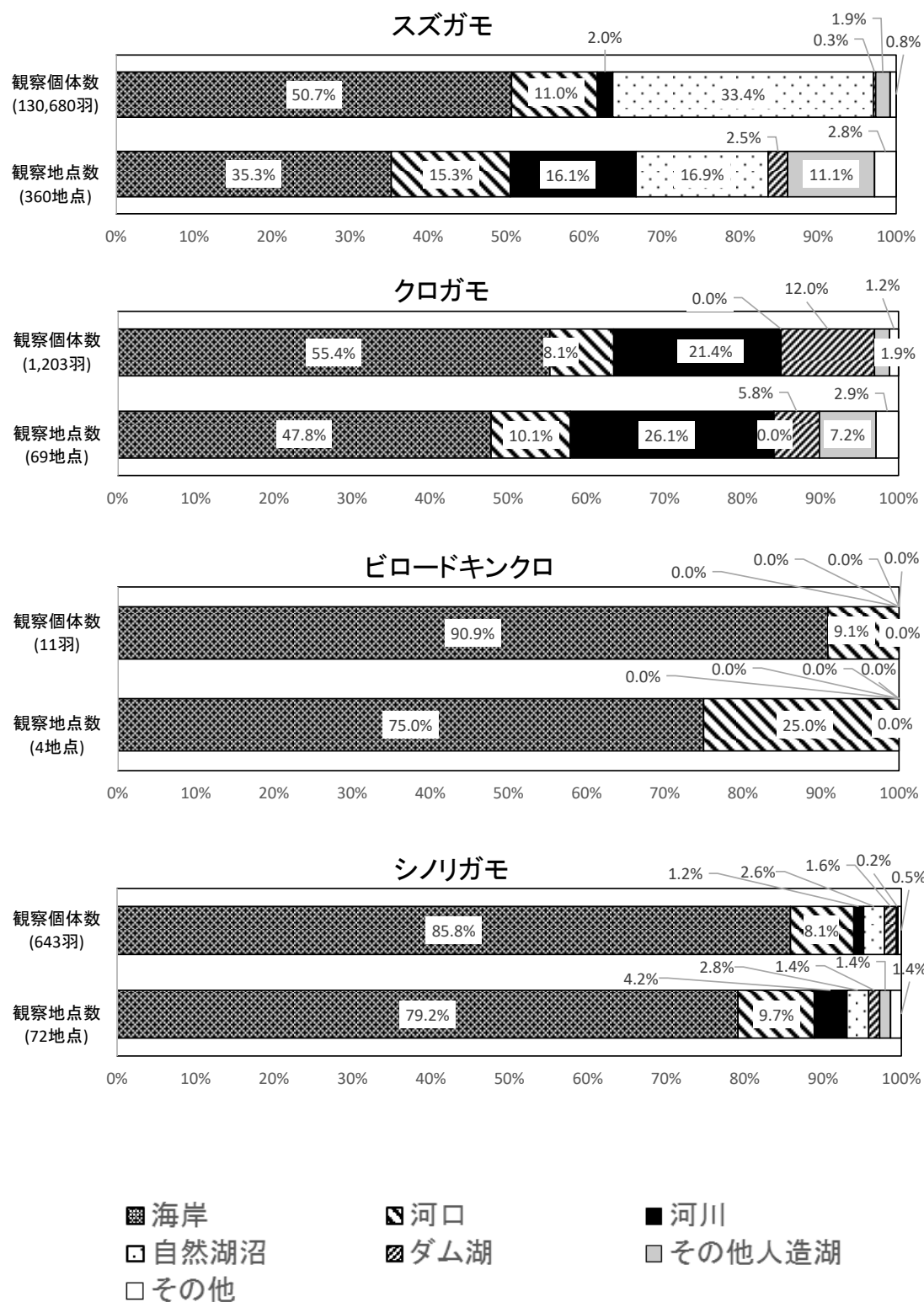


図 2-4-4(4) 地況別のカモ類の観察状況

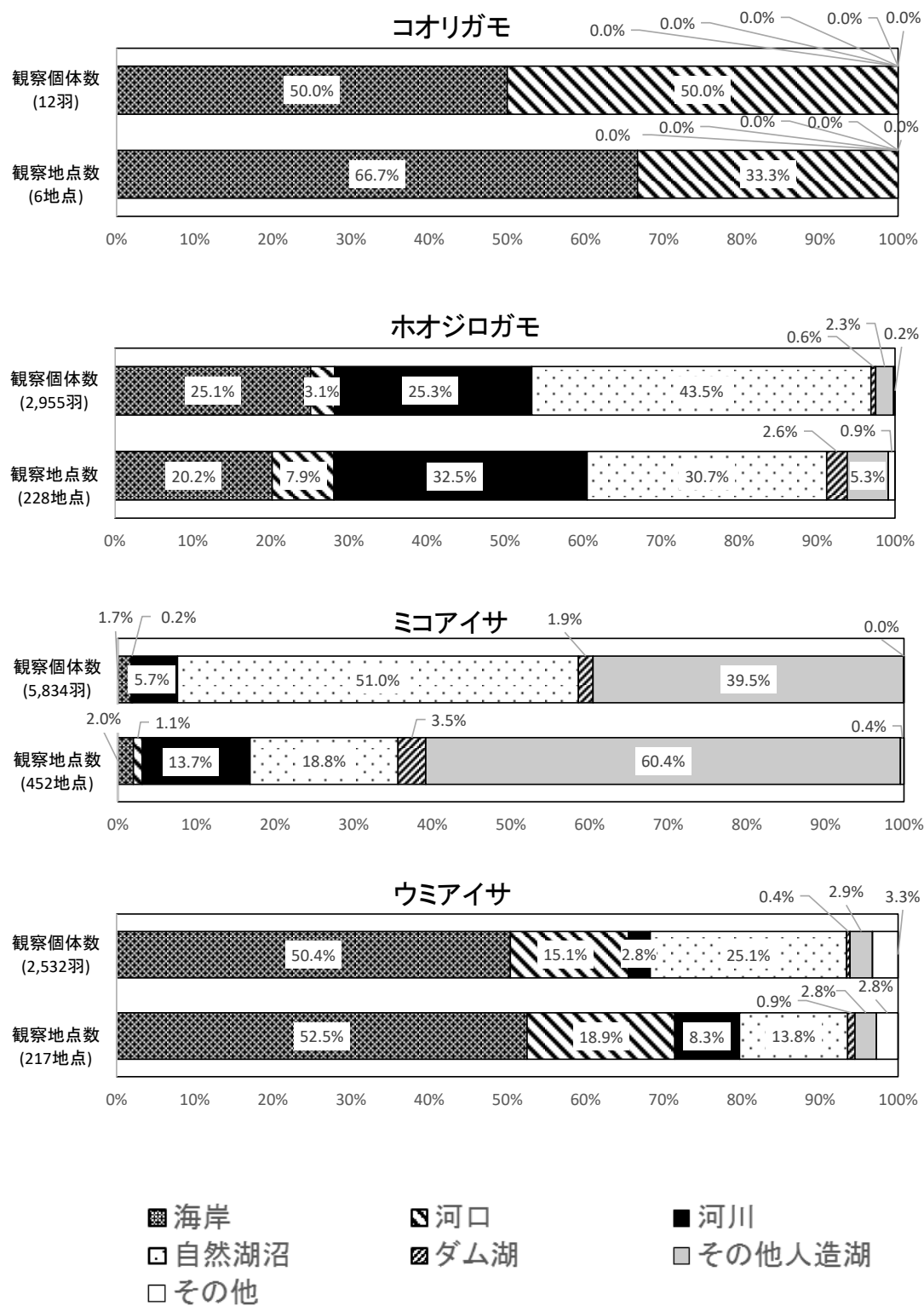


図 2-4-4(5) 地況別のカモ類の観察状況

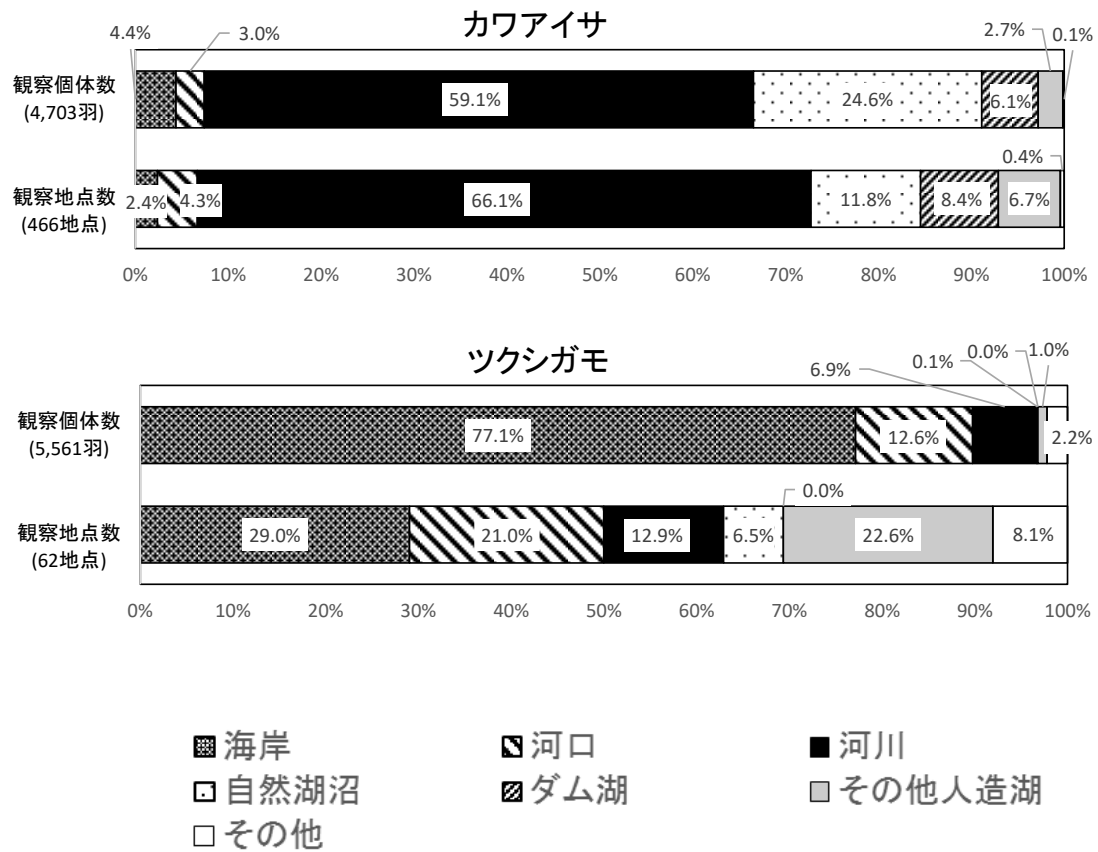


図 2-4-4(6) 地況別のカモ類の観察状況

表 2-4-7 地況別のカモ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数
北海道	69	55.2	8	6.4	30	24.0	17	13.6	0	—	0	—	1	0.8	125
青森県	74	49.7	5	3.4	48	32.2	14	9.4	2	1.3	6	4.0	0	—	149
岩手県	18	7.7	20	8.5	160	68.1	3	1.3	14	6.0	19	8.1	1	0.4	235
宮城県	43	13.4	8	2.5	125	38.9	22	6.9	20	6.2	84	26.2	19	5.9	321
秋田県	24	15.4	5	3.2	96	61.5	9	5.8	2	1.3	17	10.9	3	1.9	156
山形県	3	1.6	4	2.1	138	73.8	7	3.7	13	7.0	20	10.7	2	1.1	187
福島県	6	2.4	8	3.2	105	41.8	29	11.6	31	12.4	67	26.7	5	2.0	251
茨城県	4	9.3	1	2.3	4	9.3	12	27.9	6	14.0	16	37.2	0	—	43
栃木県	0	—	0	—	2	6.3	2	6.3	7	21.9	20	62.5	1	3.1	32
群馬県	0	—	0	—	28	36.8	9	11.8	15	19.7	22	28.9	2	2.6	76
埼玉県	0	—	0	—	62	40.8	5	3.3	6	3.9	79	52.0	0	—	152
千葉県	6	2.4	13	5.1	48	18.8	10	3.9	29	11.4	128	50.2	21	8.2	255
東京都	5	8.8	1	1.8	24	42.1	2	3.5	3	5.3	22	38.6	0	—	57
神奈川県	12	7.2	8	4.8	99	59.3	4	2.4	6	3.6	38	22.8	0	—	167
新潟県	1	4.8	0	—	5	23.8	6	28.6	0	—	8	38.1	1	4.8	21
富山県	1	5.9	3	17.6	4	23.5	1	5.9	0	—	5	29.4	3	17.6	17
石川県	0	—	0	—	2	40.0	3	60.0	0	—	0	—	0	—	5
福井県	2	12.5	0	—	5	31.3	7	43.8	0	—	2	12.5	0	—	16
山梨県	0	—	0	—	28	48.3	6	10.3	5	8.6	19	32.8	0	—	58
長野県	0	—	0	—	122	66.3	6	3.3	21	11.4	35	19.0	0	—	184
岐阜県	0	—	0	—	68	59.1	2	1.7	16	13.9	28	24.3	1	0.9	115
静岡県	8	6.3	13	10.2	44	34.4	22	17.2	6	4.7	35	27.3	0	—	128
愛知県	10	7.9	6	4.7	31	24.4	1	0.8	8	6.3	70	55.1	1	0.8	127
三重県	16	6.2	33	12.7	44	16.9	13	5.0	14	5.4	139	53.5	1	0.4	260
滋賀県	0	—	2	1.1	17	9.7	89	50.9	10	5.7	57	32.6	0	—	175
京都府	9	6.6	2	1.5	72	52.6	6	4.4	4	2.9	44	32.1	0	—	137
大阪府	5	1.4	8	2.2	51	13.8	14	3.8	1	0.3	288	77.8	3	0.8	370
兵庫県	7	3.3	15	7.1	25	11.8	0	—	10	4.7	153	72.2	2	0.9	212
奈良県	0	—	0	—	7	6.5	0	—	11	10.2	90	83.3	0	—	108
和歌山県	9	6.8	11	8.3	33	24.8	11	8.3	6	4.5	61	45.9	2	1.5	133
鳥取県	1	10.0	0	—	4	40.0	5	50.0	0	—	0	—	0	—	10
島根県	2	1.2	11	6.7	84	50.9	23	13.9	23	13.9	21	12.7	1	0.6	165
岡山県	0	—	2	13.3	3	20.0	0	—	4	26.7	3	20.0	3	20.0	15
広島県	32	12.0	10	3.8	59	22.2	2	0.8	27	10.2	132	49.6	4	1.5	266
山口県	27	14.3	11	5.8	52	27.5	0	—	22	11.6	76	40.2	1	0.5	189
徳島県	12	17.4	3	4.3	33	47.8	3	4.3	7	10.1	11	15.9	0	—	69
香川県	16	10.2	12	7.6	11	7.0	0	—	11	7.0	105	66.9	2	1.3	157
愛媛県	14	11.4	12	9.8	15	12.2	1	0.8	7	5.7	73	59.3	1	0.8	123
高知県	4	6.7	14	23.3	18	30.0	6	10.0	11	18.3	7	11.7	0	—	60
福岡県	10	4.9	18	8.8	35	17.1	15	7.3	27	13.2	97	47.3	3	1.5	205
佐賀県	22	22.2	11	11.1	9	9.1	0	—	11	11.1	42	42.4	4	4.0	99
長崎県	9	22.0	1	2.4	0	—	0	—	19	46.3	12	29.3	0	—	41
熊本県	20	13.6	12	8.2	62	42.2	13	8.8	16	10.9	21	14.3	3	2.0	147
大分県	26	10.1	10	3.9	94	36.4	6	2.3	27	10.5	91	35.3	4	1.6	258
宮崎県	6	8.6	8	11.4	31	44.3	3	4.3	14	20.0	8	11.4	0	—	70
鹿児島県	10	5.2	24	12.4	70	36.3	26	13.5	33	17.1	25	13.0	5	2.6	193
沖縄県	4	6.3	2	3.2	6	9.5	3	4.8	7	11.1	30	47.6	11	17.5	63
合計	547	8.5	335	5.2	2,113	33.0	438	6.8	532	8.3	2,326	36.3	111	1.7	6,402

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-8 地況別のカモ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）	都道府県内割合（％）	観察個体数（羽）
北海道	2,990	44.3	394	5.8	901	13.4	2,416	35.8	0	—	0	—	44	0.7	6,745
青森県	4,317	58.0	163	2.2	1,413	19.0	815	10.9	74	1.0	663	8.9	0	—	7,445
岩手県	1,467	6.2	1,135	4.8	14,398	60.9	843	3.6	2,720	11.5	3,065	13.0	18	0.1	23,646
宮城県	3,756	9.2	779	1.9	16,748	41.2	5,039	12.4	3,464	8.5	8,955	22.0	1,955	4.8	40,696
秋田県	1,820	12.2	802	5.4	5,921	39.7	1,622	10.9	98	0.7	4,239	28.4	402	2.7	14,904
山形県	134	0.2	4,633	7.6	16,827	27.5	5,791	9.5	4,611	7.5	29,048	47.5	143	0.2	61,187
福島県	501	1.4	610	1.7	12,356	33.6	6,654	18.1	7,047	19.1	9,278	25.2	357	1.0	36,803
茨城県	2,992	2.1	398	0.3	7,689	5.3	117,340	80.8	2,376	1.6	14,434	9.9	0	—	145,229
栃木県	0	—	0	—	90	0.5	324	2.0	1,737	10.6	13,311	81.2	936	5.7	16,398
群馬県	0	—	0	—	3,107	24.4	1,993	15.6	3,044	23.9	3,355	26.3	1,250	9.8	12,749
埼玉県	0	—	0	—	11,156	42.1	926	3.5	661	2.5	13,762	51.9	0	—	26,505
千葉県	19,364	13.7	3,543	2.5	23,932	16.9	46,337	32.7	8,562	6.0	36,733	25.9	3,115	2.2	141,586
東京都	1,426	15.5	56	0.6	4,243	46.0	70	0.8	379	4.1	3,042	33.0	0	—	9,216
神奈川県	703	7.6	478	5.2	3,160	34.1	235	2.5	2,027	21.9	2,658	28.7	0	—	9,261
新潟県	2,569	3.6	0	—	22,177	31.5	25,012	35.5	0	—	20,659	29.3	87	0.1	70,504
富山県	1,128	7.1	2,626	16.6	2,354	14.9	840	5.3	0	—	6,703	42.5	2,134	13.5	15,785
石川県	0	—	0	—	1,544	5.8	25,141	94.2	0	—	0	—	0	—	26,685
福井県	1,785	7.2	0	—	8,060	32.4	12,295	49.4	0	—	2,771	11.1	0	—	24,911
山梨県	0	—	0	—	977	27.4	630	17.7	611	17.1	1,349	37.8	0	—	3,567
長野県	0	—	0	—	8,677	64.8	1,432	10.7	1,043	7.8	2,248	16.8	0	—	13,400
岐阜県	0	—	0	—	20,025	82.1	63	0.3	1,347	5.5	2,824	11.6	118	0.5	24,377
静岡県	283	1.0	6,356	22.7	6,038	21.5	9,927	35.4	841	3.0	4,592	16.4	0	—	28,037
愛知県	14,130	35.7	4,610	11.6	7,838	19.8	1,574	4.0	672	1.7	10,524	26.6	260	0.7	39,608
三重県	15,785	26.5	24,078	40.4	4,568	7.7	582	1.0	2,106	3.5	12,431	20.9	39	0.1	59,589
滋賀県	0	—	195	0.2	3,568	3.1	103,591	91.0	1,132	1.0	5,365	4.7	0	—	113,851
京都府	2,826	12.4	2,704	11.9	9,865	43.4	1,142	5.0	1,557	6.8	4,645	20.4	0	—	22,739
大阪府	2,800	7.7	4,722	13.1	12,411	34.3	563	1.6	7	0.0	13,765	38.1	1,899	5.3	36,167
兵庫県	5,758	15.2	8,683	23.0	9,202	24.4	0	—	1,154	3.1	11,671	30.9	1,305	3.5	37,773
奈良県	0	—	0	—	1,925	11.5	0	—	2,986	17.9	11,796	70.6	0	—	16,707
和歌山県	494	4.0	1,586	12.7	4,042	32.5	606	4.9	1,652	13.3	3,935	31.6	136	1.1	12,451
鳥取県	3,875	20.0	0	—	4,210	21.7	11,285	58.3	0	—	0	—	0	—	19,370
島根県	35	0.0	1,106	0.9	4,914	4.0	115,221	92.7	2,496	2.0	471	0.4	20	0.0	124,263
岡山県	0	—	4,577	21.5	4,686	22.0	0	—	364	1.7	7,462	35.1	4,189	19.7	21,278
広島県	13,050	34.0	2,781	7.2	11,455	29.8	26	0.1	1,550	4.0	8,075	21.0	1,456	3.8	38,393
山口県	4,069	20.6	1,221	6.2	6,751	34.2	0	—	1,371	7.0	5,700	28.9	600	3.0	19,712
徳島県	3,768	14.0	2,079	7.7	19,023	70.5	217	0.8	619	2.3	1,284	4.8	0	—	26,990
香川県	904	4.4	1,134	5.5	2,727	13.3	0	—	633	3.1	14,672	71.4	466	2.3	20,536
愛媛県	2,501	7.5	14,020	41.9	3,505	10.5	145	0.4	3,515	10.5	9,197	27.5	578	1.7	33,461
高知県	5,182	15.0	10,647	30.9	9,052	26.3	2,019	5.9	6,563	19.1	979	2.8	0	—	34,442
福岡県	7,172	27.7	5,283	20.4	2,574	9.9	837	3.2	2,433	9.4	7,201	27.8	405	1.6	25,905
佐賀県	15,612	45.8	7,113	20.9	1,630	4.8	0	—	472	1.4	9,069	26.6	166	0.5	34,062
長崎県	33,909	85.7	410	1.0	0	—	0	—	3,991	10.1	1,271	3.2	0	—	39,581
熊本県	8,398	26.5	3,567	11.3	9,288	29.4	4,813	15.2	2,449	7.7	1,852	5.9	1,269	4.0	31,636
大分県	2,210	12.0	3,726	20.3	7,240	39.4	212	1.2	2,364	12.9	2,240	12.2	397	2.2	18,389
宮崎県	1,028	8.2	2,640	21.1	5,236	41.8	559	4.5	898	7.2	2,161	17.3	0	—	12,522
鹿児島県	351	1.7	3,272	15.7	7,653	36.8	6,332	30.4	1,358	6.5	1,646	7.9	210	1.0	20,822
沖縄県	106	8.0	18	1.4	50	3.8	158	12.0	187	14.2	647	49.1	151	11.5	1,317
合計	189,198	11.7	132,145	8.2	345,206	21.3	515,627	31.8	83,171	5.1	331,748	20.5	24,105	1.5	1,621,200

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、地況別の構成比を示す。

5. 希少なガンカモ類の観察状況

5.1 選定基準

本調査で観察された種のうち、各種法律や資料によってその希少性や学術的な価値が指摘されている種を希少なガンカモ類とし、その観察状況を整理した。希少なガンカモ類の選定は、「文化財保護法」、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」、環境省の鳥類レッドリスト2020及び国際自然保護連合(IUCN)のレッドリスト(2021年1月現在)の掲載種を対象とした。詳細な選定基準を表2-5-1に示した。

表 2-5-1 希少なガンカモ類の選定基準

No.	選定基準
1	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)における国指定の天然記念物・特別天然記念物
2	「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)における国内希少野生動植物種・国際希少野生動植物種
3	「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(平成4年法律第75号)における希少鳥獣
4	「[鳥類]環境省レッドリスト2020」の掲載種
5	「The IUCN Red List of Threatened Species」(www.iucnredlist.org)で指摘されている種のうち、絶滅危惧Ⅱ類(VU)以上に該当する種

5.2 希少なガンカモ類の観察状況

本調査で観察記録のある希少なガンカモ類と各カテゴリー及び令和4年度の調査での観察の有無を表2-5-2に示した。令和5年度の調査では、全国でガン類7種、カモ類8種の計15種の希少なガンカモ類が観察された。これらのうち、カリガネ、コオリガモ、ホシハジロは、世界的に個体数の減少が指摘されている種である。種別の観察個体数上位3地域を表2-5-3に示した。

表 2-5-2 日本産の希少なガンカモ類と令和4年度の観察種

種	確認 状況	選定基準				
		1	2	3	4	5
ガン類	コクガン	●	国天		○	VU
	マガン	●	国天			NT
	カリガネ	●				EN
	ヒシクイ	●	国天		○	VU/NT
	ハクガン	●				CR
	サカツラガン	●				DD
	シジュウカラガン	●		国内	○	CR
カモ類	アカツクシガモ	●				DD
	ツクシガモ	●			○	VU
	オシドリ	●				DD
	トモエガモ	●			○	VU
	ビロードキンクロ	●				VU
	コオリガモ	●				VU
	ホシハジロ	●				VU
	アカハジロ	●			DD	CR
	コケワタガモ	×				VU
	コウライアイサ	●		国際		EN

【備考】

- ・選定基準の1～5は表2-5-1のNo. 1～5に対応する。
- ・以下各基準のカテゴリー
 基準1 国天：国指定天然記念物 特天：国指定特別天然記念物
 基準2 国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
 基準4、5 EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類
 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・確認状況の●は本年度に観察された種、×は最近15年間に観察記録がない種を示す。
- ・注：ヒシクイはVU、オオヒシクイはNT

表 2-5-3 希少なガンカモ類の観察個体数上位 3 地域

分類群	種名	全国合計		観察個体数上位3地域	
		観察 地点数	観察個体数 (羽)	観察地域	観察個体数 (羽)
ガン類	シジュウカラガン	12	1,344	秋田県 大潟村干拓地	1,076
				宮城県 化女沼	195
				宮城県 蕪栗沼	52
	コクガン	49	1,676	宮城県 十八成湾	195
				宮城県 鮫浦湾	190
				宮城県 波伝谷	187
	マガン	65	244,863	宮城県 蕪栗沼	149,616
				宮城県 伊豆沼内沼	62,175
				宮城県 化女沼	4,916
	カリガネ	3	61	秋田県 大潟村干拓地	60
				愛知県 柳生川市場橋下流	1
	ヒシクイ	51	12,993	新潟県 福島潟	7,128
				秋田県 大潟村干拓地	1,518
				宮城県 村田ダム	1,347
	ハクガン	8	922	新潟県 朝日池・鵜の池	741
				秋田県 大潟村干拓地	111
				新潟県 福島潟	39
	サカツラガン	3	17	鳥取県 天神川	15
				島根県 宍道湖	1
				島根県 能義平野	1
カモ類	アカツクシガモ	3	6	島根県 宍道湖	3
				新潟県 加茂湖	2
				鹿児島県 佐手久	1
	ツクシガモ	71	5,561	佐賀県 大掬2区	1,500
				佐賀県 大掬3区	1,000
				佐賀県 国造堀	700
	オシドリ	574	21,874	奈良県 二津野ダム	1,390
				和歌山県 日高川	1,018
				神奈川県 宮ヶ瀬湖	903
	トモエガモ	178	115,709	島根県 宍道湖	58,000
				千葉県 印旛沼	30,000
				長崎県 諫早湾	10,024
	ホシハジロ	1,550	108,323	滋賀県 琵琶湖	16,418
				大阪府 淀川	4,149
				広島県 松永湾	2,862
	アカハジロ	2	2	大阪府 河池	1
				奈良県 郡山城堀	1
	ビロードキンクロ	4	11	北海道 谷好	8
				千葉県 江戸川	1
				千葉県 三番瀬	1
				北海道 字日の出	1
	コオリガモ	6	12	岩手県 安家川	5
				北海道 野付崎	2
				北海道 札苅海岸	2

注)コケワタガモ、コウライアイサは今年度の観察個体数がゼロである。

6. 移入種の観察状況

令和5年度観察されたガン、カモ、ハクチョウ類のうち、移入種であるハクチョウ類のコブハクチョウ（*Cygnus olor*）を対象に観察状況をまとめた。

6.1 コブハクチョウ

令和5年度の都道府県別分布状況を表2-6-1に、最近20年間の観察個体数を表2-6-2及び図2-6-1に示した。コブハクチョウは過去に野生個体とされる記録があるが、現在観察される個体はほとんどが人為的に移入されたものやその子孫と考えられる。令和5年度調査の観察個体数は14道府県で200羽と、令和4年度に比べて減少した。

表 2-6-1 コブハクチョウの分布状況（都道府県別個体数上位順）

No.	都道府県	観察個体数(羽)
1	福島県	71
2	山梨県	30
3	茨城県	20
4	千葉県	20
5	青森県	18
6	島根県	18
7	香川県	7
8	福岡県	7
9	埼玉県	2
10	新潟県	2
11	鹿児島県	2
12	北海道	1
13	京都府	1
14	鳥取県	1
	計	200

表 2-6-2 最近 20 年間の主要県別コブハクチョウ観察個体数

調査年度	観察 地点数	観察個体数(羽)						
		総数	福島県	山梨県	千葉県	茨城県	島根県	その他
平成16年度	19	265	75	36	17	88	6	43
平成17年度	23	227	0	44	22	105	2	54
平成18年度	29	209	1	42	13	80	23	50
平成19年度	27	240	0	48	25	111	9	47
平成20年度	30	247	0	43	27	93	6	78
平成21年度	25	200	3	59	2	104	0	32
平成22年度	29	269	0	54	26	100	0	89
平成23年度	31	215	1	55	38	85	0	36
平成24年度	32	218	1	35	47	96	2	37
平成25年度	34	256	17	43	56	91	0	49
平成26年度	47	380	44	35	96	110	21	74
平成27年度	43	337	54	43	92	68	33	47
平成28年度	43	367	105	37	72	88	13	52
平成29年度	44	304	44	40	80	49	4	87
平成30年度	42	309	81	41	61	54	18	54
令和元年度	51	307	62	52	32	54	18	89
令和2年度	32	158	6	36	16	47	9	44
令和3年度	37	343	114	60	32	63	25	49
令和4年度	37	303	89	47	98	24	7	38
令和5年度	31	200	71	30	20	20	18	41

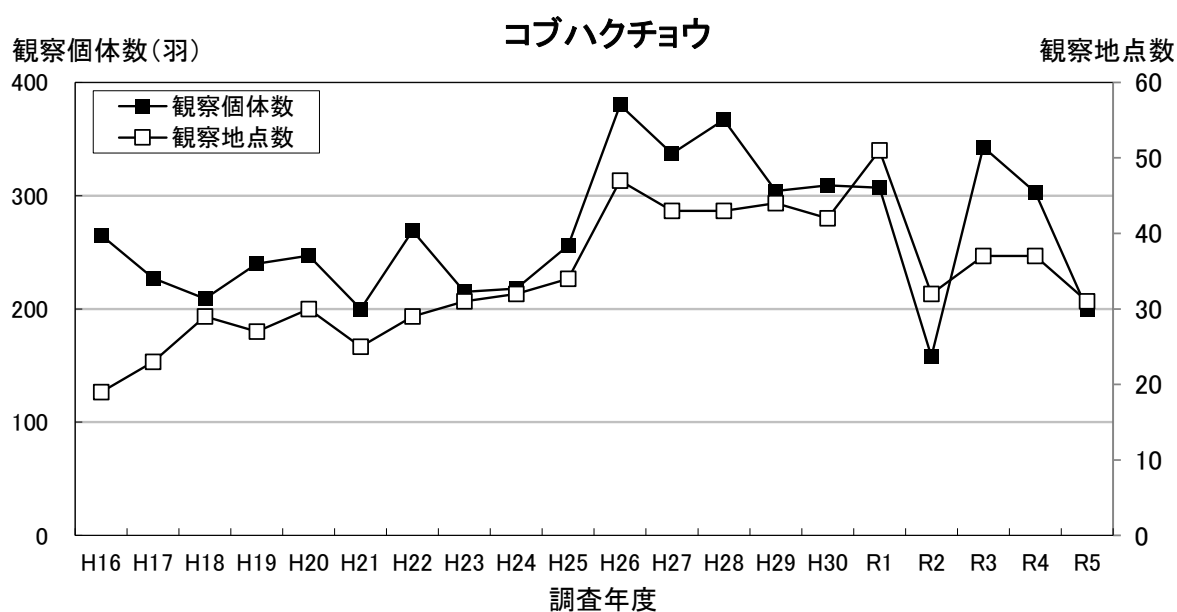


図 2-6-1 最近 20 年間のコブハクチョウ観察個体数と観察地点数

7. 飼養品種の観察状況

令和 5 年度調査中に観察された飼養品種の報告状況をまとめた。なお、飼養品種の観察状況は、任意報告があったデータのみをまとめている。

表 2-7-1 飼養品種の観察状況

種名	観察個体数(羽)	報告のあった都道府県
バリケン	1	神奈川県
アヒル	78	千葉県、京都府
アイガモ	3	長野県

(参考) 第 55 回ガンカモ類の生息調査実施要領

■ 第 55 回ガンカモ類の生息調査実施要領 一覧

- 1) 第 55 回ガンカモ類の生息調査実施要領
- 2) 別紙 1－1 ガンカモ類の生息調査 調査項目
- 3) 別紙 1－2 日本産鳥類目録第 7 版（平成 24 年改訂）抜粋 改変版
- 4) 別紙 1－3 1989～2023 年ガンカモ調査地点リスト
- 5) 別紙 2－1 2024 都道府県報告様式 a-c
- 6) 別紙 2－2 都道府県報告様式記入上の留意事項
- 7) 参考 1 2024 現地調査員報告様式例
- 8) 参考 2 現地調査員報告様式例記入上の留意事項等

第55回ガンカモ類の生息調査

実 施 要 領

令和5（2023）年10月

環境省自然環境局
生物多様性センター

第1章 調査の趣旨

1. 目的

日本におけるガン・カモ・ハクチョウ類の冬期生息状況を把握し、野生動物保護管理行政（鳥獣の保護管理、希少種の保全、外来種・鳥インフルエンザ対策等）に有用な情報を得ることを目的としています。

2. 調査の主体

調査は各都道府県が主体となって実施をお願いいたします。

3. 調査区域

各都道府県の区域（海域を含む。）です。

なお、2つ以上の都道府県にわたる調査地（複数の都道府県にわたる河川、湖沼、湾の場合等）の調査については、あらかじめ関係都道府県で相互に協議するなどして、重複カウント及び調査漏れの防止に努めていただきますようお願いいたします。

第2章 調査方法

1. 調査地の選定手順

- ①過去の調査結果及び鳥類保護団体、狩猟団体等からの情報に基づき、原則としてガン・カモ・ハクチョウ類のすべての渡来地について、その位置、地点名等を把握してください。
- ②ガン類及びハクチョウ類の渡来地については原則としてすべての渡来地を調査地としてください。
- ③カモ類のみの渡来地については、各都道府県の状況（調査体制、調査人数等）に応じて、各都道府県に飛来しているガンカモ類の生息状況を概ね把握できるよう、主要な渡来地を調査地として選定してください。

2. 調査日

- ・一斉調査日：令和6（2024）年1月14日（日）
- ・調査期間：令和6（2024）年1月7日（日）～21日（日）

重複カウントを避け、全国に飛来するガンカモ類の個体数をより正確に把握するため、できる限り一斉調査日の前後数日以内で調査を実施いただきますようお願いいたします。

都合がつかない場合は、調査期間のいずれか1日を都道府県ごとに指定いただき、実施してください。

3. 調査項目

調査地点の基礎情報（地況、鳥獣保護区等、天候、環境コード）、調査体制（調査人数、調査者属性）、ハクチョウ類・ガン類・カモ類の個体数等について、記録をお願いします。

また、ガンカモ類の生息調査の各調査地点において観察されたカワウの個体数についても記録をお願いします。

詳細は、別紙１－１「ガンカモ類の生息調査 調査項目」のとおりです。

4. 現地調査員の調査結果とりまとめ

都道府県の担当者の方は、調査実施後、現地調査員の調査報告をとりまとめてください。

なお、参考資料１「現地調査員報告様式例」は、現地調査員が調査結果を報告するための記入様式の一例ですので、適宜参考にしてください。

また、現地調査員報告様式例を用いる場合には、参考資料２「現地調査員報告様式例記入上の留意事項等」を御参照ください。

5. 都道府県担当者からの環境省への報告

都道府県の担当者の方は、別紙２－１「都道府県報告様式 a ～ c」（様式 a には前年度調査時の地点情報が記載されています）に調査結果を入力し、電子メールに添付して令和 6 年 2 月 19 日（月）までにガンカモ類の生息調査及びカワウカウント共通アドレス（gankamo_kawau@env.go.jp）までお送りください。なお、書面による御報告は必須ではありません。

それぞれの様式の報告内容と提出方法は、以下のとおりです。

様式名	報告内容	提出方法
様式 a	調査地点ごとのハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウの個体数を記入	必須
様式 b	様式 a に載っていない種及び亜種を発見した場合に記入	任意
様式 c	現地調査員の実人数や所属を記入	必須

必須：報告内容の有無にかかわらず、必ず御提出をお願いいたします。

任意：御提出は任意となりますが、報告すべき情報があった場合は、御提出をお願いいたします。

なお、別紙２－１「都道府県報告様式 a ～ c」を入力する際は、別紙２－２「都道府県報告様式記入上の留意事項」を御参照ください。

また、提出の前に、入力内容の一通りの御確認をお願いいたします。

6. 環境省からの各都道府県担当者へのエラー照会・事実確認

各都道府県からお送りいただいた電子様式 a ～ c については、環境省で論理チェック（空欄、誤記等の単純なエラーチェック）及び生物学的チェック（個体数データに係る誤同定・誤報告等のエラーチェック）を実施し、各都道府県担当者へのエラー照会・事実確認を行わせていただく場合がありますので、御協力をお願いいたします。

なお、生物学的チェックでは、ガンカモ類の専門家の意見を踏まえ作成した「生物学的チェック表」に準拠してエラーデータを抽出し、専門家確認を経た上で、必要に応じて都道府県へ再確認をお願いしております。生物学的チェック表（令和５年度版）は下記のとおりとなりますので、調査結果報告前の確認をしていただく際に、御参照ください。

生物学的チェック表（令和5年度版）

概要	対象種	チェック内容
個体数そのものが少ない希少種	カリガネ、サカツラガン、シジュウカラガン、カナダガン、ハイイロガン、ハクガン、アカツクシガモ、アカハシハジロ、アカハジロ、アラナミキンクロ、オオホシハジロ、クビワキンクロ、ケワタガモ、コウライアイサ、コケワタガモ、ヒメハジロ、メジログアモ、リュウキュウガモ、シマアジ	都道府県に限らず1羽以上報告された場合にチェック
内陸にいたるものが稀な種	アラナミキンクロ、ウミアイサ、クロガモ、ケワタガモ、コオリガモ、コケワタガモ、シノリガモ、ビロードキンクロ、スズガモ、シマアジ	地況コードが 1:海岸、2:河口以外で報告された場合にチェック ※都道府県よりチェック対象外指定された地点および海岸から 500m 以内の地点は除く
生息が稀な地域で出現①	オオハクチョウ	東京都・神奈川県・山梨県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・大阪府・奈良県・和歌山県・中国・四国・九州で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現②	コハクチョウ	四国・九州で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現③	コクガン、コオリガモ	北海道・東北以外で1羽以上報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現④	マガン、ヒシクイ、ガン種類不明	宮城、秋田、新潟、石川、福井以外で1羽以上報告された場合にチェック
アメリカヒドリとヒドリガモの関係性確認	アメリカヒドリ、ヒドリガモ	【条件】 ①アメリカヒドリのみ観察された地点 ②アメリカヒドリが5羽以上観察された地点 ③上記以外の場合、アメリカヒドリ÷ヒドリガモの比率が 0.03 を超える地点 ①②③いずれかの条件を満たしている場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑤	クロガモ	中国・四国・九州で1羽以上報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑥	ツクシガモ	近畿地方より北(福井県～岐阜県～愛知県以東)で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑦	シノリガモ	岡山県・広島県・四国・九州で1羽以上報告された場合にチェック

※過去4年以内に観測実績のあるデータは、チェック対象から除外。

7. その他

(1) 重点的な調査地

渡来数の多い調査地及び絶滅のおそれのある種7種（シジュウカラガン、ハクガン、カリガネ、コクガン、ヒシクイ、ツクシガモ、トモエガモ）等の希少なガンカモ類の渡来する調査地については、特に調査精度の向上につき、重点的に配慮をお願いいたします。

(2) 関係団体との協力

調査実施前には、日本野鳥の会、日本鳥類保護連盟、猟友会等の関係民間団体とあらかじめ調査方法等について協議いただきますようお願いいたします。

(3) 識別ガイドについて

ガンカモ類の生息調査において見られる主なカモ類とハクチョウ類等の識別ポイントをまとめた識別ガイドを作成し、下記に公開しておりますので御活用下さい。

●ページ順

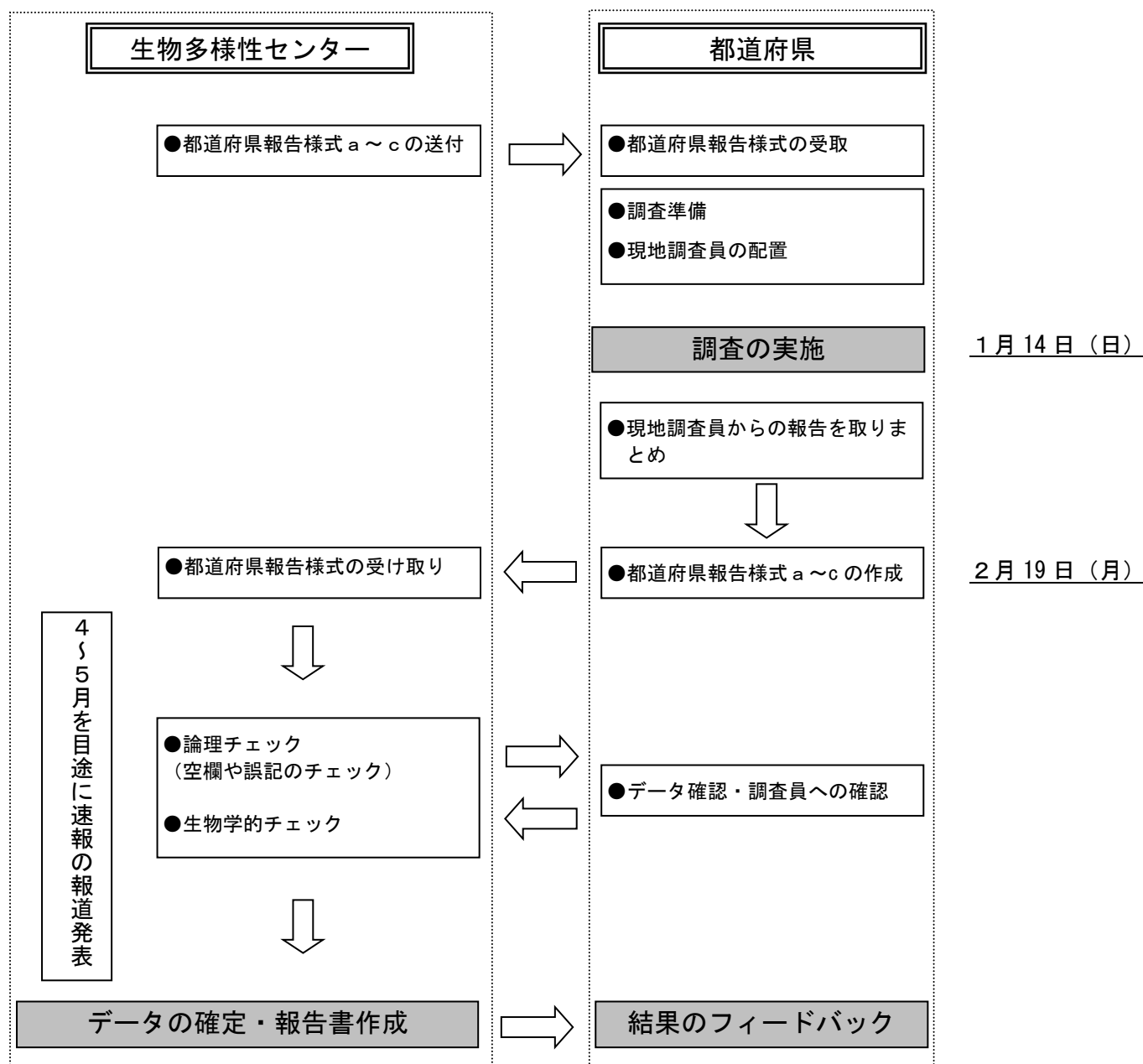
https://www.biodic.go.jp/gankamo/seikabutu/data/report/IdentificationGuide_bypage.pdf

●製本順 ※短辺綴じの両面印刷で出力し、出力された順に重ね、内側に折る

https://www.biodic.go.jp/gankamo/seikabutu/data/report/IdentificationGuide_bi-fold.pdf

第3章 調査全体の流れ・データの受け渡し

調査全体の流れは以下のとおりです。



例年、論理チェック並びに生物学的チェックの結果、再照会を要するデータがあるため、各都道府県ご担当の皆様には大変お手数をお掛けしております。エラーの低減、迅速な処理及び確定データの早期公開に向け、必須項目が空欄になっていないか等につきましては、御提出前に再度ファイルを御確認いただきますよう、御協力をお願いいたします。

ガンカモ類の生息調査 調査項目

1 調査地点（都道府県報告様式 a、現地調査員報告様式例 1）

ガンカモ類の渡来の有無に関わらず、調査を実施した調査地はすべて記録してください。
 なお、「都道府県報告様式 a」及び「現地調査員報告様式例 1」については、前年度の調査地点情報をあらかじめ記載してあります。

（1）地点情報コード（調査継続状況の把握）

各調査地点が、下記選択肢のいずれに該当するかを確認してください。

- 0（継続）：前年度から継続して調査を実施した地点
- 1（復活）：前年度には調査を実施しなかったが、1989 年（昭和 63 年度調査）以降 1 度でも調査を実施したことがある地点
 - ※ 昭和 63（1988）年度以降の全調査地点については、環境省から電子メールに添付してお送りする別紙 1 - 3「1989-2023 年ガンカモ調査地点リスト」に整理しておりますので、御参照ください。
- 2（新規）：新規の調査地点
- 3（休止）：今年度調査を実施しなかった地点

（2）調査地点番号

調査地の番号は、1 調査地に 1 つずつ与えられています。これまで、過去とは異なる番号が記録されたり、既に登録されている番号が新たな地点の番号として記録されている事例がありましたので、御注意ください。

- ア 前年度からの継続調査地は、既存番号を変更しないこと。
- イ 昭和 63（1988）年度～令和 3（2021）年度のいずれかの年度に調査を行ったが、令和 3（2021）年度には調査を行わず、今年度再び調査を行った場合は、過去に使用した番号を記録すること（別紙 1 - 3「1989-2023 年ガンカモ調査地点リスト」参照）。
- ただし、昭和 62（1987）年度以前のいずれかの年度に調査を行ったが、その後調査を行わず、今年度再び調査を行った場合は、新規の場合と同様に取り扱うこと。
- ウ 新規調査地の調査地点番号については、現地調査員が都道府県の取りまとめ担当者に、これまで一度も使用していない番号であるかどうかを確認したうえで記録すること。

(3) 調査地点名

調査地の地名等を必ず記録してください。

特に、(6) 地況コードが 2～6 に該当する場合は、河川名、湖沼名等を必ず記録してください。

また、同一河川、湖沼等において、複数の調査地点を設定している場合には、河川名、湖沼名等を先に記録し、ハイフン（－）に続けて詳細な地点名を記録してください。

【記録例】

同一河川、湖沼等に調査地点が一つだけの場合	○○湖
同一河川、湖沼等に調査地点が複数ある場合	△△川－××川合流地点
	△△川－□□橋地点
	△△川－◇◇水門地点

(4) 調査地域番号及び調査地域名称

各都道府県内において、一つの湖沼周囲に設置された複数の調査地点や、一つの河川に沿って設置された複数の調査地点など、都道府県担当者の視点で一体として扱うべき調査地点群を「調査地域」としてグルーピングし、その名称（湖沼名、河川名等、以下の例参照）を記録してください。これにより、今後の解析において、湖沼単位や河川単位の集計が容易になります。新規にグルーピングする際には、調査地域番号に重複がないよう御留意ください。

【調査地域番号及び名称記録例】

調査地点番号	調査地点名称	調査地域番号	調査地域名称
1015	A B C 湖－D 地点	5	A B C 湖
1016	A B C 湖－E 地点		A B C 湖
1022	F G H 湾 （X Y Z 湖の湾）	1 2	X Y Z 湖
1025	I J K 島 （X Y Z 湖の小島）		X Y Z 湖

(5) 市町村名

調査地を所管する市町村名を記録します。なお、複数の市町村にまたがって調査を実施した場合は、そのうちの代表的な市町村名を一つだけ記録してください。

(6) 地況

調査地の地況を下記のとおり分類し、該当する数字を記録してください。

- 1（海岸）：調査地域が海岸を含む海域の場合
- 2（河口）：調査地域が河口から海域にわたる場合
- 3（河川）：調査地域が河川敷を含む河川の場合
- 4（湖沼）：調査地域が自然湖沼の場合

- 5（ダム湖）：調査地域がダム湖の場合
- 6（その他人造湖）：調査地域がダム湖を除く人造湖の場合
（ため池、公園の池、ゴルフ場の池、堀等）
- 7（その他）：調査地域が1～6に該当しない場合
（貯木場、運河、水田、湿原、塩田跡等）

（7）面積

湖沼、ダム湖、その他人造湖の開放水面の場合はその面積を、海岸、河口、河川、その他の場合は調査範囲の面積を、それぞれ ha 単位で記録してください（小数点以下第1位までとし、第2位は四捨五入）。

（8）緯度、経度、測地系、調査地点位置図

（1）で新規に該当する調査地点、又は復活に該当し、緯度・経度が別紙1－3「1989－2023年ガンカモ調査地点リスト」に記載されていない調査地点においては、緯度・経度を秒単位まで記録してください。

調査地点の位置が不明な場合は、現地調査員に確認をしてください。

なお、位置の特定に当たっては調査範囲の中心的な地点を調査地点としてください。

※緯度・経度の記録に当たっては、地理院地図（<http://maps.gsi.go.jp/>）等を参照してください。

※「測地系」には原則として、世界測地系を用いてください。

※「日本測地系」を用いた場合のみ、その旨を備考欄に記録してください。

※測地系の詳細については、国土地理院 HP（下記 URL）を御参照ください。

■日本の測地系：<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/datum-main.html>

■世界測地系の導入に関して：<https://www.gsi.go.jp/LAW/jgd2000-AboutJGD2000.htm>

（9）鳥獣保護区等

下記の区分に従い、コード番号を記録します。なお、2種類以上の区分にかかる場合は最大3区分までとし、面積比率の高い順に左寄せで記録してください。

- 1（鳥獣）：調査地域が鳥獣保護区の場合
- 2（休猟）：調査地域が休猟区の場合
- 3（法律）：調査地域が鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチまでの場所の場合（公道、自然公園法による特別保護地区、都市計画法による園地、自然環境保全法による原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地）
- 4（猟禁）：調査地域が特定猟具使用禁止区域（銃器）（注：旧銃猟禁止区域）の場合
- 5（猟制）：調査地域が特定猟具使用制限区域（銃器）（注：旧銃猟制限区域）の場合
- 6（猟区）：調査地域が猟区の場合

7（他）：調査地域が1～6に該当しない場合

(10) 調査人数

調査人員の延べ人数を、調査地点ごとに記録してください。

(11) 現地調査員代表者名

現地調査員の代表者氏名を記録してください。

(12) 調査月日

調査を実施した月日を記録してください。

(13) 天候

調査実施時の天候を、次の区分に従って記録してください。

なお、例えば「晴ときどき曇、一時雪のち霧」等調査実施中に天候が変化した場合は、調査実施中の主要天候を一つ選んで記録してください。

1：晴 2：曇 3：雨 4：雪 5：霧

(14) 給餌の実施状況

調査地における給餌の有無を把握し、次の区分に従って記録してください。

なお、給餌の有無は、調査実施中に給餌を行ったか否かではなく、日常的に給餌事業等を行っているか否かを把握した上で記録ください。給餌事業の実施の有無を把握していない場合は不明と記録してください。

1：給餌有り 2：給餌無し 3：不明（給餌の実施状況未把握）

(15) 環境コード

調査地域の生息環境及びその変化が次の区分に当てはまる場合は、該当するコードを記録してください。なお、複数のコードに該当する場合は、そのすべてを記入欄に左寄せで記録してください。

1（全面凍結）： 調査地の水面が全面凍結している場合

2（一部凍結）： 調査地の水面が一部凍結している場合

3（水質悪化）： 調査地の水質が悪化している場合

※ ただし、調査実施中に水質の悪化が見られた場合に限らず、前回調査時と比較して悪化した場合を含む。

4（水量減少）： 調査地の水量が減少している場合

※ ただし、調査実施中に水量の減少が見られた場合に限らず、前回調査時と比較して減少した場合を含む。

- 5（工事）： 調査地で工事等を行っている場合
 ※ ただし、調査実施中に工事作業を実施している場合に限らず、過去の工事のために環境が変化している場合を含む。
- 6（宅地化）： 調査地が前回調査と比較して宅地化が進んでいる場合
- 7（埋立）： 調査地が前回調査と比較して埋立が進んでいる場合
- 8（その他）： 調査地の環境が1～7以外の特別な状況にある場合

なお、上記「前回調査」とは、前年度調査のほか数年前に調査地とした場合を含め、今年度新規に調査地とした地点の場合は「以前」と読み替えるものとします。

また、8（その他）に該当する場合、その具体的内容、特記事項等を「備考」欄に簡潔に記録してください。

2 ガンカモ類の個体数

（都道府県報告様式 a・b、現地調査員報告様式例 2～6）

（1）個体数調査

ガン・カモ・ハクチョウ類の種ごとの個体数を記録してください。また、ガンカモ類の生息調査の各調査地点において観察されたカワウの個体数についても記録してください。

なお、別紙 1－2「日本産鳥類目録第 7 版（平成 24 年改訂）抜粋改変版」に記載されている複数の亜種を含む種について、亜種別の個体数が把握できた場合は、都道府県報告様式 b（任意報告）に各亜種の個体数、都道府県報告様式 a（必須報告）に亜種別個体数の合計となる種の個体数を記録してください。

（2）絶滅のおそれのある種及びカウント数の少ないカモ類について

下記に示すガンカモ類については、その種と判断した理由・根拠（識別ポイント）が報告された場合は備考欄に記録してください。

※専門家によるデータチェックの際に、さかのぼって確認できるようにしておくためのものです。

① 絶滅のおそれのある種：

シジュウカラガン、ハクガン、カリガネ、コクガン、ヒシクイ、ツクシガモ、トモエガモ

② 過年度調査でカウント数の少ないカモ類：

リュウキュウガモ、アカツクシガモ、シマアジ、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、

クビワキンクロ、コウライアイサ

（３）移入種について

カナダガン（平成25年度までシジュウカラガン大型亜種として扱われていましたが、平成26年度より独立種としています。なお、国内に定着が確認されていた個体の防除は平成27年12月に完了しましたが、モニタリングとして国内の目撃情報を収集するための呼びかけを継続して行っています。）やコブハクチョウなどの人為的に持ち込まれた種については、確認された個体数を様式 a（必須報告）に記録してください。

（４）飼養品種（任意報告項目）について

アヒルやアイガモなどの飼養品種で野外に逸出し繁殖しているおそれのあるものについて報告があった場合は、その個体数を様式 b（任意報告）に記録してください。

3 現地調査員内訳（都道府県報告様式 c、現地調査員報告様式例 7）

各都道府県における現地調査員の実人数を記録してください。

その際、現地調査員が①都道府県職員、②鳥獣保護管理員、③鳥獣保護管理員以外の 3 項目で分類し、各人数を集計します。②及び③の場合には、「保護団体関係者」、「狩猟団体関係者」、「保護・狩猟団体両団体関係者」、「その他」のいずれかまで区分します。

◆別紙 1 - 2 日本産鳥類目録第 7 版（平成 24 年改訂）抜粋 改変版

「日本産鳥類目録第 7 版（平成 24 年改訂）抜粋改変版」（分類群順）

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
鳥綱					AVES				
カモ目					ANSERIFORMES				
カモ科					Anatidae				
ガン類									
シジュウカラガン	3	a	077		<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>		(Richardson, 1832)	
亜種シジュウカラガン	5	b	077	01	<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>	<i>leucopareia</i>	(Brandt, 1836)	CR
亜種ヒメシジュウカラガン	5	b	077	02	<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>	<i>minima</i>	Ridgway, 1885	
カナダガン	5	a	13128	01	<i>Branta</i>	<i>canadensis</i>	<i>moffitti</i>		移入
コクガン	3	a	078	01	<i>Branta</i>	<i>bernicla</i>	<i>orientalis</i>	Tugarinov, 1941	VU
ハイイログガン	3	a	079	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>rubirostris</i>	Swinhoe, 1871	
マガン	3	a	080	01	<i>Anser</i>	<i>albifrons</i>	<i>albifrons</i>	(Scopoli, 1769)	NT
カリガネ	3	a	081		<i>Anser</i>	<i>erythropus</i>		(Linnaeus, 1758)	EN
ヒシクイ	3	a	082		<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>		(Latham, 1787)	VU
亜種オオヒシクイ	5	b	082	01	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>middendorffii</i>	Severtzov, 1873	
亜種ヒメシクイ	5	b	082	02	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>curtus</i>	Lonnberg, 1923	
亜種ヒシクイ	5	b	082	03	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>serrirostris</i>	Swinhoe, 1871	VU
ハクガン	3	a	083		<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>		(Linnaeus, 1758)	
亜種ハクガン	5	b	083	01	<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>	<i>caerulescens</i>	(Linnaeus, 1758)	CR
亜種オオハクガン	5	b	1128	01	<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>	<i>atlanticus</i>	(Kennard, 1927)	
ミカドガン	5	b	084		<i>Anser</i>	<i>canagicus</i>		(Sevastianov, 1802)	
サカツラガン	3	a	085		<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>		(Linnaeus, 1758)	DD
インドガン	5	b	2128		<i>Anser</i>	<i>indicus</i>		(Latham, 1790)	
ハクチョウ類									
コブハクチョウ	2	a	086		<i>Cygnus</i>	<i>olor</i>		(Gmelin, 1789)	移入
ナキハクチョウ	5	b	087		<i>Cygnus</i>	<i>buccinator</i>		Richardson, 1832	
オオハクチョウ	2	a	088		<i>Cygnus</i>	<i>cygnus</i>		(Linnaeus, 1758)	
コハクチョウ	2	a	089		<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>		(Ord, 1815)	
亜種コハクチョウ	5	b	089	01	<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>	<i>jankowskyi</i>	Alpheraky, 1904	
亜種アメリカコハクチョウ	5	b	089	02	<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>	<i>columbianus</i>	(Ord, 1815)	
コクチョウ	5	b	1128		<i>Cygnus</i>	<i>atratus</i>		Latham, 1790	移入
カモ類									
リュウキュウガモ	4-2, 5	a	090		<i>Dendrocygna</i>	<i>javanica</i>		(Horsfield, 1821)	
アカツシガモ	4-2, 5	a	091		<i>Tadorna</i>	<i>ferruginea</i>		(Pallas, 1764)	DD
ツシガモ	4-2	a	092		<i>Tadorna</i>	<i>tadorna</i>		(Linnaeus, 1758)	VU
カンムリツシガモ	5	b	093		<i>Tadorna</i>	<i>cristata</i>		(Kuroda, 1917)	EX
オシドリ	4-1	a	094		<i>Aix</i>	<i>galericulata</i>		(Linnaeus, 1758)	DD
マガモ	4-1	a	095	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>platyrhynchos</i>	Linnaeus, 1758	
カルガモ	4-1	a	096		<i>Anas</i>	<i>zonorhyncha</i>		Swinhoe, 1866	
コガモ	4-1	a	097		<i>Anas</i>	<i>crecca</i>		Linnaeus, 1758	
亜種コガモ	5	b	097	01	<i>Anas</i>	<i>crecca</i>	<i>crecca</i>	Linnaeus, 1758	
亜種アメリカコガモ	5	b	097	02	<i>Anas</i>	<i>crecca</i>	<i>carolinensis</i>	Gmelin, 1789	
トモエガモ	4-2	a	098		<i>Anas</i>	<i>formosa</i>		Georgi, 1775	VU
ヨシガモ	4-1	a	099		<i>Anas</i>	<i>falcata</i>		Georgi, 1775	
オカヨシガモ	4-1	a	100	01	<i>Anas</i>	<i>strepera</i>	<i>strepera</i>	Linnaeus, 1758	
ヒドリガモ	4-1	a	101		<i>Anas</i>	<i>penelope</i>		Linnaeus, 1758	
アメリカヒドリ	4-2, 5	a	102		<i>Anas</i>	<i>americana</i>		Gmelin, 1789	
オナガガモ	4-1	a	103		<i>Anas</i>	<i>acuta</i>		Linnaeus, 1758	
シマアジ	4-2, 5	a	104		<i>Anas</i>	<i>querquedula</i>		Linnaeus, 1758	
ハシビロガモ	4-1	a	105		<i>Anas</i>	<i>clypeata</i>		Linnaeus, 1758	
ミカツキシマアジ	5	b	4128		<i>Anas</i>	<i>discors</i>		Linnaeus, 1766	
アカハシハジロ	4-2, 5	a	106		<i>Netta</i>	<i>rufina</i>		(Pallas, 1773)	
ホシハジロ	4-1	a	107		<i>Aythya</i>	<i>ferina</i>		(Linnaeus, 1758)	
アメリカホシハジロ	5	b	108		<i>Aythya</i>	<i>americana</i>		(Eyton, 1838)	
オオホシハジロ	4-2, 5	a	109		<i>Aythya</i>	<i>valisineria</i>		(Wilson, 1814)	
クビワキンクロ	4-2	a	110		<i>Aythya</i>	<i>collaris</i>		(Donovan, 1809)	
メジロガモ	4-2, 5	a	111		<i>Aythya</i>	<i>nyroca</i>		(Guldenstadt, 1770)	
アカハジロ	4-2, 5	a	112		<i>Aythya</i>	<i>baeri</i>		(Radde, 1863)	DD
キンクロハジロ	4-1	a	113		<i>Aythya</i>	<i>fuligula</i>		(Linnaeus, 1758)	
スズガモ	4-1	a	114	01	<i>Aythya</i>	<i>marila</i>	<i>mariloides</i>	(Vigors, 1839)	
コスズガモ	5	b	115		<i>Aythya</i>	<i>affinis</i>		(Eyton, 1838)	
コケワタガモ	4-2, 5	a	116		<i>Polysticta</i>	<i>stelleri</i>		(Pallas, 1769)	
ケワタガモ	4-2, 5	a	117		<i>Somateria</i>	<i>spectabilis</i>		(Linnaeus, 1758)	
クロガモ	4-1	a	118		<i>Melanitta</i>	<i>nigra</i>		(Swainson, 1832)	

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
ビロードキンクロ	4-2	a	119	01	<i>Melanitta</i>	<i>fusca</i>	<i>stejnegeri</i>	(Ridgway, 1887)	
アラナミキンクロ	4-2、5	a	120		<i>Melanitta</i>	<i>perspicillata</i>		(Linnaeus, 1758)	
シノリガモ	4-2	a	121		<i>Histrionicus</i>	<i>histrionicus</i>		Brooks, 1915	
コオリガモ	4-2	a	122		<i>Clangula</i>	<i>hyemalis</i>		(Linnaeus, 1758)	
ホオジロガモ	4-2	a	123	01		<i>clangula</i>	<i>clangula</i>	(Linnaeus, 1758)	
ヒメハジロ	4-2、5	a	124		<i>Bucephala</i>	<i>albeola</i>		(Linnaeus, 1758)	
ミコアイサ	4-2	a	125		<i>Mergus</i>	<i>albellus</i>		Linnaeus, 1758	
ウミアイサ	4-2	a	126		<i>Mergus</i>	<i>serrator</i>		Linnaeus, 1758	
コウライアイサ	4-2、5	a	127		<i>Mergus</i>	<i>squamatus</i>		Gould, 1864	DD
カワアイサ	4-2	a	128		<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>		Linnaeus, 1758	
亜種カワアイサ	5	b	128	01	<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>	<i>merganser</i>	Linnaeus, 1758	
亜種コカワアイサ	5	b	128	02	<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>	<i>comatus</i>	Salvadori, 1895	
飼養品種									
サカツラガンが原種					<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>		(Linnaeus, 1758)	
シナガチョウ	5	b	6128	01	<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
ハイロガンが原種					<i>Anser</i>	<i>anser</i>		(Linnaeus, 1758)	
セイウガチョウ	5	b	7128	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
ノバリケンが原種					<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>		(Linnaeus, 1758)	
バリケン	5	b	9128	01	<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
マガモが原種					<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>		Linnaeus, 1758	
アヒル	5	b	10128	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
アイガモ	5	b	10128	02	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>			雑種

※コードNo.は「生物多様性調査 日本産鳥類目録」(平成12年3月)のコードに準拠します。コードのない種については仮コード(コードNo.1128～13128)を付しています。

※備考欄のレッドリストランクは、平成24年8月28日発表のリストに基づいています。

「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」（五十音順）

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
鳥綱					AVES				
カモ目					ANSERIFORMES				
カモ科					Anatidae				
ガン類									
インドガン	5	b	2128		Anser	indicus		{Latham, 1790}	
カリガネ	3	a	081		Anser	erythropus		{Linnaeus, 1758}	EN
コクガン	3	a	078	01	Branta	bernicle	orientalis	{Tugarinov, 1941}	VU
サカツラガン	3	a	085		Anser	cygnoides		{Linnaeus, 1758}	DD
シジュウカラガン	3	a	077		Branta	hutchinsii		{Richardson, 1832}	
亜種シジュウカラガン	5	b	077	01	Branta	hutchinsii	leucopareia	{Brandt, 1836}	CR
亜種ヒメシジュウカラガン	5	b	077	02	Branta	hutchinsii	minima	{Ridgway, 1885}	
カナダガン	5	a	13128	01	Branta	canadensis	moffitti		移入
ハイイロガン	3	a	079	01	Anser	anser	rubirostris	{Swinhoe, 1871}	
ハクガン	3	a	083		Anser	caerulescens		{Linnaeus, 1758}	
亜種ハクガン	5	b	083	01	Anser	caerulescens	caerulescens	{Linnaeus, 1758}	CR
亜種オオハクガン	5	b	1128	01	Anser	caerulescens	atlanticus	{Kennard, 1927}	
ヒシクイ	3	a	082		Anser	fabalis		{Latham, 1787}	
亜種オオヒシクイ	5	b	082	01	Anser	fabalis	middendorffii	{Severtzov, 1873}	
亜種ヒメヒシクイ	5	b	082	02	Anser	fabalis	curtus	{Lonnberg, 1923}	
亜種ヒシクイ	5	b	082	03	Anser	fabalis	serrirostris	{Swinhoe, 1871}	VU
マガン	3	a	080	01	Anser	albifrons		{Scopoli, 1769}	
ミカドガン	5	b	084		Anser	canagicus		{Sevastianov, 1802}	
ハクチョウ類									
オオハクチョウ	2	a	088		Cygnus	cygnus		{Linnaeus, 1758}	
コクチョウ	5	b	11128		Cygnus	atratus		{Latham, 1790}	移入
コハクチョウ	2	a	089		Cygnus	columbianus		{Ord, 1815}	
亜種コハクチョウ	5	b	089	01	Cygnus	columbianus	jankowskyi	{Alpheraky, 1904}	
亜種アメリカコハクチョウ	5	b	089	02	Cygnus	columbianus	columbianus	{Ord, 1815}	
コブハクチョウ	2	a	086		Cygnus	olor		{Gmelin, 1789}	移入
ナキハクチョウ	5	b	087		Cygnus	buccinator		{Richardson, 1832}	
カモ類									
アカツクシガモ	4-2	a	091		Tadorna	ferruginea		{Pallas, 1764}	DD
アカハシハジロ	4-2	a	106		Netta	rufina		{Pallas, 1773}	
アカハジロ	4-2	a	112		Aythya	baeri		{Radde, 1863}	DD
アメリカヒドリ	4-2	a	102		Anas	americana		{Gmelin, 1789}	
アメリカホシハジロ	5	b	108		Aythya	americana		{Eytton, 1838}	
アラナミキンクロ	4-2	a	120		Melanitta	perspicillata		{Linnaeus, 1758}	
ウミアイサ	4-2	a	126		Mergus	seruator		{Linnaeus, 1758}	
オオホシハジロ	4-2	a	109		Aythya	valisineria		{Wilson, 1814}	
オカヨシガモ	4-1	a	100	01	Anas	strepera	strepera	{Linnaeus, 1758}	
オシドリ	4-1	a	094		Aix	galericulata		{Linnaeus, 1758}	DD
オナガガモ	4-1	a	103		Anas	acuta		{Linnaeus, 1758}	
カルガモ	4-1	a	096		Anas	zonorhyncha		{Swinhoe, 1866}	
カワアイサ	4-2	a	128		Mergus	merganser		{Linnaeus, 1758}	
亜種カワアイサ	5	b	128	01	Mergus	merganser	merganser	{Linnaeus, 1758}	
亜種コカワアイサ	5	b	128	02	Mergus	merganser	comatus	{Salvadori, 1895}	
カンムリツクシガモ	5	b	093		Tadorna	cristata		{Kuroda, 1917}	EX
キンクロハジロ	4-1	a	113		Aythya	fuligula		{Linnaeus, 1758}	
クビワキンクロ	4-2	a	110		Aythya	collaris		{Donovan, 1809}	
クロガモ	4-1	a	118		Melanitta	nigra		{Swainson, 1832}	
ケワタガモ	4-2	a	117		Somateria	spectabilis		{Linnaeus, 1758}	
コウライアイサ	4-2	a	127		Mergus	squamatus		{Gould, 1864}	DD
コオリガモ	4-2	a	122		Clangula	hyemalis		{Linnaeus, 1758}	
コガモ	4-1	a	097		Anas	crecca		{Linnaeus, 1758}	
亜種コガモ	5	b	097	01	Anas	crecca	crecca	{Linnaeus, 1758}	
亜種アメリカコガモ	5	b	097	02	Anas	crecca	carolinensis	{Gmelin, 1789}	
コケワタガモ	4-2	a	116		Polysticta	stelleri		{Pallas, 1769}	
コスズガモ	5	b	115		Aythya	affinis		{Eytton, 1838}	
シノリガモ	4-2	a	121		Histrionicus	histrionicus		{Brooks, 1915}	
シマアジ	4-2	a	104		Anas	querquedula		{Linnaeus, 1758}	
スズガモ	4-1	a	114	01	Aythya	marila	mariloides	{Vigors, 1839}	
ツクシガモ	4-2	a	092		Tadorna	tadorna		{Linnaeus, 1758}	VU
トモエガモ	4-2	a	098		Anas	formosa		{Georgi, 1775}	VU

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
ハシビロガモ	4-1	a	105		<i>Anas</i>	<i>clypeata</i>		Linnaeus, 1758	
ヒドリガモ	4-1	a	101		<i>Anas</i>	<i>penelope</i>		Linnaeus, 1758	
ヒメハジロ	4-2	a	124		<i>Bucephala</i>	<i>albeola</i>		(Linnaeus, 1758)	
ビロードキンクロ	4-2	a	119	01	<i>Melanitta</i>	<i>fusca</i>	<i>stejnegeri</i>	(Ridgway, 1887)	
ホオジロガモ	4-2	a	123	01	<i>Bucephala</i>	<i>clangula</i>	<i>clangula</i>	(Linnaeus, 1758)	
ホシハジロ	4-1	a	107		<i>Aythya</i>	<i>ferina</i>		(Linnaeus, 1758)	
マガモ	4-1	a	095	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>platyrhynchos</i>	Linnaeus, 1758	
ミカヅキシマアジ	5	b	4128		<i>Anas</i>	<i>discors</i>		Linnaeus, 1766	
ミコアイサ	4-2	a	125		<i>Mergus</i>	<i>albellus</i>		Linnaeus, 1758	
メジロガモ	4-2	a	111		<i>Aythya</i>	<i>nyroca</i>		(Guldenstadt, 1770)	
ヨシガモ	4-1	a	099		<i>Anas</i>	<i>fulcata</i>		Georgi, 1775	
リュウキュウガモ	4-2	a	090		<i>Dendrocygna</i>	<i>javanica</i>		(Horsfield, 1821)	
飼養品種									
アイガモ	5	b	10128	02	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>			雑種
アヒル	5	b	10128	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
シナガチョウ	5	b	6128	01	<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
セイヨウガチョウ	5	b	7128	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
バリケン	5	b	9128	01	<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養

※「生物多様性調査 日本産鳥類目録」(平成12年3月)の中でコードが振られていない種については仮コード(コードNo.1128～13128)を付しています。
※備考欄のレッドリストランクは、平成24年8月28日発表のリストに基づいています。

◆別紙１－３ 1989～2023 年ガンカモ調査地点リスト

1989～2023 年ガンカモ調査地点リスト項目を以下に示す。

項目名
最終調査実施年
都道府県
調査地点番号
市町村名
地況
調査地点名
調査地域番号
調査地域名称
1次メッシュコード
2次メッシュコード
3次メッシュコード
面積
緯度・度
緯度・分
緯度・秒
経度・度
経度・分
経度・秒
測地系

◆別紙 2 - 1 都道府県報告様式 a～c

都道府県報告様式 a 項目を以下に示す。

項目名	入力必須項目	コード入力項目	入力制限の有無	自動計算
変更の有無			○	
地点情報コード	○	○	○	
年	○			
都道府県	○			
調査地点番号	○			
調査地点名	○			
調査地域番号				
調査地域名称				
市町村名	○			
地況	○	○	○	
面積(ha)	○			
緯度度	○		○	
緯度分	○		○	
緯度秒	○		○	
経度度	○		○	
経度分	○		○	
経度秒	○		○	
鳥獣保護区等(1)	○	○	○	
鳥獣保護区等(2)		○	○	
鳥獣保護区等(3)		○	○	
調査人員	○ (調査実施時のみ)			
調査員代表者名	○ (調査実施時のみ)			
調査月	○ (調査実施時のみ)		○	
調査日	○ (調査実施時のみ)		○	
天候	○ (調査実施時のみ)	○	○	
給餌コード	○	○	○	
環境コード(1)		○	○	
環境コード(2)		○	○	
環境コード(3)		○	○	
環境コード(4)		○	○	
環境コード(5)		○	○	
備考				
オオハクチョウ				
コハクチョウ				
アメリカコハクチョウ				
コブハクチョウ				
ハクチョウ類種不明				
シジュウカラガン				
カナダガン				
コクガン				
ハイイロガン				
マガン				
カリガネ				
ヒシクイ				
ハクガン				
サカツラガン				
ガン類種不明				

項目名	入力必須項目	コード入力項目	入力制限の有無	自動計算
オシドリ				
マガモ				
カルガモ				
コガモ				
ヨシガモ				
オカヨシガモ				
ヒドリガモ				
オナガガモ				
ハシビロガモ				
ホシハジロ				
キンクロハジロ				
スズガモ				
クロガモ				
トモエガモ				
ピロードキンクロ				
シノリガモ				
コオリガモ				
ホオジロガモ				
ウミアイサ				
カワアイサ				
ミコアイサ				
ツクシガモ				
リュウキュウガモ				
アカツクシガモ				
アメリカヒドリ				
シマアジ				
アカハシハジロ				
オオホシハジロ				
メジロガモ				
アカハジロ				
ケワタガモ				
コケワタガモ				
アラナミキンクロ				
ヒメハジロ				
クビワキンクロ				
コウライアイサ				
カモ類種不明				
ハクチョウ類合計				○
ガン類合計				○
カモ類合計				○
総合計				○
カワウ個体数				

都道府県報告様式 b 項目を以下に示す。

項目名
年
都道府県
調査地点番号
種コード
亜種コード
種名
個体数 羽
備考

都道府県報告様式 c 項目を以下に示す。

項目
年
都道府県
都道府県職員
鳥獣保護管理員 保護団体関係者
鳥獣保護管理員 狩猟団体関係者
鳥獣保護管理員 保護・狩猟両団体関係者
鳥獣保護管理員 その他
鳥獣保護管理員以外 保護団体関係者
鳥獣保護管理員以外 狩猟団体関係者
鳥獣保護管理員以外 保護・狩猟両団体関係者
鳥獣保護管理員以外 その他

都道府県報告様式記入上の留意事項

1. 共通事項

各様式に共通する入力時の注意事項については、次のとおりです。

(1) 数字入力、漢字入力

各様式の 4～5 行目には、各列の調査項目が「数字」と「漢字」のどちらで入力すべきかが表示されています。数字入力の場合は半角数字で、漢字入力の場合は全角の漢字・ひらがな・カタカナで入力してください。

(2) 実施年

調査実施年の「2024」を入力します。年度（2023）ではありませんのでご注意ください。

(3) 調査地点番号

調査地点番号については、別紙 1 - 1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」 1 (2) をご確認ください、入力してください。

特に、都道府県報告様式 b（任意提出）においては、調査地点番号が地点を特定する唯一の情報となりますので、調査地点番号に間違いがないか御確認をお願いいたします。

2. 都道府県報告様式 a について【必須提出】

都道府県報告様式 a と現地調査員報告様式例 1～5 の対応は、以下のとおりです。

調査 地点	地点情報 (現地調査員報告様式例 1)			ハクチョウ類 (現地調査員報告様式例 2)			ガン類 (現地調査員報告様式例 3)			カモ類 (現地調査員報告様式例 4)			カワウ (現地調査員報告様式例 5)

入力必須項目

本様式 a に掲載されている種以外の種は
「都道府県報告様式 b」で報告

入力画面イメージ 都道府県報告様式 a

【必須提出】様式 a

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
変更の有無	地点情報コード	年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	地況	面積 (ha)	緯度	緯度分	緯度秒	経度	経度分	経度秒	鳥獣保護区等(1)
数字	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字	漢字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字
20**		1		53	千歳川ー7	1	千歳川	千歳市	3	50	42	49	42	141	39	33	7
20**		1		55	千歳川ー9	1	千歳川	千歳市	3	50	42	50	41	141	40	10	7
20**		1		57	千歳川ー11	1	千歳川	千歳市	3	5	42	55	23	141	39	12	7
20**		1		61	千歳川ー11	1	千歳川	千歳市	3	0.5	42	52	58	141	40	50	4
20**		1						千歳市	2	30	42	16	25	140	16	41	7
20**		1						千歳市	1	30	42	6	42	140	35	47	7
20**		1						千歳市	1	200	42	2	22	140	49	6	7
20**		1						千歳市	1	50	41	54	27	140	58	34	3
20**		1						千歳市	1	50	41	53	38	141	1	0	7
20**		1						千歳市	1	40	41	45	31	141	5	6	7
20**		2		10		41	45	40	141	4	40	3					7
20**		1		20		41	44	43	141	4	37	7					7
20**		1		30		41	44	4	141	3	9	7					7
20**		1		30		41	43	38	141	2	28	7					7
20**		1		30		41	43	17	141	0	47	7					7
20**		1		30		41	42	55	141	0	24	7					7
20**		1		30		41	43	2	140	59	38	7					7
20**		1		30		41	42	41	140	57	25	7					7
20**		1		30		41	44	0	140	56	4	7					7
20**		1		30		41	44	41	140	54	28	7					7
20**		1		3		41	45	38	140	51	21	7					7
20**		1		246	志海苔町			函館市	2	3	41	45	47	140	49	22	7
20**		1		247	松倉川			函館市	3	3	41	46	38	140	47		3
20**		1						七飯町	4	65	41	58	44	140	46		7

「地点情報コード」をプルダウンより選択の上、御入力ください。

- ・0：継続地点（調査実施）
- ・1：復活地点（調査実施）
- ・2：新規地点（調査実施）
- ・3：休止地点（調査未実施）

様式 a にあらかじめ記載されている入力必須項目に変更がある場合は、プルダウンより「あり」を選択してください。変更がない場合は入力不要です。

「鳥獣保護区等(1)」～「備考」を御確認及び御入力ください。

(1) 様式 a 入力時の留意事項

お送りした今年度報告様式は、前年度の地点関連情報の一部があらかじめ記載されています。今後のエラー発生を最小限に抑えるため、必ずお送りした今年度報告様式をご利用ください。

また、次のようなファイルの体裁を改変する操作は避けていただきますようお願いいたします。

- ・行・列の追加・削除・並べ替え（行の追加は、復活・新規調査地について入力する時のみ可能）
- ・行・列の非表示化（入力作業に伴う非表示化は問題ありませんが、提出時には全ての行・列を表示した状態にしてください。）
- ・スペースキーによるセル内容の削除（スペースキーでは完全に削除されないため、セル内容を削除するにはデリート又はバックスペースを使用してください。）
- ・シート追加時のシートの移動（報告用シートは常に一番左にしてください。）

(2) エラーチェックについて

報告様式には、以下のエラーチェック機能を付しております。今後のエラー発生を最小限に抑えるに当たって、調査結果報告前に御確認をお願いいたします。

- ・地点関連情報の入力必須項目が空欄の場合、セルが黄色く着色されるよう設定しております。
 - ✓ 調査結果を御提出いただく前に、空欄がないか御確認ください。
- ・地点関連情報に入力範囲外の数値が入力された場合、セルが赤く着色されるよう設定しております。
 - ✓ 入力内容に誤りがないか御確認ください。
- ・地点情報コードが3(休止)となっているものの、観察個体数の合計が1羽以上だった場合、「地点情報コード」のセルが青色に着色されるよう設定しております。
 - ✓ 「地点情報コード」または「観察個体数」に、行ずれや、誤りがないか等、御確認ください。

- ・カモ類のうち、観察が稀である種の個体数記入欄は色づけしております。
- ✓ 調査結果を御提出いただく前に、列ずれや、結果に誤りがないか等、御確認ください。

(3) 変更の有無について

様式 a にあらかじめ記載されている入力必須項目（前年度の地点関連情報）に変更がありましたら、プルダウンより「あり」を選択してください。変更がない場合は空欄で構いません。また、変更箇所は赤字でご記入をお願いいたします。

特に調査地点番号及び調査地点名については、よく御確認いただいた上で、変更してください。
また新規調査地点や復活した調査地点がある場合には、別紙 1－3 「1989～2023 年ガンカモ調査地
 点リスト」を参考に、過去に同一地点で調査が行われていないか確認したうえで、新たに行を追加
 し、地点関連情報を赤字で御入力ください。

(4) 緯度・経度・測地系

緯度・経度とも“度”“分”“秒”ごとに入力欄が用意されています。分・秒は、必ず 00～59 の間の数値を（60 進法で）入力してください。

【緯度・経度入力例：東経 135 度 8 分 3 秒の場合】

度	分	秒
135	08	03

（上記例のように“08” “03”のような場合は、単に“8” “3”と入力しても構いません。）

また、緯度・経度計測の際に基準となるのが「測地系」ですが、新規調査地の緯度・経度計測に際して、原則として「世界測地系」を用いてください。なお、「日本測地系」を用いた場合は、その旨を備考欄に明記してください。

測地系の詳細については国土地理院の HP（下記 URL）を御参照ください。

■日本の測地系：<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/datum-main.html>

■世界測地系の導入に関して：<https://www.gsi.go.jp/LAW/jgd2000-AboutJGD2000.htm>

(5) コードを入力する項目について

下記 1)～6) は別紙 1－1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」に記載のコードを入力いただくにあたって、プルダウンを設定しております。該当するコードをプルダウンより選択いただき、御入力ください。該当するコード番号を直接御入力いただくことも可能です。

なお、プルダウンの設定用の「コードリスト（変更不可）」シートについては、内容の改変を避けるため編集制限をかけております。

1) 地点情報コード（調査継続状況の把握）

別紙 1－1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（1）を参照し、0～3 のいずれかを入力してください。

2) 地況コード

別紙 1－1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（6）を参照し、1～7 のいずれかを入力してください。

3) 鳥獣保護区等コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(9)を参照し、1～7のいずれか、または空白が入ります。

なお、2種類以上の区分にかかる場合は最大3区分までとし、面積比率の高い順に左寄せで該当する数字を入力してください。

【鳥獣保護区等コード入力例】

鳥獣保護区等		
1	7	

該当区分が2つの場合

4) 天候コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(13)を参照し、1～5のいずれかを入力してください。

5) 給餌コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(14)を参照し、1～3のいずれかを入力してください。

6) 環境コード

環境コード入力欄は5列分あります。別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(15)を参照し、該当する環境コードを左詰で順に入力してください。それ以外の箇所は空白のままとしてください。

【環境コード入力例】

環境コード				
1	3	7		

環境コードの対象が“1” “3” “7” の場合

↓ ↓ ↓

残りの環境コード欄は空欄のままとします

(6) 観察個体数（ハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウ）

調査地点番号を基にして報告様式a中の当該箇所に入力していきます。

なお、ハクチョウ類、ガン類、カモ類のうち複数の亜種を含む種の個体数は、亜種別個体数（都道府県報告様式bに記録）の合計となりますので、適宜、都道府県報告様式b（任意提出）と照合しつつご確認ください。

3. 都道府県報告様式 b について【任意提出】

入力画面イメージ2 都道府県報告様式 b

【任意提出】都道府県報告様式 b

1	2	3	4	5	6	7	8
年	都道府県	調査地点番号	種コード	亜種コード	種名	個体数羽	備考
数字	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字
20**							

(1) データ報告

別紙1-2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に掲載されている種で複数の亜種を含むものを亜種まで同定した場合と、都道府県報告様式 a に記載されていない種が確認された場合に、調査地点別・種別に御報告ください（参考資料1「現地調査員報告様式例」6に対応）。

(2) 調査地点番号

必ず、都道府県報告様式 a に入力されている調査地点番号を入力してください。

(3) 種コード・亜種コード・種名

別紙1-2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に掲載されている『種コード』・『亜種コード』・『種名』を入力してください。なお、同じ種内で複数の亜種がいた場合、様式 b における亜種別個体数の合計が、様式 a における種の個体数に相当します。

【報告様式 b 入力例】

調査地点 A（調査地点番号 123）で観察されたヒシクイのうち、亜種オオヒシクイが 100 羽、亜種ヒシクイが 20 羽であった場合

・都道府県報告様式 b には、亜種別の個体数をそれぞれ入力する。

【任意提出】都道府県報告様式 b

1	2	3	4	5	6	7	8
年	都道府県	調査地点番号	種コード	亜種コード	種名	個体数羽	備考
数字	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字
20**	**	123	82	1	亜種オオヒシクイ	100	
20**	**	123	82	3	亜種ヒシクイ	20	

・都道府県報告様式 a におけるヒシクイの個体数は、亜種別個体数の合計（120 羽）となる。

4. 都道府県報告様式 c について【必須提出】

入力画面イメージ3 都道府県報告様式 c

【必須提出】都道府県報告様式 c

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
年	都道府県	都道府県職員	鳥獣保護管理員				鳥獣保護管理員以外			
			保護団体関係者	狩猟団体関係者	保護・狩猟両団体関係者	その他	保護団体関係者	狩猟団体関係者	保護・狩猟両団体関係者	その他
数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字
20**										

(1) データ報告

都道府県報告様式 c については、現地調査員に関するデータをまとめます（参考資料1「現地調査員報告様式例」7に対応）。1行分のみのデータ報告となります。本様式については、必ず御提出ください。

◆参考資料 1 現地調査員報告様式例 1～7

現地調査員報告様式例の構成は下記のとおり。

- 現地調査員報告様式例 1 調査地点調査票
- 現地調査員報告様式例 2 ハクチョウ類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例 3 ガン類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例 4－1 カモ類個体数調査票（1）
- 現地調査員報告様式例 4－2 カモ類個体数調査票（2）
- 現地調査員報告様式例 5 カワウ個体数調査票
- 現地調査員報告様式例 6 その他のガンカモ類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例 7 調査員内訳調査票

様式例のイメージを次ページ以降に記載した。

調査実施年① (年) 都道府県名② ()

都道府県名②()

調査実施年①(年)

[illegible]

現地調査員報告様式例2 ハクチョウ類個体数調査票

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____))

(単位：羽)

調査地点番号	オオハクチョウ	コハクチョウ	アメリカ コハクチョウ	コブハクチョウ	ハクチョウ類 種不明	合計
計						

現地調査員報告様式例3 ガン類個体数調査票

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____))

*1 シジュウカラガンには亜種シジュウカラガンと亜種ヒメシジュウカラガン、ヒシクイには亜種オオヒシクイと亜種ヒメヒシクイ及び亜種ヒシクイ、ハクガンには亜種ハクガンと亜種オオハクガンをそれぞれ含みます。
本票へは亜種を含めた個体数の合計を記載いただき、亜種別の個体数は、現地調査員報告様式例6へ記載してください。

*2 平成25年度までカナダガンはシジュウカラガン大型亜種としてシジュウカラガンの個体数に含めていましたが、分類の見直しにより単独の種として記載します。

(単位：羽)

調査地点番号	シジュウカラガン*1	カナダガン*2	コクガン	ハイイログガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ*1	ハクガン*1	サカツラガン	ガン類種不明	合計
計											

現地調査員報告様式例 4-1 カモ類個体数調査票 (1)

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____))

* 1 コガモには亜種コガモと亜種アメリカコガモを含みます。
本票へは亜種を含めた個体数の合計を記載いただき、亜種別の個体数は現地調査員報告様式例 6 へ記載してください。

(単位:羽)															
調査地点番号	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ*1	ヨシガモ	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	トモエガモ	合計
計															

現地調査員報告様式例 4-2 カモ類個体数調査票 (2)

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____))

* 1 カワアイサには亜種カワアイサと亜種コカワアイサを含みます。
本票へは亜種を含めた個体数の合計を記載いただき、亜種別の個体数は現地調査員報告様式例 6 へ記載してください。
* 右半分の*を付けた種は過年度調査で観察が稀であり、特に確認の必要が高い種です。
その種と判断した理由・根拠(識別ポイント)がある場合は、現地調査員報告様式例 6 にも記入し、「備考・識別ポイント」の欄にその種と判断した理由を記入してください。

(単位:羽)																		
調査地点番号	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ*1	ミコアイサ	ツクシガモ	*リュウキュウガモ	*アカツクシガモ	アメリカヒドリ	*シマアジ	*アカハシハジロ	*オオホシハジロ	*メジロガモ	*アカハジロ	*ケワタガモ	*コケワタガモ	*アラナミキンクロ
計																		

現地調査員報告様式例 5 カワウ個体数調査票

調査実施年① _____ 年

(都道府県名②) _____ ページ数 - (_____)

(单位:羽)

[illegible]

調査実施年① 年 (都道府県名②) ページ数 - ()

・コハクチョウ、シジュウカラガン、ヒシクイ、ハクガン、コガモ、カワアイサについては複数の亜種が含まれますので、本票へは亜種別の個体数を記載し、現地調査員報告様式例2、3、4-1、4-2の各種の欄へは亜種を含む種の合計を記入してください。

[illegible]

調査実施年① 年 (都道府県名②)

[illegible]

現地調査員報告様式例記入上の留意事項等

第 1 章 現地調査員報告様式例・都道府県報告様式対応

現地調査員報告様式例と都道府県報告様式は、以下のとおり対応しています。

表 1 現地調査員報告様式例・都道府県報告様式対応表

都道府県 報告様式	現地調査員報告様式例	内容
a	1 調査地点調査票	調査地点の位置・環境等の基礎情報
	2 ハクチョウ類個体数調査票	地点別ハクチョウ類の個体数
	3 ガン類個体数調査票	地点別ガン類の個体数
	4 カモ類個体数調査票	地点別カモ類の個体数
	5 カワウ個体数調査票	地点別カワウの個体数
b	6 その他のガンカモ類個体数調査票	都道府県報告様式 a（現地調査員報告様式 2 ～ 4）に記載のないガンカモ類の個体数
c	7 調査員内訳調査票	調査員の所属内訳

第 2 章 各調査票作成に当たっての共通事項

調査票の整理・チェックのため、枠外所定の位置に

調査実施年①（2024年 【注】2023年ではありません）、都道府県名②を記入するとともに、ページ番号を記入してください。

※文中の①～⑯は現地調査員報告様式例中の①～⑯と対応

第3章 調査地点調査票（現地調査員報告様式例1）の作成

1. 継続調査地及び新規調査地

前年度からの継続調査地については、当該データを2段書きの上段に記入してありますので、変更箇所があれば赤線を引いて下段に赤字で記入してください。

また、新規調査地については、余部の調査票の上段に記入してください。

（記入例）

③ 調査地点番号	④ 調査地点名	⑤ 市 町 村 名 (1ヶ所のみ記入)
1	霞ヶ関海岸	環境町
2	千代田ダム	環境町 地球市
401	生物市水田	生物市

変更がない場合は記入不要です。

変更がある場合は下段に赤字で記入して下さい。

新規調査地は、余部の上段に新たに記入して下さい。

2. 地況コード⑥

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（6）を確認の上、該当するコード番号に丸印（○）を付けます。

3. 鳥獣保護区等⑪

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（9）を確認の上、該当するコード番号に丸印（○）を付けます。

4. 天候⑯

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（13）を確認の上、“1”～“5”のコード番号を記入します。

5. 給餌コード⑰

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（14）を確認の上、1（有）、2（無）、3（不明）のいずれかに丸印（○）を付けます。

6. 環境コード⑱、備考⑲

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1（15）を確認の上、該当するコード番号に丸印（○）を付けます。

8（その他）に該当する場合、その具体的内容、特記事項等を備考欄に簡潔に記入してください。

第4章 個体数調査票（現地調査員報告様式例2～6）の作成

「別紙1－1 ガンカモ類の生息調査 調査項目」2（2）を確認の上、現地調査員報告様式例4－2右半分の、種名に＊を付けた希少なカモ類について、その種と判断した理由・根拠（識別ポイント）がある場合は、現地調査員報告様式例6にも記入し、「備考・識別ポイント」の欄にその種と判断した理由を記入してください。

1. 調査地点番号

調査地点番号については、調査地点調査票（現地調査員報告様式例1）の作成時に使用した番号(③)に合わせて、記入します。

2. 種別個体数（ハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウ）

調査地点ごとに、種別個体数を記入してください。

3. 亜種（ハクチョウ類、ガン類、カモ類）

ハクチョウ類、ガン類、カモ類のうち、同じ種内に複数の亜種を含む種について、亜種レベルまで個体数が把握できた場合は、現地調査員報告様式例2～4にその合計数を記入し、現地調査員報告様式例6ではその内訳を記入してください。

4. 種コード・亜種コード・種名

現地調査員報告様式例6の「種コード」・「亜種コード」・「種名」は、別紙1－2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に記載されているものを記入してください。

第 55 回ガンカモ類の生息調査報告書

令和 7 年(2025)年 3 月

環境省自然環境局
生物多様性センター

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
電話：0555-72-6033

業務名 令和 6 年度ガンカモ類の生息調査報告書等作成業務

請負者 株式会社 数理計画
〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2 丁目 5 番 4 号 (OGA ビル)